

安全センター情報2016年9月号 通巻第441号  
2016年8月15日発行 毎月1回15日発行  
1979年12月28日第三種郵便物認可



2016 9

# 安全センター情報



## 特集● 労働安全衛生をめぐる状況

写真：石綿全国連第28回総会新宿駅前情宣活動

全国労働安全衛生センター連絡会議  
**第27回総会 11.19-20 泉南開催**

日時：2016年11月19日(土)13時～20日(日)12時

■第1日目—2016年11月19日(土)

日本のアスベスト問題の原点・泉南をめぐるツアー+学習会

集合：13時厳守 南海電鉄「泉佐野駅」

<http://www.nankai.co.jp/traffic/station/izumisano.html>

※車でお越しの方は「マリンロッジ海風館」に車を置いてから  
南海電鉄で「泉佐野駅」に移動するようにしてください。

泉南ツアー：バス二台に分乗して実施

学習会：16～18時頃の予定 マリンロッジ海風館 B1F 多目的ホール

夕食懇親会：18時半頃からの予定 マリンロッジ海風館 1F レストラン

■宿泊：マリンロッジ海風館

〒599-0301 大阪府泉南郡岬町淡輪6190番地

TEL：072-494-3800 FAX：072-494-3777

<http://www.kaifukan.jp/>

〈大阪市内から電車で〉南海本線難波駅(急行・特急)→尾崎駅(乗り換え：普通)

→淡輪駅下車徒歩約15分(所要時間：約1時間15分)

〈自動車で〉阪和自動車道 「泉南」インターより約30分

■第2日目—2016年11月20日(日)

職業がん・化学物質被害に対する取り組み

その他のトピックス—報告・問題提起

第27回総会議事

朝食(1F レストラン)後 9～12時 マリンロッジ海風館 B1F 多目的ホール

※トピックスとしての報告・問題提起を募集中—あらかじめご連絡ください。

昼食は各自にてお願いします。

■参加費

17,000円(ツアー、宿泊、食事・懇親会費込み)

■申し込み

10月31日までに申し込みをお願いします。

(会員の皆様には別途返信用葉書を送付しますので、ご利用ください。)

■主催・協力

主催：全国労働安全衛生センター連絡会議

TEL 03-3636-3882 joshrc@jca.apc.org

泉南アスベストの会のご協力を得て企画させていただいています。

## 特集／日本の労働安全衛生

### 労働安全衛生をめぐる状況 2015年→2016年

|                  |    |
|------------------|----|
| 1 労働災害・職業病の統計データ | 2  |
| 2 労働災害・職業病の発生状況  | 7  |
| 3 労働安全衛生対策       | 11 |
| 4 化学物質・アスベスト対策   | 15 |
| 5 原子力災害関係        | 17 |
| 6 労災補償対策         | 18 |

|      |    |
|------|----|
| 統計資料 | 20 |
|------|----|

|                   |    |
|-------------------|----|
| 2015年度労働基準行政関係通達等 | 53 |
|-------------------|----|

|                  |    |
|------------------|----|
| 安全センター情報2015年度目次 | 71 |
|------------------|----|

|               |    |
|---------------|----|
| 全国安全センター規約・規定 | 79 |
|---------------|----|

## 全国安全センター第27回総会議案

|                   |    |
|-------------------|----|
| 第1号議案 活動報告と方針案    | 64 |
| 第2号議案 2015年度収支決算案 | 67 |
| 第3号議案 2016年度収支予算案 | 69 |
| 第4号議案 2016年度役員体制案 | 70 |

# 労働安全衛生をめぐる状況

## 2015年→2016年

### 1. 労働災害・職業病の統計データ

#### ● 労働災害の総件数

労働災害の総発生件数として公表されているデータは、今のところ存在していない。

労働者死傷病報告書は、「労働者が労働災害その他就業中又は事業場内若しくはその附属建設物内における負傷、窒息又は急性中毒により死亡し、又は4日以上休業したとき」に、「遅滞なく」、所轄労働基準監督署長に提出しなければならないとされている。また、「休業3日以内」のものは、3か月分をまとめて提出しなければならない（労働安全衛生法施行規則第97条）。しかし、これに基づく「休業3日以内」のデータは公表されていない。

2007年8月7日に公表された総務省行政評価局の「労働安全衛生等に関する行政評価・監視結果に基づく勧告」が、「休業4日未満の労働災害に関する労働者死傷病報告について、当該データの集計・分析や公表を行うなど、その利用を促進すること」という所見を示し、厚生労働省は2008-09年度に「行政支援研究：休業4日以上と4日未満の死傷災害の比較」を委託。同研究報告書が、労働者死傷病報告書の様式改善の提案も示して、「休業4日未満労働災害データは、今後の労働災害防止対策の検討に有用である」と結論付けているにもかかわらず、これまでに具体的な対応はなされていない。

なお、死傷病報告書の対象には、労災非適用事業に係るものも含む一方で、労災保険給付の対象となる通勤災害や急性中毒以外の職業病、労働者

ではない労災保険特別加入者に係る死傷病等は含まれない。

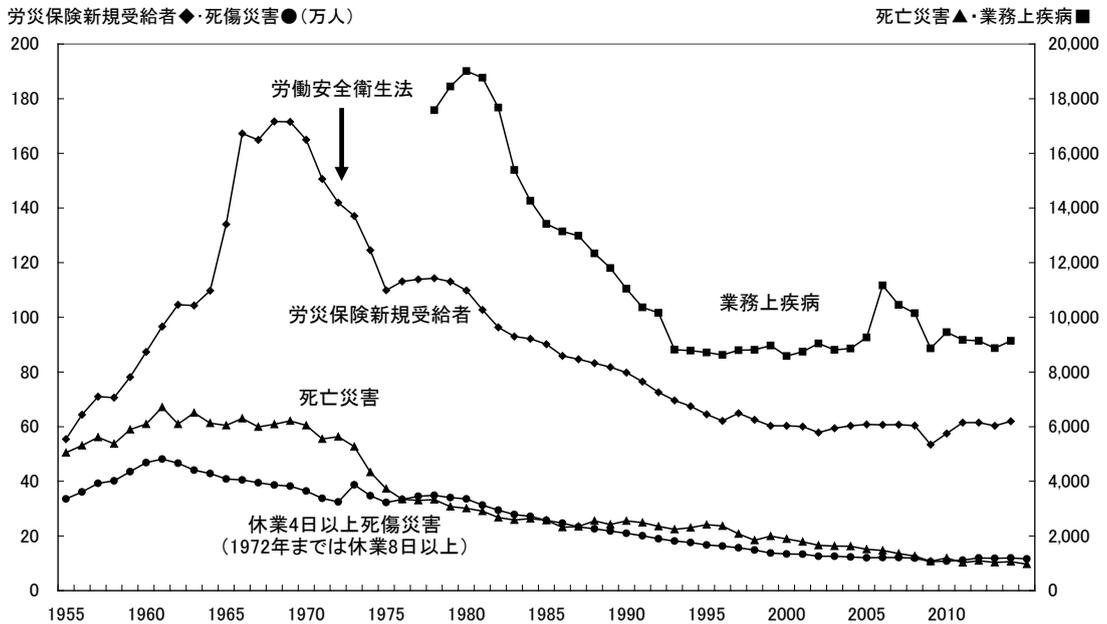
本誌では、労働災害の総件数に代わる数字として、「労災保険事業年報」による労災保険新規受給者数を紹介している（表1（20頁）参照）。

「労災保険事業年報」は、2005年度分以降、概況等のみではあるが、厚生労働省ホームページ（統計情報・白書>各種統計調査>厚生労働統計一覧>労働者災害補償保険事業年報）に掲載されている。また、毎年7月第1週の全国安全週間に向けて中央労働災害防止協会から発行されている「安全の指標」が1999年度版から、労災保険新規受給者数のデータを掲載するようになったが、そこで紹介されているのは業務災害分だけで、本誌では、業務災害と通勤災害の合計数を紹介している。「労災保険事業年報」に業務災害と通勤災害の内訳が示されるようになったのは、2000年度版以降のことで、1999年12月21日に旧総務庁行政管理局が旧労働省に対して行った「労災保険業務に関する行政監察結果に基づく勧告・通知」のなかで、「労災保険財政に係る情報開示について…国民にわかりやすい形で公表すること」とされたのを受けて、「労災保険事業年報」の厚さが以前の2倍以上になってからのことである。

#### ● 死亡災害・重大災害

「死亡災害発生状況」については、2002年以降、厚生労働省ホームページに毎年5月頃（2016年は5月17日）に公表され、「安全の指標」等で紹介されている。出所は、「死亡災害報告より作成」または「安全課調べ」と記載されている。厚生労働省

## 労働災害・職業病の推移



ホームページでは、分野別の政策>雇用・労働>労働基準>安全・衛生>安全衛生関係統計・災害事例>安全衛生関係統計等一覧>労働災害発生状況のなかでも掲載されている。

また、労災保険統計の葬祭料・葬祭給付の支給件数を参照することができる(請求の時効は5年)。

厚生労働省ホームページでは、2003年分から、「死亡災害発生状況」と合わせて「重大災害発生状況」も発表されており、こちらは「重大災害報告より作成」したものとされている。「重大災害」とは、「一時に3人以上の労働者が業務上死傷又はり病した災害事故」のことで、この数字は、本誌の統計資料では紹介していない。

### ● 死傷災害

2011年分から、「死亡災害発生状況」「重大災害発生状況」と合わせて「死傷災害発生状況」も発表されるようになった。前出の厚生労働省ホームページの、分野別の政策>雇用・労働>労働基準>安全・衛生>安全衛生関係統計・災害事例>安全衛生関係統計等一覧>労働災害発生状況では、掲載されている2007年分以降すべて、「死亡災害

発生状況」「重大災害発生状況」「死傷災害発生状況」の三つが同一のファイルに含まれている。

以前は「死傷災害(死亡災害及び休業4日以上の死傷災害)」の出所は、「労災保険給付データ及び労働者死傷病報告(労災不適)より作成」とされてきたが、2012年分以降は、「労働者死傷病報告より作成」に代えられている。「労働者死傷病報告データの方が事故の型別分類等がなされていて、今後の対策に生かせるということで変更した。第12次労働災害防止計画の数値目標等も労働者死傷病報告データによる」とのことである。前出の厚生労働省ホームページの「労働災害発生状況」に掲載されているデータも、同様に、2012年分から労働者死傷病報告データに代えられている。

他方、厚生労働省の「職場の安全サイト」(<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/>)の「労働災害統計」の各年の「死傷災害発生状況」のなかの、1988~1998年分の事故の型別及び起因物別のデータは、明記はされていないものの「労働者死傷病報告」によるデータであろう。1999~2004年分の全データは、「労働者死傷病報告」によるデータと明記されている。2005~2009年分については、「労災保険給付デー

## 労働安全衛生をめぐる状況

| 分類<br>大 小 CODE    | 疾病分類項目                                    | 年度別労災補償状況 |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
|-------------------|---|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|                   |   | 2005      | 2006    | 2007    | 2008    | 2009    | 2010    | 2011    | 2012    | 2013    | 2014    |
| 負傷(負傷を伴わない事故を含む。) |   | 129,173   | 129,137 | 130,166 | 124,603 | 112,478 | 114,135 | 114,443 | 114,719 | 111,422 | 114,171 |
| 01                | 骨折  | 65,386    | 65,248  | 65,130  | 62,654  | 57,019  | 58,223  | 59,032  | 59,843  | 58,916  | 60,997  |
| 02                | 切断  | 5,319     | 5,023   | 5,525   | 4,517   | 3,817   | 3,918   | 3,886   | 3,720   | 3,578   | 3,496   |
| 03                | 関節の障害(捻挫、亜脱臼及び転位を含む。)                     | 17,394    | 17,690  | 16,482  | 18,031  | 16,570  | 16,802  | 17,062  | 17,290  | 16,862  | 16,867  |
| 04                | 打撲傷(皮膚の剥離、擦過傷、挫傷及び血腫を含む。)                 | 18,892    | 19,127  | 19,550  | 18,894  | 16,936  | 17,070  | 16,585  | 16,762  | 15,117  | 16,429  |
| 05                | 創傷(切作、裂創、刺創及び挫減創を含む。)                     | 17,285    | 17,078  | 18,016  | 15,719  | 13,905  | 13,794  | 13,842  | 13,245  | 13,112  | 12,730  |
| 06                | 外傷性の脊髄損傷                                  | 621       | 676     | 649     | 646     | 590     | 665     | 655     | 630     | 665     | 652     |
| 07                | 頭頸部外傷症候群(いわゆる「むちうち症」)                     | 402       | 439     | 435     | 343     | 332     | 361     | 390     | 429     | 405     | 371     |
| 08                | 火傷(高熱物体を取り扱う業務による火傷を除く。)                  | 2,854     | 2,865   | 2,999   | 2,859   | 2,445   | 2,441   | 2,558   | 2,526   | 2,513   | 2,477   |
| 12                | 01から08までに掲げるもの以外の負傷又は負傷を伴わない事故(感電、溺水、窒息等) | 1,020     | 991     | 1,020   | 940     | 864     | 861     | 433     | 274     | 254     | 152     |
| 疾病(表4参照)          |   | 9,271     | 11,171  | 10,456  | 10,148  | 8,862   | 9,457   | 9,176   | 9,143   | 8,872   | 9,143   |
| 負傷+疾病合計           |   | 138,444   | 140,308 | 140,622 | 134,751 | 120,528 | 123,592 | 123,619 | 123,862 | 120,294 | 123,314 |

タ及び労働者死傷病報告(労災非適)」によるものと「労働者死傷病報告」によるもの双方が、明記されている。2010年分以降は『「労働者死傷病報告」による死傷災害発生状況(確定値)』と標題が変わり、エクセルファイルがダウンロードできるようになった。

もうひとつ、情報公開法が施行されて、「職業病統計に関する一切」を開示請求するようになってから全国安全センターが毎年開示させている「傷病性質コード別労災補償状況」の2002年度分以降に、「負傷(負傷を伴わない事故を含む)」データも掲載されるようになった。内容は、別掲表のとおりである(2004年度以前分は省略)。

この「負傷」合計件数に、その後続く疾病件数を合わせた「負傷+疾病」の合計件数が、休業4日以上の死傷災害の「補償件数」であろうと考えられる。

「労働者死傷病報告」によるデータは、素直に考えれば、事業主が届け出た報告の件数をそのまま集計したものであろう(「届出件数」と呼ぶことにする)。それと、従来公表されてきた「労災保険給付データ及び労働者死傷病報告(労災非適)」による数字(「公表件数」と呼ぶ)、さらに「補償件数」を並べてみると、次頁表のようになる。

補償件数には、労働者死傷病報告書を提出する必要のない、通勤災害、労災保険特別加入者や退(離)職後の発症・死亡等も含まれ得る。理屈で考えれば、それらを除いた業務災害分だけの補償件数に労災非適用事業に係る労働者死傷病報告件数を加えたものが公表件数ということになりそうな気がするが、そのような説明がなされたことはない。また、公表件数は、(負傷に限定したとしても)補償件数よりもかなり少なく、そのような事情だけでは説明できそうにない。なお、1999年以降、届出件数が公表件数を上回り(網掛け部分)、実際に届け出られた件数よりも少ない件数しか公表されていない状況が続いていたことになる。

どのような理由で、どのように算定されたのかわからない数字が、長年、死傷災害の公表件数とされ、労働災害防止計画等の数値目標としても用いられてきたということ自体が、実に不可解である。

### ● 業務上疾病

厚生労働省ホームページの、分野別の政策>雇用・労働>労働基準>安全・衛生>安全衛生関係統計・災害事例>安全衛生関係統計等一覧に、2004年分以降「業務上疾病発生状況等調査」が

| 休業4日以上の死傷者数 |                     |                                      |                           |
|-------------|---------------------|--------------------------------------|---------------------------|
| 年/<br>年度    | 労働者<br>死傷病報告<br>による | 労災保険給付データ及<br>び労働者死傷病報告<br>(労災非適)による | 傷病性質コー<br>ド別労災補<br>償状況による |
|             | 「届出件数」              | 「公表件数」                               | 「補償件数」                    |
| 1988        | 223,470             | 226,318                              |                           |
| 1989        | 216,118             | 217,964                              |                           |
| 1990        | 207,581             | 210,108                              |                           |
| 1991        | 196,803             | 200,633                              |                           |
| 1992        | 186,532             | 189,589                              |                           |
| 1993        | 180,575             | 181,900                              |                           |
| 1994        | 173,517             | 176,047                              |                           |
| 1995        | 164,998             | 167,316                              |                           |
| 1996        | 160,712             | 162,862                              |                           |
| 1997        | 154,489             | 156,726                              |                           |
| 1998        | 144,838             | 148,248                              |                           |
| 1999        | 141,055             | 137,316                              |                           |
| 2000        | 139,974             | 133,948                              |                           |
| 2001        | 140,149             | 133,598                              |                           |
| 2002        | 132,339             | 125,918                              | 142,688                   |
| 2003        | 132,936             | 125,750                              | 142,207                   |
| 2004        | 132,248             | 122,804                              | 139,024                   |
| 2005        | 133,050             | 120,354                              | 138,444                   |
| 2006        | 134,298             | 121,378                              | 140,308                   |
| 2007        | 131,478             | 121,356                              | 140,622                   |
| 2008        | 129,026             | 119,291                              | 134,751                   |
| 2009        | 114,152             | 105,718                              | 120,528                   |
| 2010        | 116,733             | 107,759                              | 123,592                   |
| 2011        | 117,958             | 111,349                              | 123,619                   |
| 2012        | 119,576             |                                      | 123,862                   |
| 2013        | 118,157             |                                      | 120,294                   |
| 2014        | 119,535             |                                      | 123,314                   |
| 2015        | 116,311             |                                      |                           |

注：2011年の届出・公表件数は東日本大震災を直接の原因とするもの(届出1,664人、公表2,827人)を除く。

掲載されるようになった。しかし、報道発表資料のところには掲載がなく、労働基準分野のトピックス一覧の記載によれば、2010年6月25日、2011年6月24日、2012年7月2日、2013年6月27日、2014年6月25日、2015年7月6日に及び2016年7月11日に掲載されたことになっている。

ここにある「業務上疾病発生状況(業種別・疾病別)」は、「暦年中に発生した疾病で翌年3月末までに把握した休業4日以上のもので、出所を「業務上疾病調」と記載したもので、全国労働衛生週間(10月1～7日)に向けて中央労働災害防止協会か

ら発行されている「労働衛生のしおり」のものと同じものである。後掲の表2(22頁)及び次頁表では、これを「公表件数」として示している。

この公表件数がどのように算定されているかも、闇の中であった。以前、情報公開法に基づく開示請求も行って厚生労働省に説明を求めたところ、「公表件数」は、労働者死傷病報告をそのまま集計しているのではなく、例えば、「非災害性」(第3号)として届け出られた「腰痛」を、事情を確認したうえで「災害性」=「負傷による腰痛」(第1号)に振り替え、また、「じん肺及びその合併症」については、届出件数ではなく労災保険給付データを使っている等との説明。しかし、処理方法を示した文書は存在していないという回答であった。

他方、前出の「職場の安全サイト」には、2004～2009年分について、「労働者死傷病報告」によると明記された「業種別・年別業務上疾病発生状況」データも示されている。2010～2013年分については、「『労働者死傷病報告』による死傷災害発生状況(確定値)」でダウンロードできるエクセル・ファイルのなかに、死亡・休業別内訳も示された「業種別・傷病分類別業務上疾病発生状況」のシートが含まれている。これらのデータを「届出件数」と呼ぶことにする。しかし、2014・2015年分には、このシートが含まれておらず、「届出件数」が入手できていない。

「補償件数」については、驚くべきことに厚生労働省ホームページには一切掲載されていない。

毎年度の「業務上疾病の労災補償状況調査結果(全国計)」が比較的入手しやすいもので、これには、第1～11(2009年分以前は1～9)号別の新規支給決定件数、及び、振動障害、じん肺症等、非災害性腰痛、上肢障害、職業がん、脳血管疾患及び虚血性心疾患、精神障害に係る都道府県別データなどが収録されている。元となる調査については、毎年度、補償課長から指示が出されており、調査内容は微妙に変化している。2015年度は基補発0707第1号「業務上疾病の労災補償状況調査について」で指示され、12月28日付け補償課職業病認定対策室長補佐事務連絡「平成26年度『業務上疾病の労災補償状況調査結果(全国計)』について」で調査結果が通知されている。

## 労働安全衛生をめぐる状況

全国安全センターは、情報公開法を使って、1999年度分以降の「業務上疾病の労災補償に係る統計の一切」を開示させている。大本となる統計データは、「傷病性質コード別労災補償状況」という集計表で、これは表4(29頁)にまとめて紹介してある。「それらが何らかの文書・冊子の一部をなしている場合には、当該文書・冊子等のすべて」を開示請求しているが、毎年開示されるのは、3枚の集計表のみである。前出のとおり、2002年分以降には「負傷(負傷を伴わない事故を含む)」データも含まれている。表9(40頁)に紹介した2014年度分の都道府県別データも、別の集計表だが、こうして開示されたものであり、これらのデータは本誌以外で紹介されているのをほとんど見たことがない。

「傷病性質コード別労災補償状況」と「業務上疾病の労災補償状況調査(全国計)」の数字は同じものであり、前者が後者の小分類別内訳となっている。別掲表及び後掲の表2(22頁)で「補償件数」として示してある。

別掲表に「届出件数」「公表件数」「補償件数」を並べてみた。2010～2013年分の届出件数と公表件数は同じ数字である。しかし、疾病分類別のデータで比較してみると、2010年は452件、2011年は487件、2012年は373件、業務上の負傷に起因する疾病から非災害性腰痛に振り替えていることが確認できる(2010年分は化学物質等による疾病からその他業務に起因する疾病にも5件振り替え)。2013年分は、「届出件数」として公表される段階ですでに操作が行われているのかもしれない。

なお、厚生労働省は、毎年6月頃に前年度分の「過労死等(以前は「脳・心臓疾患と精神障害」)の労災補償状況」及び「石綿による疾病に関する労災保険給付などの請求・決定状況(速報値)」、12月頃に後者の「確定値」及び「石綿ばく露作業による労災認定等事業場」を公表している。これらは、他と区別して特別の「処理経過簿」の作成を指示して、管理されている職業病である。

また、厚生労働省ホームページ「安全衛生関係統計等一覧」には、「熱中症による死亡災害発生状況」、「酸素欠乏症・硫化水素中毒による労働災害発生状況」、「労働災害動向調査」、「労働安全衛

| 年    | 業務上疾病               |                     |                       |
|------|---------------------|---------------------|-----------------------|
|      | 労働者<br>死傷病報告<br>による | 「業務上疾病調」による<br>とされる | 傷病性質コード別労災補償<br>状況による |
|      | 「届出件数」              | 「公表件数」              | 「補償件数」                |
| 2002 |                     | 7,502               | 9,045                 |
| 2003 |                     | 8,055               | 8,806                 |
| 2004 | 7,159               | 7,609               | 8,858                 |
| 2005 | 7,413               | 8,226               | 9,271                 |
| 2006 | 7,635               | 8,369               | 11,171                |
| 2007 | 8,099               | 8,684               | 10,456                |
| 2008 | 8,341               | 8,874               | 10,148                |
| 2009 | 6,968               | 7,491               | 8,862                 |
| 2010 | 8,111               | 8,111               | 9,457                 |
| 2011 | 7,779               | 7,779               | 9,176                 |
| 2012 | 7,743               | 7,743               | 9,143                 |
| 2013 | 7,310               | 7,310               | 8,872                 |

生特別調査」、「石綿の除去作業等に係る計画届及び監督指導等の件数」も掲載されている。

### ● 労災保険事業年報

前述のとおり、厚生労働省ホームページ(各種統計調査結果)に「労災保険事業月報」及び「労働者災害補償保険事業年報」が掲載されるようになった。これも基本的な統計データであり、全国安全センターでは労災保険法施行以来の事業年報(一部はコピー)を備え付けている。

ホームページ上では、年報のすべてではなく、「労働者災害補償保険事業の概況」及び「保険給付等支払状況」としていくつかの統計表が示されているだけではあるが、表1に示した基本情報はこれらによって確認できる。「概況」で直接拾えないものは、障害(補償)給付の「一時金」受給者数を新規から新規受給者数(第16表)から新規年金受給者数(第17表)を差し引いて求めていること、遺族(補償)給付の「一時金」受給者数は「概況」からは得られないので「保険給付支払状況」統計表から、また、死亡災害発生状況は前述の「死亡災害発生状況」、死傷災害発生状況は前述の「労働災害発生状況」から採っている、などである。

表8(38頁)の都道府県別データについても、労災保険新規受給者、障害(補償)給付及び遺族(補償)給付の「一時金」、葬祭料受給者数は「保険給

付支払状況」統計表、から拾うことができた。他は年報本体からで、労災保険適用事業場・労働者数が第1-2表、障害（補償）給付の「年金」が第7-9表、傷病（補償）給付が第7-14表、障害（補償）給付の「年金」は第7-12表から年金新規と前払一時金新規を合算、年度末年金受給者数は第7-7表から求めている。

死傷災害については、前述のような公表データの変更があったために、表1の2012年以降の数字及び表8では、労働者死傷病報告による死傷災害発生状況の数字を示してある。

## 2. 労働災害・職業病の発生状況等

### ● 労災保険新規受給者

労災保険新規受給者数は、2009年度を底に、2年連続して増加した後、2013年度はやや減少したものの、2014年度は619,599人と、1998年度の625,427人に次ぐレベルにまで再び増加してしまった。

労災保険の新規受給者数は、発生年度ではなく、労災保険給付の支給決定年度で集計した数字であり、2014年度の労災保険新規受給者は、業務災害545,007人（88.0%）、通勤災害74,592人（12.0%）、合計619,599人（100%）であった。

その発生年度別内訳は、2014年度462,563人（74.7%）、2013年度152,847人（24.7%）、2012年度2,827人（0.5%）、2011年度627人（0.1%）、2010年度147人（0.02%）、2009年度以前588人（0.09%）、となっている。

### ● 死亡災害

2016年5月17日厚生労働省は、2015年の労働災害による死亡者数は972人で、「統計を取り始めて以来、初めて1,000人を下回った」と発表した。

死亡災害発生件数は、「1961年をピークとして長期的な減少傾向を示している」と言われてきたものの、近年の状況は、2009年1,075人（この時点で過去最少）、2010年1,195人（前年比11.2%増）、2011年1,024人（前年比14.3%減、過去最少）、2012年1,093人（前年比6.7%増）、2013年1,030人（前年比

5.8%減）、2014年1,057人（前年比2.6%増）と、「三桁台を目前にして増減を繰り返し、足踏み状態にある」とされていた。

第12次労働災害防止計画は、2012年と比較して2017年までに15%以上減少させるという目標を設定。2015年2月19日基安発0219第1号「安全衛生業務の推進について」で、2014年度の単年目標として、死亡災害件数の対前年比3.8%減を掲げていたが、実績は8.0%減という結果になった。

一方、2013年度の労災保険の葬祭料・葬祭給付受給者数は3,462人で、業務災害3,169人（91.5%）、通勤災害293人（8.5%）。発生年度別では、2014年度799人（23.1%）、2013年度1,052人（30.4%）、2012年度382人（11.0%）、2011年度157人（4.5%）、2010年度85（2.5%）、2009年度以前987人（28.5%）という内訳になっている。

なお、厚生労働省の「職場の安全サイト」に、2013年分と2014年分について、「一人親方等の死亡災害発生状況」が掲載されている。

### ● 死傷災害

厚生労働省の2012年分の労働災害発生状況公表では、「3年連続の増加という極めて憂慮すべき事態となった」と危機感をあらわにしていたが、2013年分の公表では「4年ぶりの減少」を報告することができた。しかし、2014年は再び増加に転じた。

2015年は116,311人で前年比2.7%の減少。前出「安全衛生業務の推進について」による単年度目標は4.9%減だったので達成できなかった。第12次労働災害防止計画は、2012年と比較して2017年までに15%以上減少という目標を設定している。

重大災害は、2015年278件で、前年比4.8%の減少だった。

第12次労働災害防止計画が、重点業種を設定していることから、労働災害発生状況の公表に当たっては、製造業、建設業、陸上貨物運送事業、小売業、社会福祉施設、飲食店について、業種別の状況動向、取り組みについても紹介するようになっている。2015年は、「死亡災害は、建設業及び製造業で大幅に減少」、「死傷災害は、製造業及び建設業で大幅に減少しているが、社会福祉施設

## 労働安全衛生をめぐる状況

| 年度   | 業種  | 労災保険新規受給者数 | 死亡災害   |    | 休業4日以上    |       | 休業3日以下・不休 |         |
|------|-----|------------|--------|----|-----------|-------|-----------|---------|
|      |     | 人数         | 人数     | 指数 | 人数        | 指数    | 人数        | 指数      |
| 1996 | 全業種 | 654,855    | 2,363  | 1  | 160,499   | 67.9  | 491,993   | 208.2   |
| 1997 | 全業種 | 649,404    | 2,078  | 1  | 154,648   | 74.4  | 492,678   | 237.1   |
| 1998 | 全業種 | 625,427    | 1,844  | 1  | 146,404   | 79.4  | 477,179   | 258.8   |
| 1999 | 全業種 | 602,853    | 1,992  | 1  | 137,316   | 68.9  | 463,545   | 232.7   |
| 2000 | 全業種 | 603,101    | 1,889  | 1  | 132,059   | 69.9  | 469,153   | 248.4   |
| 2001 | 全業種 | 600,210    | 1,790  | 1  | 131,808   | 73.6  | 466,612   | 260.7   |
| 2002 | 全業種 | 578,229    | 1,658  | 1  | 124,260   | 74.9  | 452,311   | 272.8   |
| 2003 | 全業種 | 593,992    | 1,628  | 1  | 124,122   | 76.2  | 468,242   | 287.6   |
| 2004 | 全業種 | 603,484    | 1,620  | 1  | 121,184   | 74.8  | 480,680   | 296.7   |
| 2005 | 全業種 | 608,030    | 1,514  | 1  | 118,840   | 78.5  | 487,676   | 322.1   |
| 2006 | 全業種 | 606,645    | 1,472  | 1  | 119,906   | 81.5  | 485,267   | 329.7   |
| 2007 | 全業種 | 607,348    | 1,357  | 1  | 119,999   | 88.4  | 485,992   | 358.1   |
| 2008 | 全業種 | 604,139    | 1,268  | 1  | 118,023   | 93.1  | 484,848   | 382.4   |
| 2009 | 全業種 | 534,623    | 1,075  | 1  | 104,643   | 98.3  | 428,905   | 399.0   |
| 2010 | 全業種 | 574,958    | 1,195  | 1  | 106,564   | 98.3  | 467,199   | 391.0   |
| 2011 | 全業種 | 614,914    | 1,024  | 1  | 106,564   | 104.1 | 507,326   | 495.4   |
| 2012 | 全業種 | 606,886    | 1,093  | 1  | 119,576   | 109.4 | 486,217   | 444.8   |
| 2013 | 全業種 | 602,927    | 1,057  | 1  | 119,535   | 113.1 | 482,335   | 456.3   |
| 2014 | 全業種 | 619,599    | 1,057  | 1  | 119,535   | 113.1 | 499,007   | 472.1   |
| 合計   | 全業種 | 11,491,624 | 28,947 | 1  | 2,384,107 | 82.4  | 9,078,570 | 313.6   |
| 2014 | 製造業 | 135,730    | 180    | 1  | 27,452    | 152.5 | 108,098   | 600.5   |
|      | 鉱業  | 645        | 13     | 1  | 244       | 18.8  | 388       | 29.8    |
|      | 建設業 | 60,381     | 377    | 1  | 17,184    | 45.6  | 42,820    | 113.6   |
|      | 運輸業 | 42,217     | 154    | 1  | 17,907    | 116.3 | 24,156    | 156.9   |
|      | 林業  | 2,959      | 42     | 1  | 1,611     | 38.4  | 1,306     | 31.1    |
|      | その他 | 377,667    | 291    | 1  | 55,137    | 189.5 | 322,239   | 1,107.4 |

及び飲食店で増加している」。

厚生労働省による前年の労働災害発生状況公表に当たって、2009年から「派遣労働者の労働災害発生状況」、2013年から「外国人労働者の死傷災害発生状況」も公表されるようになっていく。

### ● その他

1件の重大災害の背後には、29件の軽症災害と300件の無傷害災害があるというよく知られたハイソリックの法則の「1:29:300」という数字の厳密性とはともかくとして、「死亡災害件数」を1とした場合の、「休業4日以上の災害件数（休業4日以上の死傷災害-死亡災害）」及び「休業3日以内+不休災害の件数（労災保険新規受給者数-休業4日以上の死傷災害）」の比率を別掲表に示した。

過去18年間平均では、この比率は1:82.4:313.6ということになるが、経年的な変化に加えて、業種別のばらつきも著しい。とりわけ林業では、休業4日以上の災害件数の方が3日以内+不休災害の件数よりも多いという逆転現象を示しており、鉱業、建設業と運輸業でも、製造業やその他事業と比較すると、休業+不休災害の件数が著しく低い。これは「労災隠し」の存在を示唆しているとも考えられる。このような分析も、「労災隠し」の根絶のために活用できるはずである。

### ● 業務上疾病

業務上疾病（職業病）については、3年連続減少した後、2014年度の補償件数は9,141件で、前年比30%（269件）の増加、2014年の

公表件数は7,415件で、前年比1.4%（105件）の増加となっている。

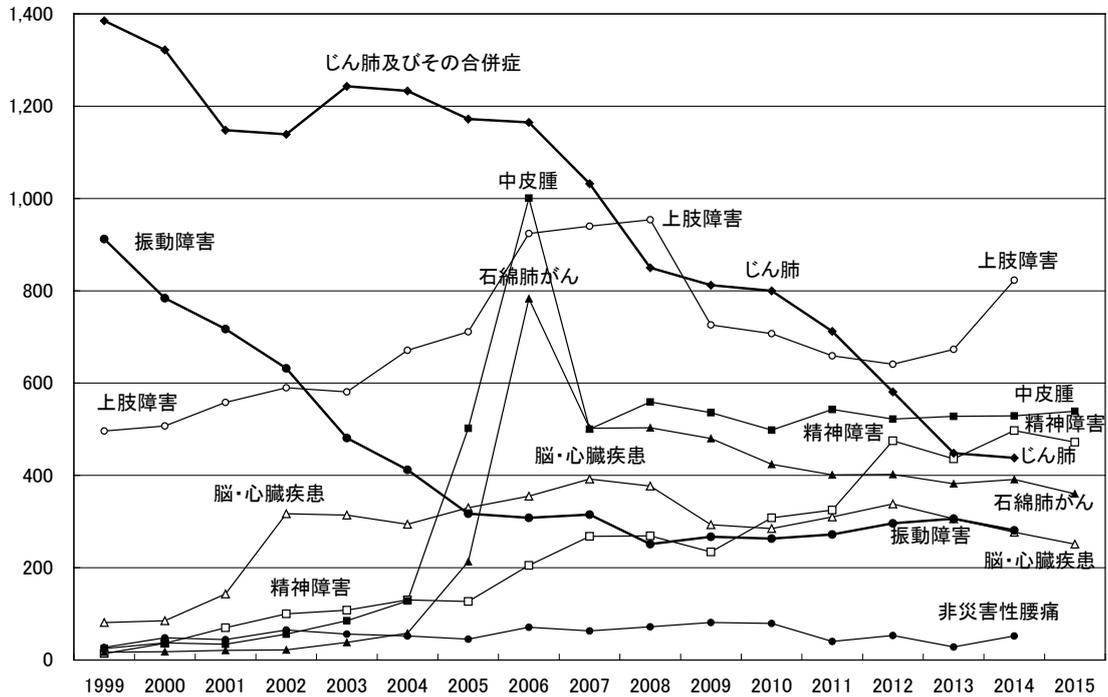
次頁に上図として、「主な職業病の認定件数の推移」を示した。

伝統的な職業病の双壁のひとつ「じん肺及びその合併症」の認定件数は、2003年度から原発性肺がんが合併症に追加されたにもかかわらず減少傾向が続いている。2014年度には、上肢障害だけでなく、中皮腫及び精神障害よりも少なくなった。

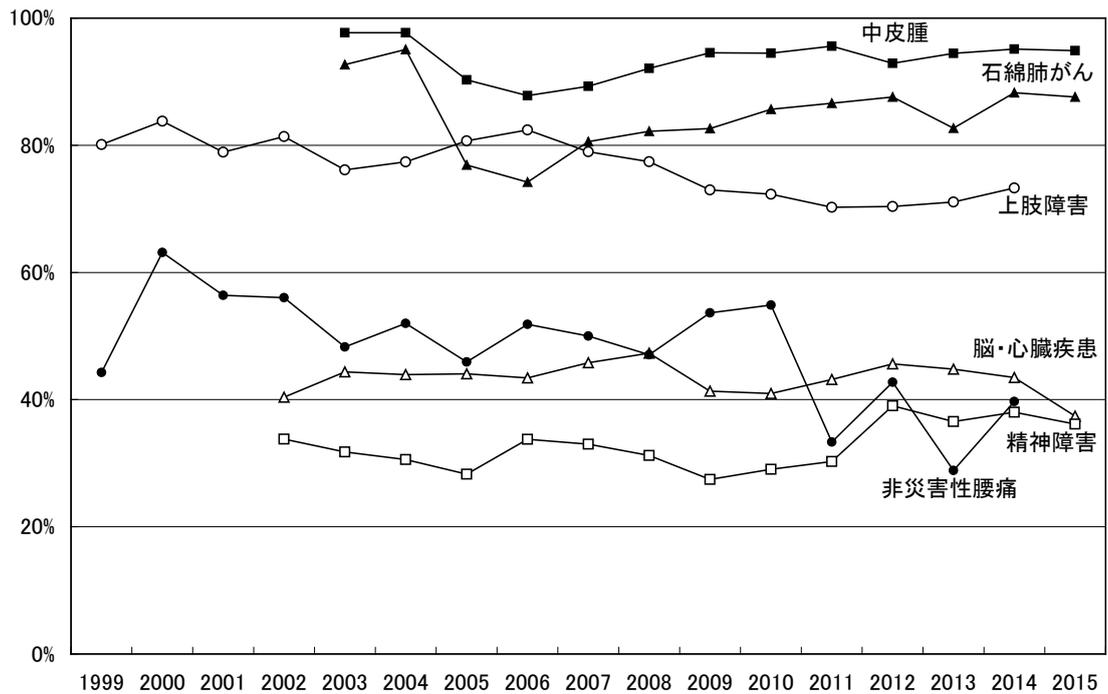
伝統的な職業病の双壁のもうひとつ「振動障害」の方は、2005年度まで減少し続けた後は、プラトーのようにみえる（2014年度は微減）。

「上肢障害」は、1997年の労災認定基準改正以降増加傾向を示して、2008年度に「じん肺及びその合併症」を上回り、2009年度以降いったん減少

主な職業病の認定件数の推移



主な職業病の認定率の推移



## 労働安全衛生をめぐる状況

| 業種  | 事業場数      | 労働者数       | 新規受給者数  | 死亡者数      | 重大災害件数 | 死傷者数    | 業務上疾病数    |
|-----|-----------|------------|---------|-----------|--------|---------|-----------|
|     | 2014年度末   |            | 2014年度  | 2015年(暦年) |        |         | 2014年(暦年) |
| 製造業 | 13.8%     | 15.4%      | 21.9%   | 16.5%     | 18.0%  | 22.7%   | 19.7%     |
| 建設業 | 23.0%     | 8.7%       | 9.7%    | 33.6%     | 39.9%  | 13.4%   | 9.5%      |
| 運輸業 | 2.7%      | 5.1%       | 6.8%    | 15.9%     | 6.5%   | 15.0%   | 13.0%     |
| 鉱業  | 0.1%      | 0.0%       | 0.1%    | 1.0%      | 0.0%   | 0.2%    | 0.8%      |
| 林業  | 0.5%      | 0.1%       | 0.5%    | 3.9%      | 0.4%   | 1.4%    |           |
| その他 | 59.9%     | 70.6%      | 61.0%   | 29.0%     | 35.3%  | 47.4%   | 57.0%     |
| 合計  | 100.0%    | 100.0%     | 100.0%  | 100.0%    | 100.0% | 100.0%  | 100.0%    |
| 実数  | 2,707,702 | 55,408,173 | 619,599 | 972       | 278    | 116,311 | 7,415     |

に転じたものの、2013・14年度連続して増加した。

「中皮腫」と「石綿肺がん」は、2005年夏のクボタショックで認定件数が激増。中皮腫による死亡者が増加し続けていることに現われているように、被害は増えているはずなのに、中皮腫で横ばい、石綿肺がんが漸減傾向にあることが気にかかる。

「脳・心臓疾患」は、2001年の労災認定基準改正で増加したものの、2008年度以降減少に転じた後、2011・12年度は増加、2013年度以降3年連続して減少している。

「精神障害」は、1999年の判断指針策定以来増加し続け、2010年度にはついに「脳・心臓疾患」を上回った。2011年末に判断指針が認定基準に改訂されて2012年度はさらに増加して、「石綿肺がん」も上回ったが、2013年度は減少、2014年度は再度増加、2015年度は再度減少と揺れている。

前頁下図は、「認定率」を分析したものである。また、表5(32頁)に、請求件数、不支給決定件数が判明している職業病に係るデータのすべてを示してあるので参照していただきたい。表5の最下欄には、認定率①=認定件数/請求件数(いずれも当該年度)、認定率②=認定件数/(認定件数+不支給決定件数)の二つの指標を示してあるが、前頁下図は、認定率②の方である。

認定率②は、「中皮腫」がもっとも高く90%前後、次いで「石綿肺がん」が90%に迫りつつあり、その次が「上肢障害」である。

これらと比較すると、「脳・心臓疾患」、「精神障害等」は著しく低い。2012年度に「精神障害」の認定率が上昇したのは、2011年末の認定基準策定の影響と考えられるが、40%超えが期待されたもの

の、その後停滞している。「脳・心臓疾患」の認定率は3年連続して減少して、「精神障害」とほぼ同じになってしまった。

「非災害性腰痛」の認定率は、2000年度に60%を超えた後、50%前後で推移してきたが、2011年度に大きく減少した後、動揺している。

なお、「災害性(負傷による)腰痛(1-1)」と「異常温度条件による疾病(2-4)」、「その他の物理的因子による疾病(2-6)」、「その他の身体に過度の負担のかかる作業態様に起因する疾病(3-5)」では系統的に、「化学物質による疾病(4-2)」や「細菌、ウイルス等の病原体による疾病」でも一部、公表件数が補償件数を上回っており、使用者が職業病と判断して死傷病報告を届け出たにも関わらず、労災補償の手続がなされていないケースが多々あるのではないかと示唆されるところである。

また、各種統計の業種別内訳を、一覧にして別掲表に示した。

### ● 労働者の健康状況等

労働者の健康状況全般については、定期健康診断受診者のうちの有所見率が、1990年の23.6%から2014年の53.2%へと経年的に増加し続けている。項目別の有所見率では、血圧、貧血、血中脂質検査、血糖検査、心電図検査で経年的な増加傾向が認められる。

警察庁によれば、自殺者が2011年まで14年連続で3万人を超えた後、2012年27,858人→2013年27,283人→2014年25,427人→2015年24,025人と人減少したが、そのうち「被雇用者・勤め人」が7,272→7,421人→7,164人→6,782人(27%弱～

28%強)、「勤務問題」が原因・動機のひとつとなっているものが2,323→2,472人→2,227人→2,159人(全体の8~9%)である。

「平成20年技術革新と労働に関する実態調査」、「平成21年建設業労働災害防止対策等総合実態調査」、「平成22年労働安全衛生基本調査」、「平成23年労働災害防止対策等重点調査」、「平成24年労働者健康状況調査の概況」、「平成25年労働安全衛生調査(実態調査)」、「平成26年労働環境調査」等の概況報告が、厚生労働省のホームページに掲載されている(<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/list46-50.html>)。

5年に一度実施されている「平成24年労働者健康状況調査」では、事業所調査で、「心の健康対策(メンタルヘルスケア)」の実施率は、1992年22.7%→1997年26.5%→2002年23.5%→2007年33.6%→2012年47.2%と連続して上昇。「喫煙対策」の実施率も、1992年34.1%→1997年47.7%→2002年59.1%→2007年75.5%→2012年81.8%と連続して上昇している。

労働者調査では、自分の仕事や職業生活に関して「強い不安、悩み、ストレスがある」とする労働者の割合は、1992年57.3%→1997年62.8%→2002年61.5%→2007年58.0%→2012年60.9%となっている。その内容は、「職場の人間関係の問題」41.3%(前回38.4%)が高く、次いで「仕事の質の問題」33.1%(前回34.8%)、「仕事の量の問題」30.3%(前回30.6%)となっている。

何らかの「健康の保持・増進」に取り組んでいる事業所は、1992年43.9%→1997年46.4%→2002年37.4%→2007年45.2%→2012年には項目がなくなった。また、1992年64.6%→1997年72.0%→2002年72.2%と増加していた、普段の仕事で「身体が疲れる」という質問項目もなくなってしまっている。

他方で新規項目として、時間外・休日労働が100時間を超える長時間労働者への医師による面接指導を知っている事業所が、2007年45.6%→2012年58.2%。面接指導を実施した事業所が、2012年4.3%。面接指導を実施した後に何らかの措置を講じた事業所が、2012年82.9%。面接指導制度を知っている労働者が、2007年21.7%→2012年

33.2%。面接指導を受けたことがある労働者が、2007年6.3%→2012年5.5%。面接指導を受けた後に何らかの改善措置が講じられたと答えた労働者が、2007年40.0%→2012年45.3%となっている。

労働者のストレスチェックを実施した事業所は、2012年25.8%。そのうち定期健診の機会に合わせて実施が32.2%、定期健診以外の機会に実施が67.7%、不明0.1%である。

さらに、「平成25年労働安全衛生調査(実態調査)」では、事業所調査で実施しているまたは取り組んでいると答えた割合が、リスクアセスメント53.1(>2011年46.5%>2010年33.8%)、安全衛生教育77.1%、メンタルヘルス対策60.7%(>2012年47.2%>2011年43.6%)、ストレスチェック26.0%(>2012年25.8%)、パワーハラスメント防止対策56.0%、受動喫煙防止対策85.6%(>2012年81.8%)、非正規労働者に対する安全衛生教育52.9%、高年齢労働者の労働災害防止対策64.6%、腰痛予防対策65.3%、熱中症予防対策77.0%。労働者調査では、現在の仕事や職業生活に関して「強い不安、悩み、ストレスがある」52.3%(<2012年60.9%)、「職場で受動喫煙がある」47.7%(<2012年51.8%)、等といった結果が報告されている。

### 3. 労働安全衛生対策

#### ● 第12次労働災害防止計画

2013~2017年度を対象期間とする第12次労働災害防止計画は、以下の目標を掲げている。

- ① 死亡災害の撲滅を目指して、2012年と比較して、2017年までに労働災害による死亡者数を15%以上減少させること
- ② 2012年と比較して、2017年までに労働災害による休業4日以上の死傷者の数を15%以上減少させること

また、6つの重点施策を掲げて、各々の具体的取り組みについても示しているが、詳しくは2013年5月号を参照されたい。2015年2月19日基安発0219第1号「安全衛生業務の推進」は、「2年経過時点

## 労働安全衛生をめぐる状況

…目標達成が困難な状況となっている」として2015年度における単年の全国目標を掲げ、死亡災害については達成できたが、死傷災害は実現できなかった。2016年2月18日基安発0218第1号「安全衛生業務の推進」は、「目標を達成するには相当の取組が必要」としつつも、2016年度における単年の全国目標は掲げていない。

2016年4月1日基発0401第71号「平成28年度地方労働行政方針」は、「3年経過時点で死亡災害は11.9%の減少となっているが、死傷災害は2.8%の減少に留まっており、業種によっては増加傾向にあるなど、目標達成が困難な状況となっている」、「引き続き転倒災害、交通労働災害や非正規雇用労働者対策などの業種横断的な対策に取り組むとともに、墜落・転落災害やはさまれ・巻き込まれ災害などの重篤度の高い災害にも着目しつつ、同計画の重点業種である製造業、建設業、陸上貨物運送事業、小売業、社会福祉施設、飲食店を中心とした取組を推進していく必要がある」としている。2015年8月6日には基安発0806第1号「平成27年度下半期の安全衛生対策の推進」も示されている。

2015年度には、以下のような通達も示されている。

- ・2015年5月14日基安発0514第1号「平成27年における熱中症予防対策の重点的な実施」
- ・2015年5月20日基安発0520第1号「足場からの墜落・転落災害防止総合対策推進要綱の改正」-「足場からの墜落防止措置の効果検証・評価検討会報告書」（2014年11月）を踏まえた労働安全衛生規則改正に合わせたもの
- ・2015年6月29日基安発0629第1号「『斜面崩壊による労働災害の防止対策に関するガイドライン』の策定」
- ・2015年7月8日基安発0708第1号「平成26年に発生した酸素欠乏症等の労働災害発生状況」
- ・2015年8月4日基発0804第1号「今夏の職場における熱中症予防対策の徹底」
- ・2015年8月5日基発0805第1号「ロープ高所作業における危険の防止を図るための労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行」

- ・2015年8月10日基発0810第1号「粉じん障害防止規則及びじん肺法施行規則の一部を改正する省令の施行」- 鋳物を製造する工程において砂型を造形する作業を粉じん作業等に追加
- ・2015年8月12日基発0812第1号「自転車運転者の労働時間等の改善のための基準に係る関係通達の一部改正」
- ・2017年8月31日基発0831第2号「電気機械器具防爆構造規格第5条の規定に基づき、防爆構造規格に適合するものと同等以上の防爆性能を有することを確認するための基準等」
- ・2015年9月30日基発0930第5号「『派遣労働者に係る労働条件及び安全衛生の確保について』の一部改正」- 派遣法改正を踏まえたもの
- ・2015年9月30日基発0930第11号「プレス機械の安全装置管理指針の改正」
- ・2015年11月5日基安発1105第2号「ノロウイルスによる感染性胃腸炎の感染制御対策等の周知等」
- ・2015年11月6日基発1106第1号「車両系建設機械の定期自主検査指針（労働安全衛生規則第167条の自主検査に係るもの）の公表等」
- ・2015年12月7日基発1207第3号「『チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン』の策定」
- ・2016年1月13日基安発0113第3号「転倒災害の防止に向けた取組について（協力要請）- 『STOP! 転倒災害プロジェクト』による転倒災害の防止」
- ・2016年2月25日基発0225第1号「鉄鋼業における自主的な安全管理活動の促進」
- ・2016年2月29日基安発0229第1号「平成28年の職場における熱中症予防対策の重点的な実施」
- ・2016年3月7日基安発0307第2号「ドラグ・ショベルに開閉式フック付きのアタッチメントを装着して土のうをつり上げて運搬する機械の取扱い」
- ・2016年3月18日基安発0318第2号「第一種圧力容器及び第二種圧力容器の胴又は鏡板に設けるマンホール、掃除穴及び検査穴」

### ● 改正労働安全衛生法

2014年6月に労働安全衛生法改正案が成立し

た。主な改正内容は、以下のとおりである。

- ① 表示・通知義務対象化学物質についてリスクアセスメントの義務付け
- ② 医師等によるストレスチェック制度の創設
- ③ 受動喫煙防止対策の努力義務化
- ④ 重大な労働災害を繰り返す事業場に厚生労働大臣が指示、勧告、公表を行う制度の導入
- ⑤ 規模の大きい工場等で建築物、機械等の設置、移動等を行う場合の事前届出の廃止
- ⑥ 電動ファン付き呼吸用保護具を型式検定、譲渡制限の対象に追加
- ⑦ 外国に立地する機関も検査・検定機関として登録可能に

施行は、⑤⑥-2014年12月1日、③④⑦-2015年6月1日、②-2015年12月1日、①-2016年6月1日で、すでにすべて施行されている。

③については、2015年5月15日に「職場の受動喫煙防止対策に係る技術的留意事項に関する専門家検討会報告書」がまとめられ、「職場において受動喫煙防止措置を講じる際の効果的な手法等の例」（基安発0515第1号）が示されるとともに、受動喫煙防止対策助成金交付要領、質疑応答集の改正等も行われている（2015年7月号）。厚生労働省は「職場における喫煙防止対策」のページを設置している（[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudoukijun/zenzen/kitsuen/](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/zenzen/kitsuen/)）。

④については、死亡災害または障害等級第1～7級の障害を生じさせた傷病を「重大な労働災害」とし、(1) 同一事業者が3年以内に他の事業場で同様な重大な労働災害を発生させ、かつ、(2) いずれも労働安全衛生法令の規定に違反して発生させたものである場合に、厚生労働大臣が「特別安全衛生改善計画」の作成・提出・変更を指示。事業者が指示に従わなかった、または同計画を守っていないと認める場合において、重大な労働災害が再発するおそれがあると認めるときは、必要な措置をとるべきことを勧告。その勧告に従わなかったときは、その旨を公表できるというものである。2015年5月26日基安計発0526第1号「労働安全衛生法第78条に規定する特別安全衛生改善計画の運用

に当たっての留意事項」が示されている。

また、法改正事項には該当しなかったが、法改正のもととなった労働政策審議会の建議を踏まえて、2014年12月25日に「安全衛生に関する優良企業を評価・公表する仕組みに関する検討会報告書」が公表され、2015年7月8日に最初の安全衛生優良企業公表が行われた。今後、原則として月1回行うとしている。厚生労働省は「安全衛生優良企業公表制度」のページを開設した（<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000075611.html>）。

## ● ストレスチェック制度

①と②が今回の法改正の中心的内容とされているが、労働安全衛生対策のまったく正反対のアプローチを代表しているといえる。

法改正後、「ストレスチェック項目等に関する専門検討会」、「ストレスチェックと面接指導の実施方法等に関する検討会」、「ストレスチェック制度に関わる情報管理及び不利益扱い等に関する検討会」が開催され、2014年12月17日に合同の「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度に関する検討会報告書」が公表された。2015年4月15日には、省令・告示・指針（心理的な負担の程度を把握するための検査及び面接指導の実施並びに面接指導結果に基づき事業者が講ずべき措置に関する指針）、5月にはストレスチェック制度実施マニュアルとQ&A、7月にはストレスチェック制度簡単導入マニュアル等が示された。「厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム」もダウンロードできるようになり（現在Ver.1.2）、「数値基準に基づいて『高ストレス者』を選定する方法」、「医師向けの面接指導マニュアル」、「情報通信機器を用いた面接指導の実施」、「外部機関にストレスチェック及び面接指導の実施を委託する場合のチェックリスト例」等も示され、実施マニュアルは2016年4・5月に改訂されてもいる。また、労働者数50人未満の事業場に対しては、産業保健総合支援センターによる制度導入のための支援が行われている。

しかし、「高ストレス者」の選定基準は事業者任せ、「集団ごとの集計・分析及び職場環境の改

善」は義務化されないなどを含めて、問題点が多めに多いことは本誌が繰り返し指摘したとおりであり、できるだけ早く実施状況と問題点の把握が行われるべきである。厚生労働省の「ストレスチェック」ページ (<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei12/>)。

2016年4月1日基発0401第72号「ストレスチェック制度の施行を踏まえた当面のメンタルヘルス対策の推進」が示され、「メンタルヘルス対策は、一次予防(メンタルヘルス不調の未然防止)、二次予防(メンタルヘルス不調の早期発見・早期治療)、三次予防(メンタルヘルス不調者の職場復帰支援)を総合的に進めるべきものであるが…当面は、ストレスチェック制度の履行確保をメンタルヘルス対策の最重点課題として位置づけ、同制度の導入を契機として、事業場におけるメンタルヘルス対策が加速的に進むよう、計画的に取り組む」としている。

### ● 過労死等防止対策推進法

過労死等防止対策推進法は2014年11月1日に施行され、当事者、労使及び専門家代表委員からなる過労死等防止対策推進協議会が設置されて、2015年7月24日に過労死等防止対策大綱が閣議決定された。厚生労働省は「過労死等防止対策」のページを開設している (<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000053725.html>)。

同法のもとで11月が「過労死等防止啓発月間」とされ、合わせて「過重労働解消キャンペーン」も実施されている。2015年度の同キャンペーンにおける重点監督の結果、違法な時間外労働が約3割で認められ、そのうち1か月当たり100時間を超える時間外労働が約3割で認められたほか、違法な時間外労働に係る書類送検の件数も倍増している。

「日本再興戦略改訂2015」に引き続き「働き過ぎ防止のための取組強化」が盛り込まれ、厚生労働大臣を本部長とする「長時間労働削減推進本部」のもと、100時間を超える時間外労働が行われている全ての事業場に対する監督指導の徹底等が掲げられ、2015年4月東京及び大阪労働局に「過重労働撲滅特別対策班」設置、5月18日基発0518第

1号「違法な長時間労働を繰り返し行う企業の経営トップに対する都道府県労働局長による是正指導の実施及び企業名の公表」、10月1日基発1001第4号「長時間にわたる過重労働による過労死等に係る労災請求が行われた事業場等及び若者の『使い捨て』が疑われる企業等に対する取組の強化」等が指示されている。「喫緊の課題である長時間労働対策」について、2016年2月16日基発0216第1号「監督指導業務の運営に当たって留意すべき事項」は、「今後、内閣総理大臣を議長とする『一億総活躍国民会議』における議論も踏まえ、平成28年度の途中にさらに効果的な対策を講じていくこととなる」としているが、真に効果的な対策の実施が求められていることは言うまでもない。

過労死等防止対策大綱においても、大学生等の若年者を対象とする労働条件に関する啓発に取り組むこととされている。2014年11月9日に「大学生等に対するアルバイトに関する意識等調査結果」、2015年5月18日に「高校生等に対するアルバイトに関する意識等調査結果」が公表され、2016年2月29日基発0229第13号「学生アルバイトの労働条件の確保及び適切な労務管理に向けた取組」が示されている。

すでに監督指導行政や過労死等の労災補償状況の公表に一定の影響を及ぼし始めているが、真価が問われるのはこれからである。

過労死等防止対策推進全国センター、過労死防止学会も設立され、地方レベルでの取り組みも活発化しそうである。

### ● パワーハラスメント

2016年6月8日に厚生労働省は「平成27年度個別労働紛争解決制度の施行状況」を公表し、「総合労働相談は8年連続100万件超、内容は『いじめ・嫌がらせ』が4年連続トップ」と明らかにした。2016年度から都道府県労働局に「雇用環境・均等部(室)」が設置されて(労働基準監督署「次長」も「副署長」に変更)、マタハラ、セクハラ、パワハラ等、「一体的にハラスメントの未然防止を図るとともに、相談への迅速な対応を行う」とされている。

これを踏まえて、2014年に策定された「職場のバ

ワーハラスメント対策の推進について」が2016年4月1日地発0401第5号・基発0401第73号で一部改正」されるとともに、2015年5月15日に初めて作成された「パワーハラスメント対策導入マニュアル」が、2016年7月7日に「第2版」に更新されて公表されている。厚生労働省は「職場のパワーハラスメント」のページを開設している (<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000126546.html>)。

### ● その他の労働安全衛生対策

2015年6月26日に「女性活躍加速のための重点方針2015」が示され、「職場での女性用トイレの設置数に係る労働安全衛生法に基づく衛生基準〔事務所別-20人以内ごとに1個以上〕について、労働基準監督署による指導を強化すること等により、女性の職域拡大に資するトイレの整備を促進すること」が盛り込まれたことを受けて、2015年6月30日基安発0630第1号「事務所における女性用トイレの整備等の徹底」が示された。

鋳物を製造する工程において砂型を造型する作業を粉じん作業として規制する粉じん障害防止規則等の改正が2015年10月1日から施行された。

2015年10月30日基安発1030第1号「産業医の選任の改善」は、法人の代表者または事業経営主（事業者の代表者）、事業場においてその事業の実施を総括管理する者（事業場代表者）を産業医として選任することは適切でなく、選任している場合には早期に改善する必要があると指示した。

2016年3月30日に「機械安全を用いた機械等の取扱規制のあり方に関する検討会報告書」が公表され、2016年度に関係法令等の改正が予定されている。

「日本再興戦略改訂2015」にがん患者等への就労支援の重要性が、また、「がん対策加速化プラン」で「がんとの共生」社会実現のための就労支援モデル事業の全国展開等が盛り込まれるなか、2016年2月23日に「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」が公表された。厚生労働省は「治療と職業生活の両立について」のページを開設している (<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000115267>。

html)。

2015年末以降、都道府県労働局及び労働基準監督署の安全衛生部署において、事業者に郵送する書類の宛先を誤る等の個人情報漏えい事故が立て続けに発生し、2016年3月18日基安計発0318第1号「安全衛生業務における個人情報漏えい防止対策の徹底（注意喚起）」が示されたが、その後も5月13日に「個人所法を含む文書の紛失に関する報告とお詫び」を公表しなければならないような事態が続いている。

## 4. 化学物質・アスベスト対策

### ● 関係法令の改正・指針対象物質の追加

前出の、表示・通知義務対象化学物質についてのリスクアセスメントの義務化に係る労働安全衛生法改正は、2016年6月1日に施行されている。厚生労働省は「労働安全衛生法改正について（ラベル・リスクアセスメント関係）」のページで主な情報を提供している (<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000094015.html>)。

これによって、「人に対する一定の危険性または有害性が明らかになっている化学物質」-労働安全衛生法施行令別表第9に掲げる633物質及び別表第3第1号第1～7号（特定化学物質第1類）に掲げる7物質の合わせて640物質については、①ラベル表示、②安全データシート(SDS)交付、③リスクアセスメントの3つがセットで義務付けられることになった。

2015年9月1日には「平成27年度化学物質のリスク評価に係る企画検討会報告書」が公表されて、新たに24（後に27に区分替え）物質を令別表第9に追加することが妥当とされ（12物質継続検討、2物質追加見送り）、改正安衛令が2017年3月1日から実施される（2016年3月29日基発0329第5号）。ここで、日本産業衛生学会の許容濃度、米国労働衛生専門家会議（ACGIH）のTLV勧告がなされた化学物質は原則として令別表第9に追加するという基本的考え方が示されている。

加えて発がん物質等は特定化学物質等障害予防規則等による特別規制の対象とされているが

## 労働安全衛生をめぐる状況

(製造禁止8物質、特別規制449物質)、この対象の追加については、①有害物曝露作業報告(労働安全衛生規則第95条の6)を活用して、②国が曝露評価と有害性評価をもとにリスク評価(初期リスク評価及び詳細リスク評価)を行い、③リスクが高い作業等については特別規則による規制等の対象に追加するという仕組みがつけられている。厚生労働省は「職場における化学物質のリスク評価」のページを開設(<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000113892.html>)。また、厚生労働省「職場のあんぜんサイト」に「リスク評価実施物質」のページがある(<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc09.htm>)。

2015年8月12日「化学物質のリスク評価検討会報告書(平成27年度第1回)」は、①三酸化ニアンチモン-健康障害防止措置検討、②塩化アリル-詳細なリスク評価が必要、③クメン、グルタルアルデヒド-関係事業者による自主的なリスク管理が適当、④酸化チタン(ナノ粒子)-リスク評価中の酸化チタン(ナノ粒子以外)の評価結果と合わせて検討、と勧告したが、①に関する「化学物質による健康障害防止措置に係る検討会」の報告はまだ示されていない。2016年3月24日「化学物質のリスク評価検討会報告書(平成27年度第2回)」は、①アクリル酸メチル、アセトニトリル-詳細なリスク評価が必要、②イプシロン-カプロラクタム-関係事業者による自主的なリスク管理が適当、と勧告した。

前年度に健康障害防止措置検討と勧告されたナフタレン及びリフラクトリーセラミックファイバーに関する特化則等の改正が2015年9月30日に行われ、同年11月1日から施行されている。

特別規則の対象以外であっても、厚生労働大臣は、がんその他の重度の健康障害を労働者に生ずるおそれのある化学物質を製造・取り扱う事業者が当該化学物質による労働者の健康障害を防止するための指針(がん原性指針)を公表するものとされ(法第28条第3項)、2016年3月31日付け基発0331第24~27号によって、エチルベンゼン(塗装業務について特化則対象であるが、それ以外の業務をがん原性指針対象に追加)等4物質が対象物質に追加されて38物質になった。厚生労働省「職場のあ

んぜんサイト」に「がん原性に係る指針対象物質」のページがあるが、本校執筆時点では今回の追加はまだ反映されていない(<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc05.htm>)。

さらに、2015年12月7日付け基発1207第8号によって、事業者からの届出のあった新規化学物質925物質のうち45物質、既存化学物質のうち25物質について、学識経験者から強度の変異原性が認められる旨の意見を得て、2003年5月17日付け基発第312号の3の別添1「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」の適用対象に追加した。これによって、同指針の対象となる化学物質の数は、届出物質876、既存化学物質194、合計1,070となっている。厚生労働省「職場のあんぜんサイト」に「強い変異原性が認められた物質」のページがある(今回の追加も反映済み、<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc02.htm>)。

### ● 芳香族アミンによる膀胱がん

2015年12月18日、厚生労働省は「芳香族アミンによる健康障害の防止対策について関係業界に要請しました」と発表した。福井県にある染料・顔料の中間体を製造する事業場で5名の労働者が膀胱がんを発症しているという事案が明らかになったのであった。

2016年1月22日に「芳香族アミンの取扱事業場に関する調査結果等(第1報)」、3月4日に「第2報」、6月1日には独立行政法人労働安全衛生総合研究所による「福井県の事業場における膀胱がん発症に係る調査結果」が公表されている。最後の報告書によれば、オルトトルイジンに汚染された保護手袋使用等による長期間にわたる経皮曝露(皮膚から体内に吸収)が示唆された。

このため2016年6月20日基発0620第2号「事業場における発がん性のおそれのある化学物質に係る健康障害防止対策の徹底(要請)」で関係業界に対して、経気道曝露だけでなく経皮曝露、経口曝露による健康影響のおそれについても留意・周知する必要を強調して、国際がん研究機関(IARC)によって発がん性グループ1~2Bに区分され、日本産業衛

生学会またはACGIHが経皮吸収による健康影響があるとしている55の化学物質を示しながら、事業場内における製造・取扱の確認、曝露防止措置及び保護措置の点検・徹底等を求めた。

また、同日付け基安発0620第1号「オルトトルイジンによる健康障害防止対策の継続的な実施」では、今後オルトトルイジン取扱作業に関するリスク評価や健康障害防止措置検討の結論が出るまでの間、従事労働者・退職者への膀胱がんに関する検査の定期的実施を指導した。

最大の問題は、IARCグループ1発がん物質に区分されていたオルトトルイジン等が前述の「化学物質のリスク評価」の対象とされ、福井県の当該事業場も調査対象とされていたにも関わらず、事業者による自主的管理まかせでよしとしてしまい、膀胱がん多発の予防も早期発見もできなかったという事実である。事件が発覚してから、2016年7月28日になってオルトトルイジンについて再度「化学物質のリスク評価検討会報告書」をまとめ、今度は「健康障害防止措置検討」が必要としたのでは遅すぎる。

胆管がん事件をきっかけに法改正がなされ、2016年6月1日から実施されたリスクアセスメント義務化だけでも、同様の事件の再発防止には不十分である。最低限、既知の発がん性物質等については、自主的対策や行政指導でよしとせず、具体的な規制を設定して、使用・曝露の低減・根絶をめざすという原則を確立する必要がある。

### ● 衛生基本・留意通達

2014年2月17日基発0217第7号「今後における労働衛生対策の推進に関する基本方針」（衛生基本通達）は、化学物質に限定しているわけではないが、「新たに把握した職業性発病発生状況に対して迅速に対応するため、特定作業において同一疾病が特異的に発症している事案等、前例が無いと思われる発病発生状況を把握した場合は、医学的所見が不明であっても、速やかに本省労働基準局関係部署あて報告すること」を指示している。

同日基発0217第8号「労働衛生対策における監督指導等に当たって留意すべき事項」（衛生留意通達）は、都道府県労働局において3～5か年の化

学物質対策に係る中長期計画を策定し、計画的かつ効果的に実施するよう指示しており、2015年度は2年目となる。ここでは、監督指導等だけでなく特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）に基づく事業所からの届出情報との突き合わせも含めて、SDS交付義務対象物質を含めた化学物質取扱事業場の把握に努めて基礎資料の整備を行うことも指示している。

### ● アスベスト対策

2015年11月17日基安化発1117第2号「石綿含有成形板の除去作業における労働者の石綿ばく露防止措置」は、同省が環境省と合同で実施した東日本大震災被災地における建築物の解体現場での石綿気中濃度調査において、石綿含有成形板の除去を行う作業場から比較的高濃度の石綿が検出されたことから、原則手ばらし、やむを得ず破砕等が必要な場合は十分な湿潤化と作業場外への飛散防止措置（板表面への事前山水だけでは不十分で、破断面への散水等必要）等を指示した。

2016年4月13日基発0413第3号「建材中の石綿含有率の分析方法」は、同年3月22日付けで新しい日本工業規格JIS A 1481-4「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第4部：質量法及び顕微鏡によるアスベストの定量分析方法」が制定されたことを受けたものである。

2015年12月18日に厚生労働省は「都道府県労働局における石綿関連文書の保存の取扱いの誤りについて」公表したが、誤って破棄された文書には、監督復命書、安全衛生指導復命書、建設工事計画届、建築物解体等作業届等が含まれていた。

また、2016年5月13日に総務省が「アスベスト対策に関する行政評価・監視-飛散・ばく露防止対策を中心として〈結果に基づく勧告〉」を公表したが、勧告の対象には厚生労働省も含まれている。

## 5. 原子力災害関係

### ● 原子力緊急作業対策

## 労働安全衛生をめぐる状況

原子力施設において原子力緊急事態等が発生した場合に備え、緊急作業期間中における放射線障害防止に関する規定を整備するとして電離放射線障害防止規則の改正が2015年8月1日に行われ、2016年4月1日から施行されている。原子力規制庁による核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づき被ばく規制を規定している各規則も合わせて改正された。

①原子力災害対策特別措置法という原子力緊急事態が起きたとき等は直ちに250mSvに引き上げ、②それ以外で原子力緊急事態に至るおそれが高い事象が発生したときは100～250mSvの間で限度を設定（以上ふたつが「特例緊急被ばく限度」）、③従来からの「特例」でない緊急被ばく限度100mSv、④緊急でない被ばく限度年50mSv、5年で100mSvという仕組みになったが、問題は多い。

2015年5月1日に公表された「東京電力福島第一原発作業員の長期健康管理等に関する検討会報告書」を踏まえたもので、「東京電力福島第一原子力発電所における緊急作業従事者等の健康の保持増進のための指針」も改正されている。厚生労働省は「東京電力福島第一原子力発電所における緊急作業従事者等の長期的健康管理」のページを開設している ([http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudoukijun/anzen/fukushima/](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/fukushima/))。

同省は、一定の線量を超える被ばくをした緊急作業従事者等が就業上の不利益な取り扱いを受けることがないよう、その処遇、配置等の関係事業者に指導するとともに、労働者が離職した場合には再就職に向けた就業支援等を行うとしている。

### ● 福島第一原発労働災害防止対策

福島第一原発内では、構内における作業員数が増加しており、死亡災害等、重篤な災害が増加傾向にあることを踏まえ、2015年6月に廃炉・汚染水対策関係閣僚等会議に置いて「東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃止措置に向けた中長期ロードマップ」が改訂され、さらに同年8月26日には、本改訂中長期ロードマップを踏まえ、厚生労働省において「東京電力福島第一原子力発電所にお

ける安全衛生管理対策のためのガイドライン」(基発0826第1号)が策定された。

### ● 除染業務関連対策

2012年3月2日基発0302第2号「除染等業務における安全衛生対策」が、2014年10月20日基発1020第2号「除染等業務、特定線量下業務及び事故由来廃棄物等処分業務における安全衛生対策」に置き換えられた。

除染電離等の改正に伴い、「除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」が改正されるとともに、「特定線量下業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」、「事故由来廃棄物等処分業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン」が策定され、さらに、「除染等業務従事者等被ばく線量登録管理制度」の発足と関連するガイドラインの再改正等を踏まえたものである。各ガイドラインは、土壌等の放射能濃度の簡易測定に関する係数の更新等について、2014年11月18日基発1118第6号によっても改正されている。

厚生労働省は「除染等業務に係る放射線障害防止対策について」のページを開設している (<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000029897.html>)。

## 6. 労災補償対策

### ● 行政不服審査法の改正

2014年に改正された行政不服審査法が2016年4月1日に施行されたことに伴い、労災保険法、労働保険審査官及び労働保険審査会法、じん肺法、労働安全衛生法、労働保険料徴収法等の関係法令も改正された。

これに伴い、2016年3月30日基発0330第5号「行政不服審査法等の改正に伴う労働基準法等関係通達の整備」、基安発0331第1号「労働安全衛生法等関係通達の整備」、「労働保険料徴収法関係通達の一部改正」(2015年基発1211第20号)が行われたほか、「労災保険審査請求事務取扱

手引」(基発0318第3号)、「じん肺管理区分の決定等に関する事務取扱要領」(基発0314第4号、基発0329第11号等で関係通達の改正等も)、「健康管理手帳及び船員健康管理手帳交付等関係事務取扱要領」(基発0314第3号)が改正されるとともに、新たに「(じん肺法)審査請求に関する事務取扱要領」(基発0314第4号)が制定されている。

### ● 労災保険法令の改正等

被用者年金一元化法の施行に伴い、被用者年金各法の組合員または加入者も厚生年金被保険者となり、同委の事由により厚生年金保健法等の給付が行われる場合には、労災保険制度において併給調整を行うことになった(2015年9月4日基発0904第1号)。

労災傷病(補償)年金と障害厚生年金が併給される場合の調整率を現行の0.86から0.88に改める労災保険法施行令の改正が行われ、2016年4月1日から施行されている。

児童扶養手当法施行令の改正に伴い、同手当と労災年金給付との調整の事務処理も2016年度から一部変更されている(2017年12月24日基管発1224第1号・基保発1224第1号)。

介護(補償)給付の額が2016年年度から、常時介護の場合月57,030～104,950円、随時介護の場合月28,520～52,480円に引き上げられている。

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、労災保険関係の事務様式が一部改正されるとともに、「労災保険給付個人番号利用事務処理手引」が示されている(2015年12月24日基発1224第9号)。

### ● 労災就学援護費の支給額引き上げ等

2015年度から、小学校または特別支援学校の小学部に在籍する者への労災就学援護費の支給額が月額13,000円へ、2016年度から、中学校(中等教育学校の前期課程を含む)または特別支援学校の中学部に在籍する者への支給額が月額17,000円(通信制過程に在学する者には月額14,000円)へ引き上げられている。

長期家族介護者援護金の申請から支給決定ま

でに数か月を要している事案が散見されたことから、標準処理期間が1か月とされていることを踏まえた迅速・適正な処理を求める労災管理課長補佐(企画担当)事務連絡が2015年9月3日に出されている。

### ● 芳香族アミンによる膀胱がん

厚生労働省は2016年6月1日、「染料・顔料の中間体を製造する福井県の化学工業製品の製造事業場において、オルトトルイジンをはじめとした芳香族アミンを取り扱う作業に従事していた労働者が膀胱がんを発症したとして労災請求がなされたことを受け、個別の労災請求事案に係る業務と膀胱がん発症との間の因果関係について専門的な見地から検討するため、このたび、各分野の専門家により構成される膀胱がんの労災認定に関する検討会を開催する」ことにしたと発表した。

### ● 石綿関連文書の誤破棄

2015年12月18日に厚生労働省は「都道府県労働局における石綿関連文書の保存の取扱いの誤りについて」公表したが、誤って破棄された文書には、労災保険給付等調査復命書、労災保険審査制空書類、健康管理手帳交付・書替再交付申請書等が含まれていた。

### ● 健康保険と労災保険との「調整」

2015年9月11日基補発0911第1号「健康保険の保健給付を受けていた労働者に対する労災保険給付の取扱いの徹底」は、中央労災補償業務監察において、業務上と認定した疾病に関し、過去に健康保険による診療を受けていた期間の療養補償給付たる療養の費用請求に対して、当該被災労働者が健保への診療費の返還を行っていないことを理由に労災保険給付の決定を留保している事案が確認されたが、多大な経済的負担が生じる場合があることから、被災労働者の置かれた状況や返還を要する額に十分配慮するよう指示した。

健康保険と労災保険との「調整」をめぐる現場で様々な問題が生じており、被災労働者保護の立場からの対策確立が必要である。



## 労働安全衛生をめぐる状況

表1 死亡災害・死傷災害発生状況、労災保険適用状況及び給付種類別受給者数の推移

| 年度<br>/年 | 労災保険適用<br>事業場数 | 労災保険適用<br>労働者数 | 死亡災害<br>発生状況 | 死傷災害発生<br>状況(休業 <sup>4</sup><br>(8)日以上) | 労災保険新<br>規受給者数 | 障害(補償)給付   |        |       | 傷病(補償)<br>年金新規<br>受給者数 | 障害・傷病<br>新規受給者<br>数合計 |
|----------|----------------|----------------|--------------|---|----------------|------------|--------|-------|------------------------|-----------------------|
|          |                |                |              |   |                | 新規受<br>給者数 | 一時金    | 年金    |                        |                       |
| 1947     | 115,901        |                |              |   | 85,759         | 2,276      | 2,276  |       |                        | 2,276                 |
| 1950     | 316,260        | 7,195,752      |              |   | 628,693        | 49,074     | 49,074 |       |                        | 49,074                |
| 1955     | 559,171        | 10,244,310     | 5,050        | 335,442                                 | 554,255        | 63,838     | 63,838 |       |                        | 63,838                |
| 1960     | 807,822        | 16,186,190     | 6,095        | 468,139                                 | 873,547        | 75,533     | 75,416 | 117   | 883                    | 76,416                |
| 1965     | 856,475        | 20,141,121     | 6,046        | 408,331                                 | 1,340,702      | 73,300     | 73,028 | 272   | 1,051                  | 74,351                |
| 1970     | 1,202,447      | 26,530,326     | 6,048        | 364,444                                 | 1,650,164      | 79,132     | 74,270 | 4,862 | 1,106                  | 80,238                |
| 1975     | 1,535,276      | 29,075,154     | 3,725        | 322,322                                 | 1,099,056      | 57,600     | 53,387 | 4,213 | 1,482                  | 59,082                |
| 1979     | 1,763,532      | 30,759,019     | 3,077        | 340,731                                 | 1,130,621      | 57,659     | 53,643 | 4,016 | 2,707                  | 60,366                |
| 1980     | 1,839,673      | 31,839,595     | 3,009        | 335,706                                 | 1,098,527      | 56,350     | 52,465 | 3,885 | 2,619                  | 58,969                |
| 1981     | 1,896,973      | 32,750,233     | 2,912        | 312,844                                 | 1,027,477      | 54,651     | 50,567 | 4,084 | 2,286                  | 56,937                |
| 1982     | 1,940,378      | 33,593,799     | 2,674        | 294,219                                 | 963,496        | 53,085     | 49,003 | 4,082 | 2,415                  | 55,500                |
| 1983     | 1,993,359      | 34,510,310     | 2,588        | 278,623                                 | 929,841        | 51,306     | 47,405 | 3,901 | 2,326                  | 53,632                |
| 1984     | 2,035,693      | 35,196,556     | 2,635        | 271,884                                 | 921,400        | 52,125     | 48,011 | 4,114 | 2,012                  | 54,137                |
| 1985     | 2,067,091      | 36,215,432     | 2,572        | 257,240                                 | 901,855        | 50,410     | 46,648 | 3,762 | 1,674                  | 52,084                |
| 1986     | 2,110,305      | 36,696,975     | 2,318        | 246,891                                 | 859,220        | 50,022     | 46,170 | 3,852 | 1,336                  | 51,358                |
| 1987     | 2,176,827      | 38,799,735     | 2,342        | 232,953                                 | 846,508        | 47,978     | 44,256 | 3,722 | 1,218                  | 49,196                |
| 1988     | 2,270,487      | 39,724,637     | 2,549        | 226,318                                 | 832,335        | 46,966     | 43,181 | 3,785 | 1,135                  | 48,101                |
| 1989     | 2,342,024      | 41,249,304     | 2,419        | 217,964                                 | 818,007        | 44,265     | 40,759 | 3,506 | 891                    | 45,156                |
| 1990     | 2,421,318      | 43,222,324     | 2,550        | 210,108                                 | 797,980        | 42,043     | 38,716 | 3,327 | 814                    | 42,857                |
| 1991     | 2,491,801      | 44,469,300     | 2,489        | 200,633                                 | 764,692        | 40,221     | 37,108 | 3,113 | 804                    | 41,025                |
| 1992     | 2,541,761      | 45,831,524     | 2,354        | 189,589                                 | 725,637        | 38,222     | 35,215 | 3,007 | 791                    | 39,013                |
| 1993     | 2,576,794      | 46,633,380     | 2,245        | 181,900                                 | 695,967        | 37,166     | 34,132 | 3,034 | 752                    | 37,918                |
| 1994     | 2,604,094      | 47,017,275     | 2,301        | 176,047                                 | 674,526        | 35,637     | 32,564 | 3,073 | 697                    | 36,334                |
| 1995     | 2,643,828      | 47,246,440     | 2,414        | 167,316                                 | 665,043        | 34,543     | 31,433 | 3,110 | 815                    | 35,358                |
| 1996     | 2,584,588      | 47,896,500     | 2,363        | 162,862                                 | 654,855        | 33,190     | 30,087 | 3,103 | 814                    | 34,004                |
| 1997     | 2,698,597      | 48,435,492     | 2,078        | 156,726                                 | 649,404        | 33,126     | 30,202 | 2,924 | 778                    | 33,904                |
| 1998     | 2,699,013      | 48,823,930     | 1,844        | 148,248                                 | 625,427        | 32,030     | 29,039 | 2,991 | 739                    | 32,769                |
| 1999     | 2,687,662      | 48,492,908     | 1,992        | 137,316                                 | 602,853        | 30,750     | 27,855 | 2,895 | 722                    | 31,472                |
| 2000     | 2,700,055      | 48,546,453     | 1,889        | 133,948                                 | 603,101        | 29,297     | 26,558 | 2,739 | 637                    | 29,934                |
| 2001     | 2,692,395      | 48,578,841     | 1,790        | 133,598                                 | 600,210        | 28,954     | 26,414 | 2,540 | 606                    | 29,560                |
| 2002     | 2,646,286      | 48,194,705     | 1,658        | 125,918                                 | 578,229        | 27,928     | 25,237 | 2,691 | 604                    | 28,532                |
| 2003     | 2,632,411      | 47,922,373     | 1,628        | 125,750                                 | 593,992        | 27,314     | 24,543 | 2,771 | 880                    | 28,194                |
| 2004     | 2,627,510      | 48,552,436     | 1,620        | 122,804                                 | 603,484        | 26,352     | 23,776 | 2,576 | 818                    | 27,170                |
| 2005     | 2,630,805      | 49,184,518     | 1,514        | 120,354                                 | 608,030        | 25,904     | 23,387 | 2,517 | 599                    | 26,503                |
| 2006     | 2,642,570      | 50,707,376     | 1,472        | 121,378                                 | 606,645        | 25,188     | 22,787 | 2,401 | 551                    | 25,739                |
| 2007     | 2,642,607      | 51,313,223     | 1,357        | 121,356                                 | 607,348        | 25,236     | 22,811 | 2,425 | 635                    | 25,871                |
| 2008     | 2,632,696      | 52,418,376     | 1,268        | 119,291                                 | 604,139        | 24,702     | 22,404 | 2,298 | 782                    | 25,484                |
| 2009     | 2,621,343      | 52,788,681     | 1,075        | 105,718                                 | 534,623        | 24,127     | 21,813 | 2,314 | 578                    | 24,705                |
| 2010     | 2,622,356      | 52,487,983     | 1,195        | 107,759                                 | 574,958        | 22,663     | 20,487 | 2,176 | 651                    | 23,314                |
| 2011     | 2,627,669      | 52,741,870     | 1,024        | 111,349                                 | 614,914        | 22,075     | 19,967 | 2,108 | 547                    | 22,622                |
| 2012     | 2,645,473      | 53,236,873     | 1,093        | 119,576                                 | 606,886        | 22,408     | 20,377 | 2,031 | 547                    | 22,955                |
| 2013     | 2,676,910      | 54,294,921     | 1,030        | 118,157                                 | 602,927        | 22,326     | 20,265 | 2,061 | 429                    | 22,755                |
| 2014     | 2,707,702      | 55,408,173     | 1,057        | 119,535                                 | 619,599        | 22,381     | 20,381 | 2,000 | 471                    | 22,852                |
| 2015     |                |                | 972          | 116,311                                 |                |            |        |       |                        |                       |

注) 「死亡災害発生状況」及び「死傷災害発生状況」は暦年。それ以外は年度で、業務災害及び通勤災害を含む。

「死傷災害発生状況」は、1973年以降は休業4日以上、1972年以前は休業8日以上のものである。

「死傷災害発生状況」は、2011年以前は労災保険給付データ及び労働者死傷病報告(労災非適)、2012年以降は労働者死傷病報告による。

1995年の「死亡災害発生状況」には、阪神・淡路大震災を直接の原因とする64人、地下鉄サリン事件による2人、を含んでいない。

2011年の「死亡災害発生状況」「死傷災害発生状況」には、東日本大震災による1,314人、2,827人を含んでいない。

| 年度<br>/年 | 葬祭料・<br>葬祭給付<br>受給者数 | 遺族(補償)給付   |       |       | 新規年金<br>受給者数<br>合計 | 合計      | 各年度末年金受給者数 |          |       |       |              |              |  |
|----------|----------------------|------------|-------|-------|--------------------|---------|------------|----------|-------|-------|--------------|--------------|--|
|          |                      | 新規受給<br>者数 | 一時金   | 年金    |                    |         | 計          | 傷病(補償)年金 |       |       | 障害(補<br>償)年金 | 遺族(補<br>償)年金 |  |
|          |                      |            |       |       |                    |         |            | じん肺      | せき損   | その他   |              |              |  |
| 1947     | 1,248                | 1,245      | 1,245 |       |                    |         |            |          |       |       |              |              |  |
| 1950     | 4,412                | 4,585      | 4,585 |       |                    |         |            |          |       |       |              |              |  |
| 1955     | 5,010                | 5,107      | 5,107 |       |                    |         |            |          |       |       |              |              |  |
| 1960     | 6,039                | 6,161      | 6,161 |       | 1,000              | 3,496   | 3,379      | 2,372    | 965   | 42    | 117          |              |  |
| 1965     | 5,880                | 6,548      | 6,548 |       | 1,323              | 8,185   | 6,970      | 4,469    | 2,128 | 373   | 1,215        |              |  |
| 1970     | 5,898                | 7,854      | 1,507 | 6,347 | 12,315             | 54,865  | 9,331      | 5,275    | 3,064 | 992   | 20,390       | 25,144       |  |
| 1975     | 4,563                | 6,362      | 1,310 | 5,052 | 10,747             | 102,451 | 12,383     | 6,786    | 3,533 | 2,064 | 41,150       | 48,918       |  |
| 1979     | 4,371                | 5,254      | 820   | 4,434 | 11,157             | 139,248 | 20,558     | 11,413   | 4,641 | 4,504 | 54,328       | 64,362       |  |
| 1980     | 4,238                | 5,150      | 753   | 4,397 | 10,901             | 146,754 | 21,607     | 12,487   | 4,696 | 4,424 | 57,276       | 67,871       |  |
| 1981     | 4,124                | 5,060      | 691   | 4,369 | 10,739             | 154,142 | 22,307     | 13,383   | 4,651 | 4,273 | 60,383       | 71,452       |  |
| 1982     | 4,146                | 4,984      | 746   | 4,238 | 10,735             | 160,910 | 22,990     | 14,317   | 4,594 | 4,079 | 63,380       | 74,540       |  |
| 1983     | 3,893                | 4,680      | 638   | 4,042 | 10,269             | 167,009 | 23,589     | 15,147   | 4,510 | 3,932 | 66,134       | 77,286       |  |
| 1984     | 3,839                | 4,808      | 698   | 4,110 | 10,236             | 172,986 | 23,909     | 15,782   | 4,436 | 3,691 | 68,981       | 80,096       |  |
| 1985     | 3,903                | 4,540      | 735   | 3,805 | 9,241              | 177,933 | 23,927     | 16,006   | 4,380 | 3,541 | 71,609       | 82,397       |  |
| 1986     | 3,609                | 4,475      | 699   | 3,776 | 8,964              | 182,545 | 23,494     | 15,927   | 4,255 | 3,312 | 74,344       | 84,707       |  |
| 1987     | 3,570                | 4,369      | 704   | 3,665 | 8,605              | 186,558 | 22,910     | 15,734   | 4,110 | 3,066 | 76,785       | 86,863       |  |
| 1988     | 3,789                | 4,410      | 773   | 3,637 | 8,557              | 190,528 | 22,343     | 15,499   | 3,988 | 2,856 | 79,284       | 88,901       |  |
| 1989     | 3,894                | 4,502      | 768   | 3,734 | 8,131              | 193,726 | 21,496     | 14,967   | 3,854 | 2,675 | 81,390       | 90,840       |  |
| 1990     | 3,846                | 4,675      | 819   | 3,856 | 7,997              | 196,763 | 20,653     | 14,355   | 3,743 | 2,555 | 83,310       | 92,800       |  |
| 1991     | 4,015                | 4,687      | 894   | 3,793 | 7,710              | 199,504 | 19,854     | 13,769   | 3,643 | 2,442 | 84,978       | 94,672       |  |
| 1992     | 3,753                | 4,657      | 866   | 3,791 | 7,589              | 202,133 | 19,021     | 13,194   | 3,486 | 2,341 | 86,513       | 96,599       |  |
| 1993     | 3,767                | 4,541      | 867   | 3,674 | 7,460              | 204,699 | 18,174     | 12,591   | 3,325 | 2,258 | 88,075       | 98,450       |  |
| 1994     | 3,775                | 4,507      | 838   | 3,669 | 7,439              | 207,211 | 17,373     | 12,030   | 3,179 | 2,164 | 89,588       | 100,250      |  |
| 1995     | 4,022                | 5,128      | 1,046 | 4,082 | 8,007              | 209,778 | 16,533     | 11,390   | 3,070 | 2,073 | 90,918       | 102,327      |  |
| 1996     | 3,803                | 4,933      | 815   | 4,118 | 8,035              | 212,465 | 15,915     | 10,932   | 2,978 | 2,005 | 92,069       | 104,481      |  |
| 1997     | 3,666                | 4,563      | 899   | 3,664 | 7,366              | 214,489 | 15,350     | 10,494   | 2,893 | 1,963 | 93,067       | 106,072      |  |
| 1998     | 3,330                | 3,812      | 833   | 2,979 | 6,709              | 216,007 | 14,646     | 9,940    | 2,825 | 1,881 | 94,096       | 107,265      |  |
| 1999     | 3,349                | 4,165      | 761   | 3,404 | 7,021              | 217,386 | 14,029     | 9,439    | 2,741 | 1,849 | 94,891       | 108,466      |  |
| 2000     | 3,231                | 4,096      | 807   | 3,289 | 6,665              | 218,386 | 13,392     | 8,926    | 2,653 | 1,813 | 95,489       | 109,505      |  |
| 2001     | 3,244                | 4,015      | 817   | 3,198 | 6,344              | 218,957 | 12,790     | 8,415    | 2,603 | 1,772 | 95,785       | 110,382      |  |
| 2002     | 3,239                | 3,894      | 790   | 3,104 | 6,399              | 219,720 | 12,202     | 7,924    | 2,532 | 1,746 | 96,310       | 111,208      |  |
| 2003     | 3,399                | 4,169      | 757   | 3,412 | 7,063              | 220,953 | 11,900     | 7,711    | 2,458 | 1,731 | 96,862       | 112,191      |  |
| 2004     | 3,322                | 3,984      | 770   | 3,214 | 6,608              | 221,574 | 11,617     | 7,490    | 2,405 | 1,722 | 96,979       | 112,978      |  |
| 2005     | 3,444                | 4,138      | 759   | 3,379 | 6,495              | 221,684 | 11,099     | 7,038    | 2,356 | 1,705 | 96,846       | 113,739      |  |
| 2006     | 4,017                | 5,973      | 1,091 | 4,882 | 7,834              | 223,240 | 10,581     | 6,564    | 2,301 | 1,716 | 96,733       | 115,926      |  |
| 2007     | 3,865                | 4,837      | 940   | 3,897 | 6,957              | 223,735 | 10,103     | 6,140    | 2,263 | 1,700 | 96,512       | 117,120      |  |
| 2008     | 3,703                | 4,222      | 926   | 3,556 | 6,376              | 223,592 | 9,785      | 5,890    | 2,199 | 1,696 | 95,989       | 117,818      |  |
| 2009     | 3,591                | 4,124      | 941   | 3,444 | 6,075              | 223,139 | 9,316      | 5,415    | 2,173 | 1,728 | 95,610       | 118,213      |  |
| 2010     | 3,621                | 4,262      | 895   | 3,367 | 6,194              | 222,280 | 8,929      | 5,097    | 2,119 | 1,713 | 94,914       | 118,437      |  |
| 2011     | 5,509                | 6,057      | 1,348 | 4,709 | 7,364              | 222,192 | 8,412      | 4,688    | 2,050 | 1,674 | 94,094       | 119,686      |  |
| 2012     | 3,552                | 4,519      | 980   | 3,539 | 6,117              | 220,592 | 7,897      | 4,261    | 1,994 | 1,642 | 93,072       | 119,623      |  |
| 2013     | 3,317                | 4,020      | 923   | 3,097 | 5,587              | 218,434 | 7,399      | 3,879    | 1,943 | 1,577 | 92,003       | 119,032      |  |
| 2014     | 3,462                | 3,965      | 960   | 3,005 | 5,476              | 216,226 | 6,942      | 3,473    | 1,883 | 1,586 | 90,926       | 118,358      |  |
| 2015     |                      |            |       |       |                    |         |            |          |       |       |              |              |  |

注) 遺族(補償)年金新規受給者数は、1982年度以降は年金と前払一時金、1968年度以降は年金と附則第42条の新規受給者数の合計  
 障害(補償)年金は、1965年度以前は1～3級、1966年度以降は1～7級になっている。  
 傷病(補償)年金は、1976年度以前は長期傷病補償給付の件数である。1959年度の数字は、1960年度当初、長期傷病者補償へ移行した者の件数である。  
 厚生労働省資料により全国労働安全衛生センター連絡会議が作成。

# 労働安全衛生をめぐる状況

表2-1 業務上疾病の発生状況

| 号    | 一             |         |        | 二  |        |        | 三                                      |        |         | 四   |       |       | 五                      |        |        |
|------|---------------|---------|--------|--|--------|--------|--|--------|---------|---|-------|-------|------------------------|--------|--------|
|      | 業務上の負傷に起因する疾病 |         |        | 物理的因子による疾病(がんを除く)―有害光線、電離放射線、異常気圧、異常温度、騒音、超音波等 |        |        | 身体に過度の負担のかかる作業態様に起因する疾病―腰痛、振動障害、頰肩腕障害等 |        |         | 化学物質等による疾病(がんを除く)―労働大臣が指定する化学物質等による疾病を含む。 |       |       | 粉じんの吸入による疾病―じん肺及びその合併症 |        |        |
| 年/年度 | 公表            | 補償      | 格差     | 公表   | 補償     | 格差     | 公表                                     | 補償     | 格差      | 公表  | 補償    | 格差    | 公表                     | 補償     | 格差     |
| 1979 | 13,807        | 11,415  | 2,392  | 1,711  | 1,344  | 367    | 1,665                                  | 2,782  | -1,117  | 713                                       | 398   | 315   | 2,491                  | 2,150  | 341    |
| 1980 | 13,630        | 11,985  | 1,645  | 1,128  | 1,212  | -84    | 789                                    | 2,674  | -1,885  | 621                                       | 400   | 221   | 2,365                  | 2,108  | 257    |
| 1981 | 13,269        | 11,792  | 1,477  | 1,646  | 1,197  | 449    | 711                                    | 2,451  | -1,740  | 475                                       | 458   | 17    | 2,249                  | 2,034  | 215    |
| 1982 | 12,235        | 11,131  | 1,104  | 1,128  | 1,011  | 117    | 447                                    | 2,187  | -1,740  | 505                                       | 335   | 170   | 2,282                  | 2,114  | 168    |
| 1983 | 11,651        | 9,731   | 1,920  | 821  | 888    | -67    | 363                                    | 1,683  | -1,320  | 426                                       | 413   | 13    | 2,163                  | 1,899  | 264    |
| 1984 | 11,242        | 9,395   | 1,847  | 1,293  | 846    | 447    | 372                                    | 1,687  | -1,315  | 608                                       | 348   | 260   | 1,561                  | 1,339  | 222    |
| 1985 | 11,022        | 8,834   | 2,188  | 1,237  | 846    | 391    | 413                                    | 1,617  | -1,204  | 456                                       | 309   | 147   | 1,387                  | 1,353  | 34     |
| 1986 | 10,763        | 8,296   | 2,467  | 1,292  | 1,238  | 54     | 532                                    | 1,652  | -1,120  | 368                                       | 298   | 70    | 1,472                  | 1,272  | 200    |
| 1987 | 9,170         | 8,035   | 1,135  | 730  | 1,627  | -897   | 733                                    | 1,382  | -649    | 399                                       | 303   | 96    | 1,401                  | 1,327  | 74     |
| 1988 | 9,598         | 7,831   | 1,767  | 566  | 1,217  | -651   | 612                                    | 1,375  | -763    | 364                                       | 279   | 85    | 1,308                  | 1,254  | 54     |
| 1989 | 9,485         | 8,046   | 1,439  | 728  | 690    | 38     | 680                                    | 1,221  | -541    | 316                                       | 277   | 39    | 1,201                  | 1,238  | -37    |
| 1990 | 8,759         | 7,791   | 968    | 501  | 592    | -91    | 543                                    | 1,012  | -469    | 331                                       | 216   | 115   | 1,185                  | 1,144  | 41     |
| 1991 | 9,146         | 7,016   | 2,130  | 860  | 523    | 337    | 370                                    | 1,000  | -630    | 370                                       | 260   | 110   | 1,103                  | 1,140  | -37    |
| 1992 | 8,323         | 6,683   | 1,640  | 729  | 489    | 240    | 240                                    | 1,131  | -891    | 343                                       | 196   | 147   | 1,140                  | 1,060  | 80     |
| 1993 | 7,306         | 5,823   | 1,483  | 524  | 411    | 113    | 290                                    | 1,035  | -745    | 400                                       | 225   | 175   | 1,025                  | 983    | 42     |
| 1994 | 7,183         | 5,406   | 1,777  | 733  | 579    | 154    | 235                                    | 953    | -718    | 407                                       | 239   | 168   | 1,259                  | 1,245  | 14     |
| 1995 | 6,451         | 5,000   | 1,451  | 726  | 646    | 80     | 290                                    | 1,097  | -807    | 334                                       | 248   | 86    | 1,326                  | 1,395  | -69    |
| 1996 | 6,521         | 4,806   | 1,715  | 513  | 602    | -89    | 293                                    | 1,163  | -870    | 344                                       | 195   | 149   | 1,477                  | 1,502  | -25    |
| 1997 | 6,034         | 4,743   | 1,291  | 321  | 656    | -335   | 287                                    | 1,330  | -1,043  | 411                                       | 258   | 153   | 1,415                  | 1,480  | -65    |
| 1998 | 6,002         | 4,693   | 1,309  | 567  | 612    | -45    | 320                                    | 1,522  | -1,202  | 330                                       | 202   | 128   | 1,201                  | 1,424  | -223   |
| 1999 | 5,388         | 4,658   | 730    | 395  | 684    | -289   | 357                                    | 1,727  | -1,370  | 238                                       | 200   | 38    | 1,276                  | 1,385  | -109   |
| 2000 | 5,405         | 4,344   | 1,061  | 461  | 718    | -257   | 438                                    | 1,595  | -1,157  | 323                                       | 227   | 96    | 1,180                  | 1,322  | -142   |
| 2001 | 5,652         | 4,600   | 1,052  | 517  | 824    | -307   | 381                                    | 1,514  | -1,133  | 269                                       | 153   | 116   | 982                    | 1,148  | -166   |
| 2002 | 5,277         | 4,650   | 627    | 443  | 754    | -311   | 346                                    | 1,448  | -1,102  | 297                                       | 203   | 94    | 956                    | 1,139  | -183   |
| 2003 | 5,861         | 4,647   | 1,214  | 447  | 730    | -283   | 393                                    | 1,281  | -888    | 316                                       | 196   | 120   | 856                    | 1,243  | -387   |
| 2004 | 5,370         | 4,530   | 840    | 513  | 766    | -253   | 368                                    | 1,283  | -915    | 295                                       | 218   | 77    | 814                    | 1,233  | -419   |
| 2005 | 5,829         | 4,660   | 1,169  | 459  | 649    | -190   | 425                                    | 1,223  | -798    | 315                                       | 209   | 106   | 767                    | 1,172  | -405   |
| 2006 | 5,962         | 5,051   | 911    | 487  | 619    | -132   | 432                                    | 1,449  | -1,017  | 332                                       | 298   | 34    | 765                    | 1,165  | -400   |
| 2007 | 6,252         | 5,094   | 1,158  | 552  | 747    | -195   | 518                                    | 1,494  | -976    | 270                                       | 204   | 66    | 640                    | 1,032  | -392   |
| 2008 | 6,625         | 5,075   | 1,550  | 502  | 609    | -107   | 490                                    | 1,465  | -975    | 231                                       | 215   | 16    | 587                    | 850    | -263   |
| 2009 | 5,721         | 4,457   | 1,264  | 328  | 479    | -151   | 388                                    | 1,223  | -835    | 200                                       | 195   | 5     | 531                    | 812    | -281   |
| 2010 | 5,819         | 4,620   | 1,199  | 865  | 932    | -67    | 394                                    | 1,233  | -839    | 232                                       | 219   | 13    | 516                    | 800    | -284   |
| 2011 | 5,654         | 4,516   | 1,138  | 651  | 774    | -123   | 381                                    | 1,149  | -768    | 267                                       | 244   | 23    | 439                    | 712    | -273   |
| 2012 | 5,688         | 4,412   | 1,276  | 684  | 797    | -113   | 372                                    | 1,193  | -821    | 216                                       | 237   | -21   | 361                    | 581    | -220   |
| 2013 | 5,253         | 4,261   | 992    | 785  | 879    | -94    | 346                                    | 1,221  | -875    | 221                                       | 218   | 3     | 334                    | 448    | -114   |
| 2014 | 5,445         | 4,511   | 934    | 665  | 708    | -43    | 420                                    | 1,406  | -986    | 205                                       | 228   | -23   | 263                    | 438    | -175   |
| 合計   | 282,798       | 232,538 | 50,260 | 26,508   | 28,895 | -2,387 | 16,634                                 | 52,858 | -36,224 | 12,748                                    | 9,321 | 3,427 | 42,278                 | 44,941 | -2,663 |

注) 各号の左欄の数字は、厚生労働省「業務上疾病発生状況」から、疾病分類を労働基準法施行規則別表第1の2に各号別に組み替えたもの。休業4日以上のもの、当該年(暦年)中に発生した疾病で翌年3月末日までに把握したもの、と説明されている。中欄の数字は、「年度別業務上疾病の労災保険新規支給決定件数」(被災労働者等から労災保険の給付請求がなされ、その年度(暦年ではない)中に支給決定がなされたもの。厚生労働省労働

| 号    | 六                     |       |        | 七   |        |         | 八・九・十・十一                 |        |         | 二～十一                               |         |         | 一～十一    |         |         |
|------|-----------------------|-------|--------|---|--------|---------|--------------------------|--------|---------|------------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
|      | 細菌、ウイルス等の<br>病原体による疾病 |       |        | がん原性物質若しくは<br>がん原性因子又はがん<br>原性工程における業務<br>による疾病 |        |         | その他業務に起因する<br>ことの明らかな疾病等 |        |         | 狭義の職業性<br>疾病<br>(二号から十一号<br>までの小計) |         |         | 計       |         |         |
| 年/年度 | 公表                    | 補償    | 格差     | 公表  | 補償     | 格差      | 公表                       | 補償     | 格差      | 公表                                 | 補償      | 格差      | 公表      | 補償      | 格差      |
| 1979 | 101                   | 85    | 16     | 6   | 47     | -41     | 50                       | 226    | -176    | 6,737                              | 7,032   | -295    | 20,544  | 18,447  | 2,097   |
| 1980 | 48                    | 123   | -75    | 3   | 41     | -38     | 60                       | 470    | -410    | 5,014                              | 7,028   | -2,014  | 18,644  | 19,013  | -369    |
| 1981 | 48                    | 164   | -116   | 6   | 49     | -43     | 45                       | 622    | -577    | 5,180                              | 6,975   | -1,795  | 18,449  | 18,767  | -318    |
| 1982 | 51                    | 206   | -155   | 5   | 60     | -55     | 52                       | 634    | -582    | 4,470                              | 6,547   | -2,077  | 16,705  | 17,678  | -973    |
| 1983 | 41                    | 166   | -125   | 6   | 68     | -62     | 9                        | 541    | -532    | 3,829                              | 5,658   | -1,829  | 15,480  | 15,389  | 91      |
| 1984 | 56                    | 162   | -106   | 4   | 49     | -45     | 11                       | 440    | -429    | 3,905                              | 4,871   | -966    | 15,147  | 14,266  | 881     |
| 1985 | 60                    | 138   | -78    | 0   | 67     | -67     | 13                       | 256    | -243    | 3,566                              | 4,586   | -1,020  | 14,588  | 13,420  | 1,168   |
| 1986 | 108                   | 113   | -5     | 6   | 64     | -58     | 6                        | 211    | -205    | 3,784                              | 4,848   | -1,064  | 14,547  | 13,144  | 1,403   |
| 1987 | 69                    | 140   | -71    | 4   | 61     | -57     | 4                        | 106    | -102    | 3,340                              | 4,946   | -1,606  | 12,510  | 12,981  | -471    |
| 1988 | 55                    | 141   | -86    | 4   | 53     | -49     | 16                       | 187    | -171    | 2,925                              | 4,506   | -1,581  | 12,523  | 12,337  | 186     |
| 1989 | 40                    | 128   | -88    | 2   | 67     | -65     | 13                       | 133    | -120    | 2,980                              | 3,754   | -774    | 12,465  | 11,800  | 665     |
| 1990 | 87                    | 120   | -33    | 1   | 51     | -50     | 8                        | 120    | -112    | 2,656                              | 3,255   | -599    | 11,415  | 11,046  | 369     |
| 1991 | 92                    | 173   | -81    | 5   | 80     | -75     | 5                        | 174    | -169    | 2,805                              | 3,350   | -545    | 11,951  | 10,366  | 1,585   |
| 1992 | 64                    | 424   | -360   | 2   | 54     | -52     | 1                        | 125    | -124    | 2,519                              | 3,479   | -960    | 10,842  | 10,162  | 680     |
| 1993 | 75                    | 156   | -81    | 6   | 73     | -67     | 4                        | 108    | -104    | 2,324                              | 2,991   | -667    | 9,630   | 8,814   | 816     |
| 1994 | 74                    | 161   | -87    | 9   | 79     | -70     | 15                       | 121    | -106    | 2,732                              | 3,377   | -645    | 9,915   | 8,783   | 1,132   |
| 1995 | 92                    | 118   | -26    | 3   | 69     | -66     | 8                        | 140    | -132    | 2,779                              | 3,713   | -934    | 9,230   | 8,713   | 517     |
| 1996 | 94                    | 143   | -49    | 0   | 68     | -68     | 8                        | 145    | -137    | 2,729                              | 3,818   | -1,089  | 9,250   | 8,624   | 626     |
| 1997 | 74                    | 179   | -105   | 0   | 38     | -38     | 15                       | 110    | -95     | 2,523                              | 4,051   | -1,528  | 8,557   | 8,794   | -237    |
| 1998 | 142                   | 183   | -41    | 0   | 57     | -57     | 12                       | 118    | -106    | 2,572                              | 4,118   | -1,546  | 8,574   | 8,811   | -237    |
| 1999 | 111                   | 132   | -21    | 1   | 61     | -60     | 51                       | 122    | -71     | 2,429                              | 4,311   | -1,882  | 7,817   | 8,969   | -1,152  |
| 2000 | 215                   | 159   | 56     | 0   | 72     | -72     | 61                       | 146    | -85     | 2,678                              | 4,239   | -1,561  | 8,083   | 8,583   | -500    |
| 2001 | 105                   | 157   | -52    | 1   | 86     | -85     | 77                       | 259    | -182    | 2,332                              | 4,141   | -1,809  | 7,984   | 8,741   | -757    |
| 2002 | 120                   | 224   | -104   | 3   | 95     | -92     | 60                       | 533    | -473    | 2,225                              | 4,396   | -2,171  | 7,502   | 9,046   | -1,544  |
| 2003 | 132                   | 136   | -4     | 2   | 143    | -141    | 48                       | 434    | -386    | 2,194                              | 4,163   | -1,969  | 8,055   | 8,810   | -755    |
| 2004 | 165                   | 190   | -25    | 1   | 209    | -208    | 83                       | 429    | -346    | 2,239                              | 4,328   | -2,089  | 7,609   | 8,858   | -1,249  |
| 2005 | 248                   | 158   | 90     | 5   | 732    | -727    | 178                      | 461    | -283    | 2,397                              | 4,604   | -2,207  | 8,226   | 9,264   | -1,038  |
| 2006 | 241                   | 214   | 27     | 1   | 1,810  | -1,809  | 149                      | 565    | -416    | 2,407                              | 6,120   | -3,713  | 8,369   | 11,171  | -2,802  |
| 2007 | 257                   | 200   | 57     | 9   | 1,021  | -1,012  | 186                      | 664    | -478    | 2,432                              | 5,362   | -2,930  | 8,684   | 10,456  | -1,772  |
| 2008 | 207                   | 205   | 2      | 10  | 1,080  | -1,070  | 222                      | 649    | -427    | 2,249                              | 5,073   | -2,824  | 8,874   | 10,148  | -1,274  |
| 2009 | 137                   | 133   | 4      | 10  | 1,033  | -1,023  | 176                      | 530    | -354    | 1,770                              | 4,405   | -2,635  | 7,491   | 8,862   | -1,371  |
| 2010 | 126                   | 110   | 16     | 6   | 949    | -943    | 153                      | 594    | -441    | 2,292                              | 4,837   | -2,545  | 8,111   | 9,457   | -1,346  |
| 2011 | 160                   | 189   | -29    | 5   | 957    | -952    | 222                      | 635    | -413    | 2,125                              | 4,660   | -2,535  | 7,779   | 9,176   | -1,397  |
| 2012 | 186                   | 155   | 31     | 4   | 954    | -950    | 232                      | 814    | -582    | 2,055                              | 4,731   | -2,676  | 7,743   | 9,143   | -1,400  |
| 2013 | 182                   | 160   | 22     | 6   | 939    | -933    | 183                      | 746    | -563    | 2,057                              | 4,611   | -2,554  | 7,310   | 8,872   | -1,562  |
| 2014 | 202                   | 142   | 60     | 6   | 933    | -927    | 209                      | 775    | -566    | 1,970                              | 4,630   | -2,660  | 7,415   | 9,141   | -1,726  |
| 合計   | 4,265                 | 5,887 | -1,622 | 142   | 12,269 | -12,127 | 2,645                    | 13,343 | -10,698 | 105,220                            | 167,514 | -62,294 | 388,018 | 400,052 | -12,034 |

基準局「業務上疾病の労災補償状況調査結果」等。右欄の数字は、左欄の数字から中欄の数字を差し引いたもの。  
厚生労働省資料により全国労働安全衛生センター連絡会議が作成。

## 労働安全衛生をめぐる状況

表2-2 「身体に過度の負担のかかる作業態様に起因する疾病」の発生状況

| 分類                                   | 三 身体に過度の負担のかかる作業態様に起因する疾病  |       |        |   |       |       |  |        |         |   |        |         |       |     |     |
|--------------------------------------|--|-------|--------|---|-------|-------|--|--------|---------|---|--------|---------|-------|-----|-----|
|                                      | 三-1  |       |        | 三-2   |       |       | 三-3  |        |         | 三-4   |        |         | 三-5   |     |     |
|                                      | 公表   | 補償    | 格差     | 公表  | 補償    | 格差    | 公表   | 補償     | 格差      | 公表  | 補償     | 格差      | 公表    | 補償  | 格差  |
| 重激な業務による筋肉、<br>腱、骨若しくは関節の<br>疾患又は内臓脱 | 重量物を取り扱う業務、<br>腰部に過度の負担を与<br>える不自然な作業姿勢に<br>より行う業務その他腰部<br>に過度の負担のかかる<br>業務による腰痛<br>(非災害性腰痛) |       |        | さく岩機、チェーンソー等<br>の機械器具の使用により<br>身体に振動を与える業務<br>による手指、前腕等の末<br>梢循環障害、末梢神経<br>障害又は運動機能障害<br>(振動障害) |       |       | 電話交換の業務その他<br>上肢に過度の負担のか<br>かる業務による手指の極<br>端な、手指、前腕等の腱、<br>腱鞘若しくは腱周囲の<br>炎症又は頸肩腕症候群<br>(頸肩腕症候群等) |        |         | 1から4までに掲げるもの<br>のほか、これらの疾病に付<br>随する疾病その他身体に<br>過度の負担のかかる作業<br>態様の業務に起因する<br>ことの明らかな疾病 |        |         |       |     |     |
| 年/年度                                 | 公表   | 補償    | 格差     | 公表  | 補償    | 格差    | 公表   | 補償     | 格差      | 公表  | 補償     | 格差      | 公表    | 補償  | 格差  |
| 1986                                 | 61   | 303   | -242   | 247   | 56    | 191   | 54   | 941    | -887    | 155   | 332    | -177    | 15    | 20  | -5  |
| 1987                                 | 124  | 324   | -200   | 380   | 49    | 331   | 59   | 731    | -672    | 127   | 264    | -137    | 43    | 14  | 29  |
| 1988                                 | 117  | 351   | -234   | 267   | 47    | 220   | 50   | 656    | -606    | 154   | 304    | -150    | 24    | 17  | 7   |
| 1989                                 | 144  | 347   | -203   | 353   | 32    | 321   | 39   | 505    | -466    | 111   | 313    | -202    | 33    | 24  | 9   |
| 1990                                 | 73   | 324   | -251   | 297   | 33    | 264   | 23   | 361    | -338    | 131   | 268    | -137    | 19    | 26  | -7  |
| 1991                                 | 70   | 344   | -274   | 186   | 41    | 145   | 23   | 377    | -354    | 73  | 213    | -140    | 18    | 25  | -7  |
| 1992                                 | 38   | 458   | -420   | 64  | 52    | 12    | 21   | 405    | -384    | 97  | 195    | -98     | 20    | 21  | -1  |
| 1993                                 | 77   | 296   | -219   | 96  | 30    | 66    | 24   | 496    | -472    | 63  | 182    | -119    | 30    | 31  | -1  |
| 1994                                 | 80   | 262   | -182   | 62  | 41    | 21    | 17   | 475    | -458    | 57  | 156    | -99     | 19    | 19  | 0   |
| 1995                                 | 75   | 309   | -234   | 127   | 37    | 90    | 18   | 578    | -560    | 56  | 149    | -93     | 14    | 24  | -10 |
| 1996                                 | 76   | 310   | -234   | 112   | 35    | 77    | 16   | 556    | -540    | 77  | 234    | -157    | 12    | 28  | -16 |
| 1997                                 | 95   | 283   | -188   | 79  | 44    | 35    | 7  | 612    | -605    | 94  | 368    | -274    | 12    | 23  | -11 |
| 1998                                 | 106  | 257   | -151   | 109   | 45    | 64    | 10   | 773    | -763    | 80  | 442    | -362    | 15    | 5   | 10  |
| 1999                                 | 146  | 286   | -140   | 73  | 27    | 46    | 6  | 912    | -906    | 92  | 496    | -404    | 40    | 6   | 34  |
| 2000                                 | 158  | 241   | -83    | 72  | 48    | 24    | 12   | 784    | -772    | 134   | 507    | -373    | 62    | 15  | 47  |
| 2001                                 | 104  | 179   | -75    | 77  | 44    | 33    | 16   | 717    | -701    | 144   | 558    | -414    | 40    | 16  | 24  |
| 2002                                 | 75   | 147   | -72    | 70  | 65    | 5     | 7  | 632    | -625    | 150   | 590    | -440    | 44    | 14  | 30  |
| 2003                                 | 115  | 149   | -34    | 61  | 56    | 5     | 7  | 481    | -474    | 149   | 581    | -432    | 61    | 14  | 47  |
| 2004                                 | 89   | 138   | -49    | 54  | 52    | 2     | 9  | 412    | -403    | 154   | 671    | -517    | 62    | 10  | 52  |
| 2005                                 | 105  | 133   | -28    | 55  | 45    | 10    | 4  | 317    | -313    | 180   | 711    | -531    | 81    | 17  | 64  |
| 2006                                 | 92   | 126   | -34    | 31  | 71    | -40   | 6  | 308    | -302    | 233   | 924    | -691    | 70    | 20  | 50  |
| 2007                                 | 119  | 160   | -41    | 57  | 63    | -6    | 5  | 315    | -310    | 245   | 940    | -695    | 92    | 16  | 76  |
| 2008                                 | 89   | 137   | -48    | 47  | 72    | -25   | 3  | 251    | -248    | 246   | 986    | -740    | 105   | 19  | 86  |
| 2009                                 | 109  | 136   | -27    | 54  | 81    | -27   | 3  | 267    | -264    | 163   | 726    | -563    | 59    | 13  | 46  |
| 2010                                 | 117  | 174   | -57    | 58  | 79    | -21   | 5  | 263    | -258    | 141   | 707    | -566    | 73    | 10  | 63  |
| 2011                                 | 87   | 172   | -85    | 56  | 40    | 16    | 4  | 272    | -268    | 161   | 659    | -498    | 73    | 6   | 67  |
| 2012                                 | 90   | 196   | -106   | 43  | 53    | -10   | 9  | 296    | -287    | 139   | 641    | -502    | 91    | 7   | 84  |
| 2013                                 | 86   | 206   | -120   | 50  | 28    | 22    | 2  | 306    | -304    | 140   | 673    | -533    | 68    | 8   | 60  |
| 2014                                 | 124  | 244   | -120   | 41  | 52    | -11   | 3  | 281    | -278    | 168   | 823    | -655    | 84    | 6   | 78  |
| 合計                                   | 2,841  | 6,992 | -4,151 | 3,278   | 1,418 | 1,860 | 462  | 14,280 | -13,818 | 3,914   | 14,613 | -10,699 | 1,379 | 474 | 905 |

注) 表2-1の注に同じ。

表2-3 「業務上の負傷に起因する疾病」等の発生状況

| 分類   | 一 業務上の負傷に起因する疾病 |       |       |                       |       |      | 二 物理的因子による疾病(がんを除く) |    |     |            |    |    |             |    |     |
|------|-----------------|-------|-------|-----------------------|-------|------|---------------------|----|-----|------------|----|----|-------------|----|-----|
|      | 一-1             |       |       | 一-2                   |       |      | 二-1                 |    |     | 二-2        |    |    | 二-3         |    |     |
|      | 負傷による腰痛         |       |       | 一-1以外の「業務上の負傷に起因する疾病」 |       |      | 有害光線による疾病           |    |     | 電離放射線による疾病 |    |    | 異常気圧下における疾病 |    |     |
| 年/年度 | 公表              | 補償    | 格差    | 公表                    | 補償    | 格差   | 公表                  | 補償 | 格差  | 公表         | 補償 | 格差 | 公表          | 補償 | 格差  |
| 1999 | 4,559           | 3,061 | 1,498 | 829                   | 1,597 | -768 | 7                   | 5  | 2   | 3          | 3  | 0  | 10          | 18 | -8  |
| 2000 | 4,622           | 2,749 | 1,873 | 783                   | 1,595 | -812 | 5                   | 9  | -4  | 3          | 3  | 0  | 7           | 14 | -7  |
| 2001 | 4,793           | 3,106 | 1,687 | 859                   | 1,494 | -635 | 6                   | 7  | -1  | 1          | 0  | 1  | 5           | 11 | -6  |
| 2002 | 4,334           | 3,170 | 1,164 | 943                   | 1,480 | -537 | 5                   | 4  | 1   | 0          | 1  | -1 | 3           | 16 | -13 |
| 2003 | 4,765           | 3,280 | 1,485 | 1,096                 | 1,367 | -271 | 8                   | 9  | -1  | 0          | 3  | -3 | 8           | 15 | -7  |
| 2004 | 4,377           | 3,158 | 1,219 | 993                   | 1,372 | -379 | 7                   | 6  | 1   | 0          | 2  | -2 | 11          | 21 | -10 |
| 2005 | 4,840           | 3,271 | 1,569 | 989                   | 1,389 | -400 | 7                   | 10 | -3  | 0          | 0  | 0  | 16          | 24 | -8  |
| 2006 | 4,889           | 3,506 | 1,383 | 1,073                 | 1,545 | -472 | 6                   | 3  | 3   | 0          | 0  | 0  | 20          | 25 | -5  |
| 2007 | 5,230           | 3,727 | 1,503 | 1,022                 | 1,367 | -345 | 9                   | 5  | 4   | 0          | 0  | 0  | 18          | 25 | -7  |
| 2008 | 5,509           | 3,736 | 1,773 | 1,116                 | 1,339 | -223 | 7                   | 11 | -4  | 1          | 0  | 1  | 6           | 20 | -14 |
| 2009 | 4,816           | 3,280 | 1,536 | 905                   | 1,177 | -272 | 9                   | 11 | -2  | 1          | 1  | 0  | 3           | 19 | -16 |
| 2010 | 4,960           | 3,361 | 1,599 | 859                   | 1,259 | -400 | 8                   | 9  | -1  | 0          | 2  | -2 | 10          | 19 | -9  |
| 2011 | 4,766           | 3,190 | 1,576 | 888                   | 1,326 | -438 | 3                   | 11 | -8  | 0          | 2  | -2 | 12          | 22 | -10 |
| 2012 | 4,789           | 3,148 | 1,641 | 899                   | 1,264 | -365 | 6                   | 20 | -14 | 0          | 3  | -3 | 11          | 31 | -20 |
| 2013 | 4,388           | 3,008 | 1,380 | 865                   | 1,253 | -388 | 9                   | 11 | -2  | 0          | 0  | 0  | 21          | 16 | 5   |
| 2014 | 4,583           | 3,170 | 1,413 | 862                   | 1,341 | -479 | 3                   | 5  | -2  | 1          | 1  | 0  | 13          | 23 | -10 |

| 分類   | 二 物理的因子による疾病(がんを除く) |     |     |           |     |      |                        |    |    | 四 化学物質等による疾病(がんを除く) |    |     |                    |     |     |
|------|---------------------|-----|-----|-----------|-----|------|------------------------|----|----|---------------------|----|-----|--------------------|-----|-----|
|      | 二-4                 |     |     | 二-5       |     |      | 二-6                    |    |    | 四-1                 |    |     | 四-2                |     |     |
|      | 異常温度条件による疾病         |     |     | 騒音による耳の疾病 |     |      | 二-1～二-5以外の「物理的因子による疾病」 |    |    | 酸素欠乏症               |    |     | 四-1以外の「化学物質等による疾病」 |     |     |
| 年/年度 | 公表                  | 補償  | 格差  | 公表        | 補償  | 格差   | 公表                     | 補償 | 格差 | 公表                  | 補償 | 格差  | 公表                 | 補償  | 格差  |
| 1999 | 332                 | 157 | 175 | 8         | 499 | -491 | 35                     | 2  | 33 | 9                   | 18 | -9  | 229                | 182 | 47  |
| 2000 | 419                 | 176 | 243 | 13        | 515 | -502 | 14                     | 1  | 13 | 21                  | 25 | -4  | 302                | 202 | 100 |
| 2001 | 478                 | 272 | 206 | 9         | 532 | -523 | 18                     | 2  | 16 | 15                  | 13 | 2   | 254                | 141 | 113 |
| 2002 | 407                 | 235 | 172 | 9         | 498 | -489 | 19                     | 0  | 19 | 10                  | 17 | -7  | 287                | 186 | 101 |
| 2003 | 394                 | 218 | 176 | 8         | 481 | -473 | 29                     | 4  | 25 | 5                   | 8  | -3  | 311                | 188 | 123 |
| 2004 | 467                 | 277 | 190 | 9         | 453 | -444 | 19                     | 7  | 12 | 11                  | 19 | -8  | 284                | 199 | 85  |
| 2005 | 397                 | 236 | 161 | 10        | 377 | -367 | 29                     | 2  | 27 | 9                   | 27 | -18 | 306                | 181 | 125 |
| 2006 | 422                 | 273 | 149 | 12        | 314 | -302 | 27                     | 4  | 23 | 12                  | 38 | -26 | 320                | 260 | 60  |
| 2007 | 474                 | 337 | 137 | 9         | 374 | -365 | 42                     | 6  | 36 | 12                  | 13 | -1  | 258                | 191 | 67  |
| 2008 | 463                 | 278 | 185 | 9         | 295 | -286 | 16                     | 5  | 11 | 11                  | 11 | 0   | 220                | 194 | 26  |
| 2009 | 288                 | 169 | 119 | 10        | 276 | -266 | 17                     | 3  | 14 | 9                   | 10 | -1  | 191                | 185 | 6   |
| 2010 | 816                 | 584 | 232 | 9         | 315 | -306 | 22                     | 3  | 19 | 4                   | 10 | -6  | 228                | 209 | 19  |
| 2011 | 606                 | 441 | 165 | 8         | 297 | -289 | 22                     | 1  | 21 | 10                  | 6  | 4   | 257                | 238 | 19  |
| 2012 | 631                 | 412 | 219 | 10        | 328 | -318 | 26                     | 3  | 23 | 12                  | 11 | 1   | 204                | 226 | -22 |
| 2013 | 724                 | 485 | 239 | 4         | 365 | -361 | 27                     | 2  | 25 | 16                  | 4  | 12  | 206                | 214 | -8  |
| 2014 | 619                 | 392 | 227 | 6         | 287 | -281 | 23                     | 0  | 23 | 4                   | 12 | -8  | 201                | 216 | -15 |

注) 表2-1の注に同じ。

## 労働安全衛生をめぐる状況

表3-1 定期健康診断・特殊健康診断・じん肺健康診断の実施状況

| 年度   | 定期健康診断     |            |           |       | 対象業務数 | 特殊健康診断     |            |         |       |
|------|------------|------------|-----------|-------|-------|------------|------------|---------|-------|
|      | 実施<br>事業場数 | 受診<br>労働者数 | 有所見者数     | 有所見率  |       | 実施<br>事業場数 | 受診<br>労働者数 | 有所見者数   | 有所見率  |
| 1965 |            | 9,370,497  | 574,578   | 6.1%  | 24    | 8,927      | 226,979    | 24,048  | 10.6% |
| 1970 |            | 11,199,917 | 562,894   | 5.0%  | 30    | 14,865     | 304,793    | 30,735  | 10.1% |
| 1971 |            | 11,361,913 | 563,388   | 5.0%  | 49    | 16,786     | 346,830    | 31,769  | 9.2%  |
| 1972 |            | 10,692,430 | 547,896   | 5.1%  | 49    | 20,833     | 390,874    | 32,049  | 8.2%  |
| 1973 |            | 10,588,390 | 595,590   | 5.6%  | 51    | 22,998     | 422,076    | 25,123  | 6.0%  |
| 1974 |            | 10,847,458 | 668,509   | 6.2%  | 53    | 26,694     | 493,553    | 29,000  | 5.9%  |
| 1975 |            | 10,901,527 | 733,029   | 6.7%  | 67    | 30,446     | 557,224    | 29,962  | 5.4%  |
| 1976 |            | 11,081,169 | 850,818   | 7.7%  | 67    | 36,009     | 663,399    | 28,946  | 4.4%  |
| 1977 |            | 11,154,186 | 822,923   | 7.4%  | 67    | 40,028     | 715,842    | 30,241  | 4.2%  |
| 1978 |            | 11,132,487 | 895,605   | 8.0%  | 67    | 42,033     | 744,875    | 27,354  | 3.7%  |
| 1979 |            | 11,158,472 | 957,986   | 8.6%  | 67    | 66,285     | 1,146,421  | 30,930  | 2.7%  |
| 1980 |            | 11,306,990 | 990,149   | 8.8%  | 72    | 71,976     | 1,213,867  | 30,546  | 2.5%  |
| 1981 |            | 10,333,192 | 916,522   | 8.9%  | 72    | 74,710     | 1,256,283  | 31,710  | 2.5%  |
| 1982 |            | 10,408,511 | 953,393   | 9.2%  | 72    | 76,805     | 1,333,751  | 31,695  | 2.4%  |
| 1983 |            | 10,625,676 | 991,035   | 9.3%  | 72    | 78,031     | 1,342,082  | 27,498  | 2.0%  |
| 1984 |            | 10,618,339 | 970,752   | 9.1%  | 72    | 80,224     | 1,384,123  | 27,674  | 2.0%  |
| 1985 |            | 10,733,013 | 1,005,929 | 9.4%  | 72    | 81,689     | 1,436,463  | 24,429  | 1.7%  |
| 1986 |            | 10,900,258 | 1,065,354 | 9.8%  | 72    | 81,573     | 1,441,636  | 22,583  | 1.6%  |
| 1987 |            | 10,859,413 | 1,100,724 | 10.1% | 72    | 81,245     | 1,425,720  | 21,447  | 1.5%  |
| 1988 |            | 10,586,406 | 1,123,126 | 10.6% | 72    | 81,069     | 1,418,294  | 19,971  | 1.4%  |
| 1989 | 50,730     | 9,232,997  | 1,117,564 | 12.1% | 72    | 80,242     | 1,415,940  | 25,015  | 1.8%  |
| 1990 | 55,178     | 10,009,681 | 2,367,251 | 23.6% | 72    | 75,746     | 1,376,847  | 31,994  | 2.3%  |
| 1991 | 56,024     | 10,911,023 | 2,990,890 | 27.4% | 72    | 73,617     | 1,385,573  | 41,844  | 3.0%  |
| 1992 | 54,916     | 10,825,454 | 3,483,525 | 32.2% | 72    | 75,131     | 1,509,273  | 47,995  | 3.2%  |
| 1993 | 58,004     | 11,187,605 | 3,762,451 | 33.6% | 72    | 76,986     | 1,553,650  | 52,353  | 3.4%  |
| 1994 | 59,555     | 11,317,518 | 3,920,311 | 34.6% | 72    | 76,051     | 1,558,666  | 55,969  | 3.6%  |
| 1995 | 60,638     | 11,331,900 | 4,124,407 | 36.4% | 72    | 76,021     | 1,536,772  | 78,198  | 5.1%  |
| 1996 | 61,305     | 11,284,849 | 4,288,473 | 38.0% | 72    | 76,355     | 1,554,080  | 80,661  | 5.2%  |
| 1997 | 80,288     | 11,549,676 | 4,567,081 | 39.5% | 72    | 77,503     | 1,585,063  | 84,125  | 5.3%  |
| 1998 | 83,458     | 11,158,358 | 4,595,662 | 41.2% | 72    | 78,099     | 1,606,353  | 93,438  | 5.8%  |
| 1999 | 86,541     | 11,426,033 | 4,901,172 | 42.9% | 72    | 79,421     | 1,608,603  | 94,686  | 5.9%  |
| 2000 | 87,797     | 11,451,050 | 5,097,590 | 44.5% | 72    | 80,153     | 1,609,154  | 95,656  | 6.0%  |
| 2001 | 88,916     | 11,426,677 | 5,273,677 | 46.2% | 72    | 79,628     | 1,596,593  | 92,718  | 5.8%  |
| 2002 | 93,416     | 11,886,644 | 5,552,412 | 46.7% | 72    | 80,989     | 1,626,958  | 96,795  | 5.9%  |
| 2003 | 94,073     | 11,794,484 | 5,577,816 | 47.3% | 72    | 79,055     | 1,637,878  | 97,328  | 5.9%  |
| 2004 | 95,795     | 11,933,703 | 5,683,544 | 47.6% | 72    | 81,986     | 1,661,201  | 101,039 | 6.1%  |
| 2005 | 97,238     | 12,099,886 | 5,855,413 | 48.4% | 72    | 85,938     | 1,739,513  | 107,777 | 6.2%  |
| 2006 | 101,294    | 12,547,368 | 6,162,931 | 49.1% | 72    | 88,577     | 1,883,529  | 114,142 | 6.1%  |
| 2007 | 104,177    | 12,796,048 | 6,385,219 | 49.9% | 72    | 88,556     | 1,955,230  | 123,809 | 6.3%  |
| 2008 | 112,180    | 14,005,978 | 7,181,567 | 51.3% | 72    | 91,016     | 2,099,488  | 135,540 | 6.5%  |
| 2009 | 105,476    | 12,995,607 | 6,799,421 | 52.3% | 72    | 86,879     | 1,985,552  | 122,841 | 6.2%  |
| 2010 | 116,780    | 14,539,258 | 7,629,997 | 52.5% | 72    | 92,879     | 2,138,360  | 134,272 | 6.3%  |
| 2011 | 108,525    | 13,121,381 | 6,913,366 | 52.7% | 72    | 90,217     | 2,093,544  | 129,499 | 6.2%  |
| 2012 | 110,104    | 13,096,696 | 6,900,380 | 52.7% | 72    | 92,394     | 2,101,445  | 131,454 | 6.3%  |
| 2013 | 112,328    | 13,262,069 | 7,031,313 | 53.0% | 72    | 101,452    | 2,229,617  | 134,434 | 6.0%  |
| 2014 | 114,982    | 13,492,886 | 7,183,780 | 53.2% | 72    | 110,489    | 2,347,420  | 135,678 | 5.8%  |

注) 健康診断結果調、特殊健康診断結果調(じん肺健康診断を除く)、じん肺健康診断結果調による。  
1989年10月より、定期健康診断の項目等が改正。特殊健康診断では、1989年10月より、有機溶剤及び鉛健康診断の項目等が改正。  
厚生労働省資料により全国労働安全衛生センター連絡会議が作成。

| 年度   | じん肺健康診断    |             |        |       |     |        |             |       |
|------|------------|-------------|--------|-------|-----|--------|-------------|-------|
|      | 受診<br>労働者数 | 管理1<br>有所見者 | 管理2    | 管理3   | 管理4 | 有所見率   | 合併症<br>り患者数 | 有所見率  |
| 1965 | 162,467    | 8,996       | 3,973  | 850   | 415 | 14,234 |             | 8.8%  |
| 1970 | 173,331    | 10,010      | 3,639  | 736   | 257 | 14,642 |             | 8.4%  |
| 1971 | 185,441    | 14,133      | 4,400  | 864   | 364 | 19,761 |             | 10.7% |
| 1972 | 186,632    | 12,705      | 4,729  | 998   | 301 | 18,733 |             | 10.0% |
| 1973 | 210,758    | 11,304      | 4,779  | 1,092 | 274 | 17,449 |             | 8.3%  |
| 1974 | 204,496    | 13,901      | 5,373  | 1,112 | 309 | 20,695 |             | 10.1% |
| 1975 | 203,709    | 12,716      | 5,055  | 1,080 | 318 | 19,169 |             | 9.4%  |
| 1976 | 224,892    | 12,503      | 5,291  | 1,112 | 287 | 19,193 |             | 8.5%  |
| 1977 | 225,964    | 13,786      | 4,923  | 1,233 | 368 | 20,310 |             | 9.0%  |
| 1978 | 216,915    | 7,108       | 9,921  | 2,792 | 286 | 20,107 | 66          | 9.3%  |
| 1979 | 246,829    |             | 27,808 | 7,571 | 198 | 35,577 | 209         | 14.4% |
| 1980 | 259,899    |             | 34,133 | 8,132 | 122 | 42,387 | 172         | 16.3% |
| 1981 | 271,775    |             | 36,872 | 7,787 | 148 | 44,807 | 177         | 16.5% |
| 1982 | 265,720    |             | 38,099 | 8,010 | 126 | 46,235 | 147         | 17.4% |
| 1983 | 260,565    |             | 37,183 | 7,120 | 137 | 44,440 | 133         | 17.1% |
| 1984 | 262,024    |             | 34,958 | 6,231 | 81  | 41,270 | 102         | 15.8% |
| 1985 | 260,629    |             | 33,391 | 5,905 | 80  | 39,376 | 87          | 15.1% |
| 1986 | 251,822    |             | 34,232 | 5,614 | 75  | 39,921 | 140         | 15.9% |
| 1987 | 237,310    |             | 29,111 | 4,645 | 93  | 33,849 | 104         | 14.3% |
| 1988 | 228,425    |             | 27,164 | 4,209 | 64  | 31,437 | 60          | 13.8% |
| 1989 | 219,624    |             | 25,364 | 3,864 | 66  | 29,294 | 63          | 13.3% |
| 1990 | 216,420    |             | 22,184 | 3,557 | 74  | 25,815 | 93          | 11.9% |
| 1991 | 229,139    |             | 22,799 | 3,475 | 50  | 26,324 | 47          | 11.5% |
| 1992 | 220,988    |             | 18,782 | 3,249 | 52  | 22,083 | 63          | 10.0% |
| 1993 | 219,607    |             | 19,888 | 3,138 | 36  | 23,062 | 27          | 10.5% |
| 1994 | 215,174    |             | 19,107 | 2,969 | 43  | 22,119 | 54          | 10.3% |
| 1995 | 212,586    |             | 16,304 | 2,761 | 110 | 19,175 | 71          | 9.0%  |
| 1996 | 209,520    |             | 15,958 | 2,520 | 42  | 18,520 | 32          | 8.8%  |
| 1997 | 214,819    |             | 14,626 | 2,087 | 30  | 16,743 | 40          | 7.8%  |
| 1998 | 206,138    |             | 13,514 | 1,993 | 23  | 15,530 | 20          | 7.5%  |
| 1999 | 191,432    |             | 13,143 | 1,677 | 12  | 14,832 | 58          | 7.7%  |
| 2000 | 187,323    |             | 10,610 | 1,421 | 22  | 12,053 | 24          | 6.4%  |
| 2001 | 191,707    |             | 9,880  | 1,375 | 21  | 11,276 | 14          | 5.9%  |
| 2002 | 190,946    |             | 8,170  | 1,120 | 20  | 9,310  | 9           | 4.9%  |
| 2003 | 183,961    |             | 6,380  | 912   | 12  | 7,304  | 8           | 4.0%  |
| 2004 | 202,885    |             | 6,279  | 827   | 7   | 7,113  | 8           | 3.5%  |
| 2005 | 196,841    |             | 5,245  | 713   | 14  | 5,972  | 7           | 3.0%  |
| 2006 | 225,183    |             | 5,167  | 729   | 12  | 5,908  | 10          | 2.6%  |
| 2007 | 224,651    |             | 4,637  | 620   | 7   | 5,264  | 7           | 2.3%  |
| 2008 | 244,993    |             | 4,146  | 592   | 14  | 4,752  | 4           | 1.9%  |
| 2009 | 213,784    |             | 3,951  | 494   | 10  | 4,455  | 4           | 2.1%  |
| 2010 | 243,636    |             | 3,445  | 459   | 11  | 3,915  | 9           | 1.6%  |
| 2011 | 234,477    |             | 2,843  | 378   | 14  | 3,235  | 6           | 1.4%  |
| 2012 | 235,923    |             | 2,633  | 324   | 8   | 2,965  | 7           | 1.3%  |
| 2013 | 243,740    |             | 2,186  | 295   | 12  | 2,493  | 5           | 1.0%  |
| 2014 | 251,730    |             | 1,967  | 246   | 12  | 2,225  | 1           | 0.9%  |

注) 1978年にじん肺管理区分が改正されている。じん肺管理区分の決定状況には、随時申請によるものは含まれていない。  
厚生労働省資料により全国労働安全衛生センター連絡会議が作成。

## 労働安全衛生をめぐる状況

表3-2 定期健康診断実施結果(項目別の有所見率等)

(%)

| 年度   | 聴力<br>(1000Hz) | 聴力<br>(4000Hz) | 聴力<br>(その他) | 胸部X<br>線検査 | 喀痰<br>検査 | 血圧   | 貧血<br>検査 | 肝機能<br>検査 | 血中脂<br>質検査 | 血糖<br>検査 | 尿検査<br>(糖) | 尿検査<br>(蛋白) | 心電図<br>検査 | 有所見<br>者率 |
|------|----------------|----------------|-------------|------------|----------|------|----------|-----------|------------|----------|------------|-------------|-----------|-----------|
| 1990 | 5.1            | 8.2            | 0.9         | 1.6        | 1.0      | 7.1  | 4.2      | 8.7       | 11.1       |          | 2.7        | 1.8         | 6.2       | 23.6      |
| 1991 | 5.2            | 9.3            | 1.1         | 2.6        | 0.9      | 7.7  | 4.9      | 10.1      | 13.6       |          | 3.1        | 2.1         | 6.8       | 27.4      |
| 1992 | 5.2            | 9.9            | 0.9         | 2.1        | 0.9      | 8.1  | 5.0      | 11.3      | 15.8       |          | 3.1        | 2.3         | 7.6       | 32.2      |
| 1993 | 5.0            | 10.0           | 0.9         | 2.1        | 0.7      | 8.4  | 5.2      | 11.8      | 17.2       |          | 3.3        | 2.4         | 7.8       | 33.6      |
| 1994 | 4.9            | 9.9            | 0.9         | 2.3        | 0.8      | 8.5  | 5.8      | 11.8      | 18.3       |          | 3.2        | 2.7         | 8.0       | 34.6      |
| 1995 | 4.7            | 9.9            | 0.7         | 2.4        | 0.7      | 8.8  | 5.8      | 12.7      | 20.0       |          | 3.5        | 2.7         | 8.1       | 36.4      |
| 1996 | 4.5            | 9.8            | 0.8         | 2.6        | 0.9      | 9.2  | 5.8      | 12.6      | 20.9       |          | 3.4        | 2.8         | 8.3       | 38.0      |
| 1997 | 4.4            | 9.7            | 0.8         | 2.7        | 1.1      | 9.3  | 6.0      | 13.1      | 22.0       |          | 3.4        | 3.0         | 8.3       | 39.5      |
| 1998 | 4.4            | 9.4            | 0.8         | 2.9        | 1.9      | 9.7  | 6.2      | 13.7      | 23.0       |          | 3.5        | 3.3         | 8.5       | 41.2      |
| 1999 | 4.2            | 9.3            | 0.8         | 3.1        | 1.4      | 9.9  | 6.2      | 13.8      | 24.7       | 7.9      | 3.3        | 3.2         | 8.7       | 42.9      |
| 2000 | 4.1            | 9.1            | 0.8         | 3.2        | 1.5      | 10.4 | 6.3      | 14.4      | 26.5       | 8.1      | 3.3        | 3.4         | 8.8       | 44.5      |
| 2002 | 3.9            | 8.7            | 0.7         | 3.3        | 1.4      | 11.5 | 6.6      | 15.5      | 28.4       | 8.3      | 3.2        | 3.5         | 8.8       | 46.7      |
| 2003 | 3.8            | 8.5            | 0.7         | 3.4        | 1.6      | 11.9 | 6.5      | 15.4      | 29.1       | 8.3      | 5.1        | 3.2         | 8.9       | 47.3      |
| 2004 | 3.7            | 8.4            |             | 3.6        | 1.5      | 12.0 | 6.5      | 15.3      | 28.7       | 8.3      | 3.1        | 3.5         | 8.9       | 47.6      |
| 2005 | 3.7            | 8.2            |             | 3.7        | 1.5      | 12.3 | 6.7      | 15.6      | 29.4       | 8.3      | 3.1        | 3.5         | 9.1       | 48.4      |
| 2006 | 3.6            | 8.2            |             | 3.9        | 1.8      | 12.5 | 6.9      | 15.1      | 30.1       | 8.4      | 2.9        | 3.7         | 9.1       | 49.1      |
| 2007 | 3.6            | 8.1            |             | 4.0        | 2.0      | 12.7 | 7.0      | 15.1      | 30.8       | 8.4      | 2.8        | 4.0         | 9.2       | 49.9      |
| 2008 | 3.6            | 7.9            |             | 4.1        | 2.0      | 13.8 | 7.4      | 15.3      | 31.7       | 9.5      | 2.7        | 4.1         | 9.3       | 51.3      |
| 2009 | 3.6            | 7.9            |             | 4.2        | 1.8      | 14.2 | 7.6      | 15.5      | 32.6       | 10.0     | 2.7        | 4.2         | 9.7       | 52.3      |
| 2010 | 3.6            | 7.6            |             | 4.4        | 2.0      | 14.3 | 7.6      | 15.4      | 32.1       | 10.3     | 2.6        | 4.4         | 9.7       | 52.5      |
| 2011 | 3.6            | 7.7            |             | 4.3        | 1.7      | 14.5 | 7.6      | 15.6      | 32.2       | 10.4     | 2.7        | 4.2         | 9.7       | 52.7      |
| 2012 | 3.6            | 7.7            |             | 4.3        | 2.2      | 14.5 | 7.4      | 15.1      | 32.4       | 10.2     | 2.5        | 4.2         | 9.6       | 52.7      |
| 2013 | 3.6            | 7.6            |             | 4.2        | 1.9      | 14.7 | 7.5      | 14.8      | 32.6       | 10.2     | 2.5        | 4.2         | 9.7       | 53.0      |
| 2014 | 3.6            | 7.5            |             | 4.2        | 1.9      | 15.1 | 7.4      | 14.6      | 32.7       | 10.4     | 2.5        | 4.2         | 9.7       | 53.2      |

注) 「有所見者率」は労働安全衛生規則第44条及び第45条で規定する健康診断項目のいずれかが有所見であった者(他覚所見のみを除く)の人数を受診者数で割った値である。

### 全国安全センター情報公開推進局

<http://www.joshrc.org/~open/>

### いじめ・メンタルヘルス労働者支援センター(IMC)

<http://ijimental.web.fc2.com/>

<http://ijimemakenai.blog84.fc2.com/> <http://d.hatena.ne.jp/yokito5656/>

表4 業務上疾病の新規支給決定件数

| 分類 |       | 疾病分類項目   | 年度    |       |       |       |       |
|----|-------|--|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大  | 小     |  | CODE  | 2010  | 2011  | 2012  | 2013  |
| 一  |       | 業務上の負傷に起因する疾病  | 4,620 | 4,516 | 4,412 | 4,261 | 4,511 |
|    | 01    | 頭部又は顔面部の負傷による慢性硬膜下血腫、外傷性遅発性脳卒中、外傷性てんかん等の頭蓋内疾患  | 449   | 482   | 462   | 486   | 508   |
|    | 02    | 脳、脊髄及び末梢神経等神経系の負傷による皮膚、筋肉、骨及び胸腹部臓器の疾患  | 58    | 58    | 62    | 55    | 58    |
|    | 03    | 胸部又は腹部の負傷による胸膜炎、心膜炎、ヘルニア(横隔膜ヘルニア、腹膜癒痕ヘルニア等)等の胸腹部臓器の疾患  | 209   | 187   | 171   | 161   | 160   |
|    | 04    | 負傷(急激な力の作用による内部組織の負傷を含む)による腰痛  | 3,361 | 3,190 | 3,148 | 3,008 | 3,170 |
|    | 05    | 脊柱又は四肢の負傷による破傷風等の細菌感染症(負傷による腰痛を除く)   | 36    | 75    | 69    | 64    | 81    |
|    | 06    | 皮膚等の負傷による破傷風等の細菌感染症  | 142   | 139   | 127   | 119   | 160   |
|    | 07    | 業務上の負傷又は異物の侵入、残留による眼疾患その他の臓器の疾患  | 305   | 329   | 308   | 321   | 321   |
|    | 08    | 爆発その他事発的な事由による風圧、音響等に起因する業務性難聴等の耳の疾患   | 35    | 31    | 40    | 36    | 37    |
|    | 99    | CODE01から08までに掲げるもの以外の業務上の負傷に起因する疾病   | 25    | 25    | 25    | 11    | 16    |
| 二  |       | 物理的因子による次に掲げる疾病<br>(有害光線による疾病)   | 932   | 774   | 797   | 879   | 708   |
| 1  | 01    | 紫外線にさらされる業務による前眼部疾患又は皮膚疾患  | 7     | 7     | 13    | 5     | 3     |
| 2  | 02    | 赤外線にさらされる業務による網膜火傷、白内障等の眼疾患又は皮膚疾患  | 1     | 2     | 4     | 4     | 1     |
| 3  | 03    | レーザー光線にさらされる業務による網膜火傷等の眼疾患又は皮膚疾患   |       | 2     | 3     | 2     |       |
| 4  | 04    | マイクロ波にさらされる業務による白内障等の眼疾患   | 1     |       |       |       | 1     |
| 5  | 05    | 電離放射線にさらされる業務による急性放射線症、皮膚潰瘍等の放射線皮膚障害、白内障等の放射線眼疾患、放射線肺炎、再生不良性貧血等の造血器障害、骨壊死その他の放射線障害<br>(皮膚障害)<br>(白内障)<br>(急性放射線症)<br>(再生不良性貧血)<br>(造血器障害)<br>(異常気圧による疾病) | 2     | 2     | 3     |       | 1     |
| 6  | 06    | 高圧室内作業又は潜水作業に係る業務による潜函病又は潜水病   | 9     | 13    | 17    | 7     | 12    |
| 7  | 07    | 気圧の低い場所における業務による高山病又は航空減圧症<br>(異常温度条件による疾病)  | 10    | 9     | 14    | 9     | 11    |
| 8  | 08    | 暑熱な場所における業務による熱中症  | 537   | 352   | 349   | 427   | 332   |
| 9  | 09    | 高熱物体を取り扱う業務による熱傷   | 34    | 63    | 22    | 30    | 22    |
| 10 | 10    | 寒冷な場所における業務又は低温物体を取り扱う業務による凍傷  | 13    | 26    | 41    | 28    | 38    |
| 11 | 11    | 著しい騒音を発する場所における業務による難聴等の耳の疾患   | 315   | 297   | 328   | 365   | 287   |
| 12 | 12    | 超音波にさらされる業務による手指等の組織壊死   |       |       | 1     |       |       |
| 13 | 99    | 1から12までに掲げるもののほか、これらの疾病に付随する疾病その他物理的因子にさらされる業務に起因することの明らかな疾病   | 3     | 1     | 2     | 2     | 2     |
| 三  |       | 身体に過度の負担のかかる作業態様に起因する次に掲げる疾病   | 1,232 | 1,149 | 1,193 | 1,221 | 1,406 |
| 1  | 01    | 重激な業務による筋肉、腱、骨若しくは関節の疾患又は内臓脱(腰痛を除く。)   | 174   | 172   | 196   | 206   | 244   |
| 2  | 02    | 重量物を取り扱う業務、腰部に過度の負担を与える不自然な作業姿勢により行う業務その他腰部に過度の負担のかかる業務による腰痛(負傷に起因する腰痛を除く。)  | 79    | 40    | 53    | 28    | 52    |
| 3  | 03    | さく岩機、鋸打ち機、チェーンソー等の機械器具の使用により身体に振動を与える業務による手指、前腕等の抹梢循環障害、抹梢神経障害又は運動器障害  | 263   | 272   | 296   | 306   | 281   |
| 4  | 04-09 | 電子計算機への入力を反復して行う業務その他上肢に過度の負担のかかる業務による後頭部、頸部、肩甲帯、上腕、前腕又は手指の運動器障害   | 707   | 659   | 641   | 673   | 823   |
| 5  | 99    | 1から4までに掲げるもののほか、これらの疾病に付随する疾病その他身体に過度の負担のかかる作業態様の業務に起因することの明らかな疾病  | 9     | 6     | 7     | 8     | 6     |

## 労働安全衛生をめぐる状況

| 分類 |        | 疾病分類項目   | 年度    |       |       |       |       |
|----|--------|--|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大  | 小 CODE |  | 2010  | 2011  | 2012  | 2013  | 2014  |
| 四  |        | 化学物質等による次に掲げる疾病  | 219   | 244   | 237   | 218   | 228   |
| 1  | 01     | 労働大臣の指定する単体たる化学物質及び化合物（合金を含む。）にさらされる業務による疾病であって、労働大臣が定めるもの（内訳は表6参照）                      | 72    | 79    | 74    | 69    | 82    |
| 2  | 02     | フッ素樹脂の熱分解生成物にさらされる業務による悪寒、発熱等の症状を伴う呼吸器疾患   | 3     | 2     | 1     | 2     |       |
|    | 03     | 塩化ビニル樹脂、アクリル樹脂等の合成樹脂の熱分解生成物にさらされる業務による眼粘膜及び気道粘膜の炎症等の疾患                                   | 1     | 2     | 2     |       |       |
| 3  | 04     | すず、鉱物油、うるし、タール、セメント、アミン糸の樹脂硬化剤等にさらされる業務による皮膚疾患   | 12    | 15    | 12    | 15    | 11    |
| 4  | 05     | 蛋白分解酵素にさらされる業務による皮膚炎、結膜炎又は鼻炎、気管支喘息等の呼吸器疾患  | 3     | 2     | 5     | 4     | 5     |
| 5  | 06     | 木材の粉じん、獣毛のじんあい等を飛散する場合における業務又は抗生物質等にさらされる業務によるアレルギー性の鼻炎、気管支喘息等の呼吸器疾患                     | 4     | 6     | 2     | 2     | 2     |
| 6  | 07     | 落綿等の粉じんを飛散する場所における業務による呼吸器疾患   | 9     | 9     | 14    | 7     | 13    |
| 7  |        | 石綿にさらされる業務による良性石綿胸水又はびまん性胸膜肥厚  | 72    | 93    | 84    | 97    | 82    |
|    | 08     | （良性石綿胸水）   | (37)  | (42)  | (45)  | (44)  | (32)  |
|    | 09     | （びまん性胸膜肥厚）   | (35)  | (51)  | (39)  | (53)  | (50)  |
| 8  | 10     | 空気中の酸素濃度の低い場所における業務による酸素欠乏症  | 10    | 6     | 11    | 4     | 12    |
| 9  | 99     | 1から8までに掲げるもののほか、これらの疾病に付随する疾病その他化学物質等にさらされる業務に起因することの明らかな疾病                              | 33    | 30    | 32    | 18    | 21    |
| 五  | 56     | 粉じんを飛散する場合における業務によるじん肺症又はじん肺法（昭和35年法律第30号）に規定するじん肺と合併したじん肺法施行規則（昭和35年労働省令第6号）第1条各号に掲げる疾病 | 800   | 712   | 581   | 448   | 438   |
|    | 01     | （管理4）  | (191) | (176) | (146) | (117) | (132) |
|    | 02     | （肺結核）  | (17)  | (13)  | (16)  | (11)  | (7)   |
|    | 03     | （結核性胸膜炎）   | (4)   | (4)   | (1)   |       | (3)   |
|    | 04     | （続発性気管支炎）  | (451) | (386) | (321) | (254) | (208) |
|    | 05     | （続発性気管支拡張症）  | (9)   | (4)   | (1)   | (1)   | (2)   |
|    | 06     | （続発性気胸）  | (29)  | (33)  | (23)  | (17)  | (21)  |
|    | 07     | （原発性肺がん）   | (99)  | (96)  | (73)  | (48)  | (65)  |
| 六  |        | 細菌、ウイルス等の病原体による次に掲げる疾病   | 110   | 189   | 155   | 160   | 142   |
| 1  | 01-04  | 患者の診療若しくは看護の業務、介護の業務又は研究その他の目的で病原体を取り扱う業務による伝染性疾患  | 78    | 146   | 118   | 119   | 103   |
|    | 01     | （患者の診療の業務）   |       | (23)  | (17)  | (15)  | (10)  |
|    | 02     | （患者の看護の業務）   |       | (56)  | (45)  | (39)  | (35)  |
|    | 03     | （介護の業務）  |       | (56)  | (47)  | (62)  | (55)  |
|    | 04     | （研究その他の目的で病原体を取り扱う業務）  |       | (11)  | (9)   | (3)   | (3)   |
| 2  | 05     | 動物若しくはその死体、獣毛、革その他動物性の物又はほろ等の古物を取り扱う業務によるブルセラ症、炭疽病等の伝染性疾患                                | 3     | 5     | 5     | 2     | 3     |
| 3  | 06     | 湿潤地における業務によるワイル病等のレプトスピラ症  | 10    | 3     | 1     | 3     | 3     |
| 4  | 07     | 屋外における業務による恙虫病   | 8     | 13    | 12    | 14    | 15    |
| 5  | 99     | 1から4までに掲げるもののほか、これらの疾患に付随する疾患その他細菌、ウイルス等の病原体にさらされる業務に起因することの明らかな疾病                       | 11    | 22    | 19    | 22    | 18    |
| 七  |        | がん原性物質若しくはがん原性因子又はがん原性工程における業務による次に掲げる疾病   | 949   | 957   | 954   | 939   | 933   |
| 1  | 01     | ベンジジンにさらされる業務による尿路系腫瘍  | 4     | 2     | 3     | 1     | 2     |
| 2  | 02     | ペーターナフチルアミンにさらされる業務による尿路系腫瘍  | 2     | 4     | 1     |       | 1     |
| 3  | 03     | 4-アミノジフェニルにさらされる業務による尿路系腫瘍   |       |       |       |       |       |
| 4  | 04     | 4-ニトロジフェニルにさらされる業務による尿路系腫瘍   |       |       |       |       |       |
| 5  | 05     | ビス（クロロメチル）エーテルにさらされる業務による肺がん   | 1     |       |       |       |       |
| 7  | 06     | ベンゾトリクロライドにさらされる業務による肺がん   |       |       |       |       |       |

| 分類 | 大 小 CODE | 疾病分類項目  | 年度    |       |       |       |       |
|----|----------|---|-------|-------|-------|-------|-------|
|    |          |   | 2010  | 2011  | 2012  | 2013  | 2014  |
| 8  |          | 石綿にさらされる業務による肺がん又は中皮腫   | 922   | 944   | 924   | 910   | 920   |
|    | 07       | (石綿に曝される業務による肺がん)   | (424) | (400) | (402) | (382) | (391) |
|    | 08       | (石綿に曝される業務による中皮腫)   | (498) | (544) | (522) | (528) | (529) |
| 9  | 09       | ベンゼンにさらされる業務による白血病  |       |       |       |       |       |
| 10 | 10-11    | 塩化ビニルにさらされる業務による肝血管肉腫又は肝細胞がん  |       |       |       | 1     |       |
| 13 |          | 電離放射線にさらされる業務による白血病、肺がん、皮膚がん、骨肉腫、甲状腺がん、多発性骨髄腫又は非ホジキンリンパ腫  | 3     | 1     | 1     | 2     | 1     |
|    | 12       | (白血病)   |       |       |       | (1)   |       |
|    | 13       | (肺がん)   |       |       |       |       |       |
|    | 14       | (皮膚がん)  |       |       |       |       | (1)   |
|    | 15       | (骨肉腫)   |       |       |       |       |       |
|    | 16       | (甲状腺がん)   |       |       |       |       |       |
|    | 17       | (多発性骨髄腫)  |       |       |       |       |       |
|    | 18       | (非ホジキンリンパ腫)   |       | (1)   | (1)   | (1)   |       |
| 14 | 19       | オーラミンを製造する工程における業務による尿路系腫瘍  |       |       |       |       |       |
| 15 | 20       | マゼンタを製造する工程における業務による尿路系腫瘍   |       |       |       |       |       |
| 16 | 21       | コークス又は発生炉ガスを製造する工程における業務による肺がん  | 11    | 4     | 6     | 10    | 1     |
| 17 | 22       | クロム酸塩又は重クロム酸塩を製造する工程における業務による肺がん又は上気道のがん  | 4     | 2     | 3     | 2     |       |
| 18 | 23       | ニッケルの製錬又は精錬を行う工程における業務による肺がん又は上気道のがん  |       |       |       |       |       |
| 19 | 24       | 砒素を含有する鉱石を原料として金属の製錬若しくは精錬を行う工程又は無機砒素化合物を製造する工程における業務による肺がん又は皮膚がん   | 1     |       |       |       |       |
| 20 | 25       | すす、鉱物油、タール、ピッチ、アスファルト又はパラフィンにさらされる業務による皮膚がん   | 1     |       |       |       | 1     |
| 6  | 26       | ベリリウムにさらされる業務による肺がん   |       |       |       |       |       |
| 11 | 27       | 1,2-ジクロロプロパンにさらされる業務による胆管がん   |       |       |       | 10    | 6     |
| 12 | 28       | ジクロロメタンにさらされる業務による胆管がん  |       |       |       | 3     | 1     |
| 21 | 99       | 1から17までに掲げるもののほか、これらの疾病に付随する疾病その他がん原性物質若しくはがん原性因子にさらされる業務又はがん原性工程における業務に起因することの明らかな疾病                       |       |       | 16    |       |       |
| 八  | 01       | 長期間にわたる長時間の業務その他血管病変等を著しく増悪させる業務による脳出血、くも膜下出血、脳梗塞、高血圧性脳症、心筋梗塞、狭心症、心停止(心臓性突然死を含む。)若しくは解離性大動脈瘤又はこれらの疾病に付随する疾病 | 285   | 310   | 338   | 306   | 277   |
|    |          | (脳血管疾患)   | (176) | (200) | (211) | (182) | (166) |
|    |          | (虚血性心疾患等)   | (109) | (110) | (127) | (124) | (111) |
| 九  | 01       | 人の生命に関わる事故への遭遇その他心理的に過度の負担を与える事象を伴う業務による精神及び行動の障害又はこれに付随する疾病  | 308   | 325   | 475   | 436   | 497   |
| 十  |          | 前各号に掲げるもののほか、中央労働基準審議会の議を経て労働大臣の指定する疾病  | 1     | 0     | 0     | 2     | 1     |
|    | 01       | 超硬合金の粉じんを飛散する場所における業務による気管支肺疾患  |       |       |       | (1)   | (1)   |
|    | 02       | 亜鉛黄又は黄鉛を製造する工程における業務による肺がん  |       |       |       |       |       |
|    | 03       | ジアニシジンにさらされる業務による尿路系腫瘍  | (1)   |       |       | (1)   |       |
| 十一 | 01       | その他業務に起因することの明らかな疾病   | 1     | 0     | 1     | 2     | 0     |
|    |          | [非災害性脳血管疾患] 2010年度以降第八号へ移行  |       |       |       |       |       |
|    |          | [非災害性虚血性心疾患等] 2010年度以降第八号へ移行  |       |       |       |       |       |
|    |          | [精神障害等] 2010年度以降第九号へ移行  |       |       |       |       |       |
|    |          | 合計  | 9,457 | 9,176 | 9,143 | 8,872 | 9,141 |
|    |          | A: 具体的列挙規定に係る業務上疾病の合計   | 9,400 | 9,117 | 9,066 | 8,820 | 9,096 |
|    |          | B: 包括的救済規定に係る業務上疾病の合計   | 57    | 59    | 77    | 52    | 45    |
|    |          | A/(A+B)   | 99.4% | 99.4% | 99.2% | 99.4% | 99.5% |

注) 「分類」の「CODE」は「傷病性質コード」。(1) 同一労働災害で異なる性質の疾病を受けた場合又は同一の業務で異なる有害因子を二以上うけて複合的な疾病が発生した場合は、比較的重い傷病性質により分類すること。(2) その数種の傷病の重さが同程度である場合は、この表の上位のコード(小さな番号)に分類する。(3) 原疾患に付随して生じた疾病については、原疾患と同一コードに分類する。

## 労働安全衛生をめぐる状況

表5 業務上疾病の新規請求件数、支給・不支給決定件数(判明しているもの)

| 分類 | 疾病分類項目(労基則別表第1の2)  | 2012(平成24)年度 |     |     | 2013(平成25)年度 |     |     | 2014(平成26)年度 |     |     |
|----|--|--------------|-----|-----|--------------|-----|-----|--------------|-----|-----|
|    |  | 請求           | 支給  | 不支給 | 請求           | 支給  | 不支給 | 請求           | 支給  | 不支給 |
| 2  | 重量物を取り扱う業務、腰部に過度の負担を与える不自然な作業姿勢により行う業務その他腰部に過度の負担のかかる業務による腰痛   | 131          | 53  | 71  | 107          | 28  | 69  | 136          | 52  | 79  |
| 4  | せん孔、印書、電話交換又は速記の業務、金銭登録機を使用する業務、引金付き工具を使用する業務その他上肢に過度の負担のかかる業務による手指の痙攣、手指、前腕等の腱、腱鞘若しくは腱周囲の炎症又は頸肩腕症候群 | 983          | 641 | 270 | 1,055        | 673 | 274 | 1,176        | 823 | 300 |
| 七  | がん原性物質若しくはがん原性因子又はがん原性工程における業務による次に掲げる疾病   | 1,187        | 954 | 101 | 1,058        | 939 | 143 | 1,057        | 935 | 110 |
| 1  | ベンジジンにさらされる業務による尿路系腫瘍  | 5            | 3   | 1   | 1            | 1   | 0   | 3            | 2   | 1   |
| 2  | ペーターナフチルアミンにさらされる業務による尿路系腫瘍  | 1            | 1   | 0   | 0            | 0   | 0   | 2            | 1   | 0   |
| 3  | 4-アミノジフェニルにさらされる業務による尿路系腫瘍   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   |
| 4  | 4-ニトロジフェニルにさらされる業務による尿路系腫瘍   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   |
| 5  | ビス(クロロメチル)エーテルにさらされる業務による肺がん   | 1            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   |
| 6  | ベリリウムにさらされる業務による肺がん  |              |     |     | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   |
| 7  | ベンゾトリクロライドにさらされる業務による肺がん   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   |
| 8  | 石綿にさらされる業務による中皮腫   | 587          | 522 | 40  | 593          | 528 | 31  | 561          | 529 | 27  |
| 9  | 石綿にさらされる業務肺がん  | 495          | 402 | 57  | 420          | 382 | 80  | 465          | 391 | 52  |
| 10 | ベンゼンにさらされる業務による白血病   | 1            | 0   | 0   | 0            | 0   | 1   | 0            | 0   | 1   |
| 11 | 塩化ビニルにさらされる業務による肝血管肉腫  | 0            | 0   | 0   | 0            | 1   | 0   | 0            | 1   | 0   |
| 12 | 1,2-ジクロロプロパンにさらされる業務による胆管がん  |              |     |     | 9            | 10  | 0   | 10           | 6   | 1   |
| 13 | ジクロロメタンロパンにさらされる業務による胆管がん  |              |     |     | 9            | 3   | 7   | 9            | 3   | 7   |
| 14 | 電離放射線にさらされる業務による白血病、肺がん、皮膚がん、骨肉腫、甲状腺がん、多発性骨髄腫又は非ホジキンリンパ腫   | 1            | 1   | 0   | 2            | 2   | 2   | 2            | 0   | 0   |
| 15 | オーラミンを製造する工程における業務による尿路系腫瘍   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   |
| 16 | マゼンタを製造する工程における業務による尿路系腫瘍  | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   |
| 17 | コークス又は発生炉ガスを製造する工程における業務による肺がん   | 6            | 6   | 1   | 8            | 10  | 0   | 3            | 1   | 0   |
| 18 | クロム酸塩又は重クロム酸塩を製造する工程における業務による肺がん又は上気道のがん   | 2            | 3   | 0   | 2            | 2   | 0   | 0            | 0   | 0   |
| 19 | ニッケルの製錬又は精錬を行う工程における業務による肺がん又は上気道のがん   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   |
| 20 | 砒素を含有する鉱石を原料として金属の製錬若しくは精錬を行う工程又は無機砒素化合物を製造する工程における業務による肺がん又は皮膚がん                                    | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   |
| 21 | すず、鉛油、タール、ピッチ、アスファルト又はパラフィンにさらされる業務による皮膚がん   | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   | 0            | 1   | 0   |
| 22 | 1から17までに掲げるもののほか、これらの疾病に付随する疾病その他がん原性物質若しくはがん原性因子にさらされる業務又はがん原性工程における業務に起因することの明らかな疾病                | 88           | 16  | 2   | 14           | 0   | 22  | 2            | 0   | 21  |
|    | 亜鉛黄又は黄鉛を製造する工程における業務による肺がん   |              |     |     | 0            | 0   | 0   | 0            | 0   | 0   |
|    | ジアニジンにさらされる業務による尿路系腫瘍  |              |     |     | 0            | 1   | 0   | 0            | 1   | 0   |

表6 化学物質による業務上疾病(第四号1)の内訳別新規支給決定件数

| 分類 |   |      | 疾病分類項目  | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 1996～<br>合計 |
|----|---|------|---|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------------|
| 大  | 小 | CODE |   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |             |
| 四  | 1 | 枝番   | 労働大臣の指定する単体たる化学物質及び化合物(合金を含む)にさらされる業務による疾病であって、労働大臣が定めるもの | 93   | 117  | 90   | 73   | 71   | 72   | 79   | 74   | 69   | 82   | 1,752       |
|    |   | 1    | アンモニア   | 1    | 4    | 1    | 3    | 1    |      | 4    | 2    | 1    | 1    | 33          |
|    |   | 2    | 塩酸(塩化水素を含む)   | 2    | 9    | 7    | 3    | 4    | 2    |      | 2    | 2    | 3    | 54          |
|    |   | 3    | 硝酸  | 2    | 1    | 2    | 1    | 1    |      |      | 2    |      | 1    | 36          |
|    |   | 4    | 水酸化カリウム   |      | 1    |      | 4    |      | 3    | 3    | 1    | 2    | 2    | 24          |
|    |   | 5    | 水酸化ナトリウム  | 12   | 6    | 11   | 5    | 13   | 8    | 6    | 7    | 10   | 7    | 172         |
|    |   | 6    | 水酸化リチウム   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 7    | 弗化水素酸(弗化水素を含む。以下同じ)                                       | 2    | 4    | 3    | 3    | 2    | 2    |      | 1    | 1    | 3    | 58          |
|    |   | 8    | 硫酸  | 2    | 2    | 2    | 1    | 2    | 1    | 1    | 2    |      | 1    | 31          |
|    |   | 9    | 亜鉛等の金属ヒューム  | 3    | 1    |      | 3    |      | 2    | 2    | 2    |      |      | 37          |
|    |   | 10   | アルキル水銀化合物(アルキル基がメチル基又はエチル基である物に限る。以下同じ)                   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 11   | アンチモン及びその化合物  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 12   | 塩化亜鉛  |      | 1    |      |      |      |      | 1    |      |      |      | 9           |
|    |   | 13   | 塩化白金酸及びその化合物  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 14   | カドミウム及びその化合物  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 15   | クロム及びその化合物  | 2    | 2    |      |      | 1    | 1    | 3    |      | 2    | 2    | 23          |
|    |   | 16   | コバルト及びその化合物   |      | 1    | 1    |      |      |      |      |      |      | 1    | 10          |
|    |   | 17   | 四アルキル鉛化合物   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 18   | 水銀及びその化合物(アルキル水銀化合物を含む)                                   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 12          |
|    |   | 19   | セレン及びその化合物(セレン化水素を除く)                                     |      |      |      |      |      |      | 1    |      |      |      | 2           |
|    |   | 20   | セレン化水素  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 21   | 鉛及びその化合物(四アルキル鉛化合物を除く)                                    | 7    | 2    | 5    | 1    | 1    | 4    | 4    | 3    |      | 2    | 37          |
|    |   | 22   | ニッケルカルボニル   |      | 1    |      |      |      | 2    |      |      |      |      | 4           |
|    |   | 23   | バナジウム及びその化合物  |      |      |      |      | 1    |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 24   | 砒化水素  |      | 1    |      |      |      |      |      |      |      |      | 2           |
|    |   | 25   | 砒素及びその化合物(砒化水素を除く)  |      |      |      |      | 1    |      |      |      |      |      | 4           |
|    |   | 26   | ブチル錫  | 1    |      | 1    |      |      |      |      |      |      |      | 12          |
|    |   | 27   | ベリリウム及びその化合物  |      | 1    |      |      | 1    |      |      |      |      | 1    | 4           |
|    |   | 28   | マンガン及びその化合物<br>(ハロゲン及びその無機化合物)                            | 1    | 1    | 1    |      |      |      |      |      | 1    |      | 7           |
|    |   | 29   | 塩素  | 5    | 6    | 2    | 5    | 6    | 4    | 2    | 8    | 2    | 5    | 88          |
|    |   | 30   | 臭素  | 1    |      |      |      | 1    |      |      | 1    |      |      | 9           |
|    |   | 31   | 弗素及びその無機化合物(弗化水素酸を除く)                                     |      | 2    | 1    | 3    |      | 1    |      | 1    |      |      | 16          |
|    |   | 32   | 沃素  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 33   | 一酸化炭素   | 21   | 25   | 13   | 19   | 16   | 19   | 21   | 24   | 22   | 28   | 407         |
|    |   | 34   | 黄りん   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 35   | カルシウムシアナミド  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 36   | シアン化水素、シアン化ナトリウム等のシアン化合物                                  |      |      |      |      |      | 1    |      |      |      | 1    | 8           |
|    |   | 37*  | 二酸化硫黄   |      |      |      | 2    |      |      |      |      | 1    |      | 7           |
|    |   | 38   | 二酸化窒素   | 2    | 2    | 1    |      |      | 1    | 1    |      |      | 1    | 23          |
|    |   | 39   | 二酸化炭素   |      |      | 3    |      |      |      | 1    |      |      |      | 8           |
|    |   | 40   | ヒドラジン   |      |      |      |      |      |      | 1    |      |      |      | 6           |
|    |   | 41   | ホスゲン  |      |      |      | 2    |      |      | 1    |      |      |      | 5           |
|    |   | 42   | ホスフィン   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 43   | 硫化水素  | 2    | 3    | 1    | 1    |      | 2    | 4    | 1    | 7    | 8    | 65          |

## 労働安全衛生をめぐる状況

| 分類 |   | 疾病分類項目 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 1996～<br>合計 |
|----|---|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------------|
| 大  | 小 |        |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |             |
|    |   | 44     |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1    | 1           |
|    |   | 45     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 46     |      |      | 1    |      |      |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 47*    |      | 4    |      |      |      |      |      |      |      |      | 5           |
|    |   | 48*    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 2           |
|    |   | 49*    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 50*    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 51*    |      | 2    |      | 2    | 2    |      | 2    | 1    | 1    |      | 22          |
|    |   | 52     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 53     |      |      |      |      |      |      | 1    | 2    |      |      | 19          |
|    |   | 54*    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 55*    |      |      | 1    |      |      |      |      |      |      |      | 3           |
|    |   | 56*    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 5           |
|    |   | 57*    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 58*    | 1    | 1    |      | 1    |      |      | 1    | 1    | 2    | 1    | 13          |
|    |   | 59*    |      |      | 2    | 1    |      |      | 1    |      |      |      | 11          |
|    |   | 60     |      |      |      |      | 1    |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 61     |      |      |      |      |      | 1    |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 62     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 63     |      | 1    |      |      |      |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 64*    | 4    | 2    | 1    | 1    | 1    | 1    | 2    |      | 2    | 1    | 21          |
|    |   | 65*    |      | 1    |      |      |      |      |      |      |      |      | 2           |
|    |   | 66*    |      | 1    |      |      |      |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 67     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 68*    |      | 1    |      |      |      |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 69*    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 70*    |      |      | 2    |      |      | 1    |      |      | 1    |      | 7           |
|    |   | 71*    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 3           |
|    |   | 72*    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 2           |
|    |   | 73*    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 74     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 75     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 2           |
|    |   | 76     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 77     |      | 1    |      |      | 1    |      |      |      |      |      | 2           |
|    |   | 78     | 2    | 1    |      |      |      |      | 1    |      | 1    | 2    | 16          |
|    |   | 79     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 80*    | 1    | 3    |      |      | 1    |      | 1    | 1    |      |      | 15          |
|    |   | 81     |      | 1    |      |      |      |      |      |      |      |      | 2           |
|    |   | 82*    | 1    |      | 1    |      |      |      |      |      |      |      | 4           |
|    |   | 83     |      |      |      |      |      | 1    |      |      |      |      | 2           |
|    |   | 84     |      |      |      |      |      | 1    | 1    |      |      |      | 3           |
|    |   | 85     |      | 1    |      |      | 1    |      |      |      |      |      | 5           |
|    |   | 86     | 1    |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 4           |
|    |   | 87     | 1    | 1    | 1    |      |      |      |      |      |      |      | 9           |
|    |   | 88     |      |      |      |      | 1    |      | 1    |      |      |      | 11          |
|    |   | 89     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 90     | 1    | 1    |      |      |      |      |      | 1    |      |      | 4           |
|    |   | 91*    |      |      | 4    |      | 1    |      |      | 1    | 1    |      | 22          |

| 分類 |   | 疾病分類項目 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 1996～<br>合計 |
|----|---|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------------|
| 大  | 小 |        |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |             |
|    |   | 92     |      |      |      |      | 1    |      |      |      | 1    | 2    | 5           |
|    |   | 93     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 2           |
|    |   | 94     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 2           |
|    |   | 95*    |      |      | 1    |      |      |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 96*    | 1    |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 2           |
|    |   | 97     |      |      |      | 1    |      |      |      |      |      |      | 5           |
|    |   | 98*    | 1    | 4    | 5    | 1    |      | 1    | 3    | 3    | 3    |      | 45          |
|    |   | 99*    |      |      | 1    |      |      |      |      |      |      | 3    | 5           |
|    |   | 100*   | 6    | 4    | 6    | 3    | 5    | 6    | 2    | 4    | 4    |      | 109         |
|    |   | 101    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 102    |      |      |      |      | 2    |      | 1    |      |      |      | 3           |
|    |   | 103    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 104    |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1    | 0           |
|    |   | 105*   |      |      |      |      |      | 2    |      |      |      |      | 5           |
|    |   | 106    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 3           |
|    |   | 107    | 1    |      | 1    | 1    |      |      | 1    |      |      |      | 6           |
|    |   | 108    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 109    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 110    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 111    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 112    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 113    |      |      |      |      |      | 1    |      |      |      |      | 1           |
|    |   | 114    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 115    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 116    |      |      | 4    |      |      |      |      |      |      |      | 4           |
|    |   | 117    |      |      |      |      |      | 1    |      |      |      |      | 3           |
|    |   | 118    |      |      | 1    |      |      |      |      |      | 1    | 2    | 2           |
|    |   | 119    | 2    | 1    |      | 2    |      | 1    | 1    |      |      |      | 17          |
|    |   | 120    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 121*   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 2           |
|    |   | 122    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 123    | 3    |      | 2    |      |      | 1    |      |      |      |      | 13          |
|    |   | 124    |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1    | 0           |
|    |   | 125    | 1    | 2    |      | 2    |      | 1    |      |      |      |      | 12          |
|    |   | 126    |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1    | 0           |
|    |   | 127    |      | 1    |      |      | 1    |      |      |      |      |      | 9           |
|    |   | 128    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 129    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 130    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 131    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 132    |      | 1    | 1    | 1    |      |      |      | 1    |      |      | 11          |
|    |   | 133    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 134    |      |      |      |      |      |      | 1    |      |      |      | 2           |
|    |   | 135    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 3           |
|    |   | 136*   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    |   | 137*   |      |      |      |      | 1    |      |      |      |      |      | 3           |
|    |   | 138    |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 1           |

## 労働安全衛生をめぐる状況

| 分類 |     | 疾病分類項目  | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 1996～<br>合計 |
|----|-----|---|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------------|
| 大  | 小   |   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |             |
|    | 139 | 有機りん化合物（ジチオリン酸O-エチル=S・S-ジフェニル（別名EDDP）、ジチオリン酸O・O-ジエチル=S・（2-エチルチオエル）（別名エチルチオメトン）、チオリン酸O・O-ジエチル=O-2-イソプロピル4-メチル6-ピリミジニル（別名ダイアジノン）、チオリン酸O・O-ジメチル=O-4-ニトロメタトリアル（別名MEP）、チオリン酸S-ベニル=O・O-ジイソプロピル（別名IBP）、フェニルホスホノチオン酸O-エチル=O-パラ-ニトロフェニル（別名EPN）、りん酸2・2-ジクロルピニル=ジメチル（別名DDVP）及びりん酸パラ-メチルチオフェニル=ジプロピル（別名プロバホス） |      | 5    |      | 1    |      | 1    | 2    | 1    |      |      | 24          |
|    | 140 | カーバメート系化合物（メチルアルバミド酸オルト-セコンダリーブチルフェニル（別名BPMC）、メチルカルバミド酸メタトリアル（別名MTMC）及びN-（メチルカルバモイルオキシ）チオアセトイミド酸S-メチル（別名メソミル）   |      |      | 1    |      |      |      |      |      | 1    |      | 3           |
|    | 141 | 2・4-ジクロルフェニル=パラ-ニトロフェニル=エーテル（別名NIP）   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 142 | ジチオカーバメート系化合物（エチレンビス（ジチオカルバミド酸）亜鉛（別名ジネブ）及びエチレンビス（ジチオカルバミド酸）マンガン（別名マンネブ）   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 143 | N-（1・1・2・2-テトラクロルエルチオ）-4-シクロヘキサン-1,2-ジカルボキシミド（別名ダイホルタン）   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 144 | トリクロルニトロメタン（別名クロルピクリン）  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 145 | 二塩化1・1'-ジメチル-4・4'-ビピリジニウム（別名パラコート）  |      |      |      |      |      |      | 1    |      |      |      | 4           |
|    | 146 | パラ-ニトロフェニル=2・4・6-トリクロルフェニル=エーテル（別名CNP）  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 147 | プラストサイジンS   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 148 | 6・7・8・9・10・10-ヘキサクロル-5・5a・6・9・9a-ヘキサヒドロ-6・9-メタノ-2・4・3-ベンゾジオキサチエピン3-オキシド（別名ベンゾエピン）   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 149 | ペンタクロルフェノール（別名PCP）  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 150 | モノフルオル酢酸ナトリウム   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 151 | 硫酸ニコチン  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 152 | アジ化ナトリウム  |      |      |      |      |      |      |      |      | 1    |      | 1           |
|    | 153 | インジウム及びその化合物  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 154 | 2,3-エポキシプロピル=フェニルエーテル   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 155 | 過酸化水素   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 156 | グルタルアルデヒド   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 157 | タリウム及びその化合物   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 158 | テトラメチルチウラムジスルフィド  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 159 | N-（トリクロルメチルチオ）-1,2,3,6-テトラヒドロフタリイミド   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 160 | 二亜硫酸ナトリウム   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 161 | ニッケル及びその化合物   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 162 | ヒドロキノン 皮膚障害   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 163 | 1-プロモプロパン   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 164 | 2-プロモプロパン   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 165 | ヘキサヒドロ-1,3,5-トリニトロ-1,3,5-トリアジン  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 166 | ペルオキシ二硫酸アンモニウム  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 167 | ペルオキシ二硫酸カリウム  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |
|    | 168 | ロジウム及びその化合物   |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 0           |

注) \*: 有機溶剤中毒予防規則該当物質。合計には1996～2004年度分も含まれている。  
厚生労働省資料により、全国労働安全衛生センター連絡会議が作成。

表7-1 傷病別長期療養者推移状況(2014年度)

| 区分          | 療養開始後1年以上経過した者の推移 |                   |                   |               |             |                   | 本年度末療養中の内訳       |                |                |                 |  |
|-------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------|-------------|-------------------|------------------|----------------|----------------|-----------------|--|
|             | 前年度末療養中           | 新規該当者(再発を含む)      | 治ゆ又は中断者           | 死亡            | 傷病(補償)年金移行  | 本年度末療養中           | 1年以上1年6か月未満      | 1年6か月以上2年未満    | 2年以上3年未満       | 3年以上            |  |
| じん肺患者       | 8,180             | 423               | 76                | 617           | 156         | 7,754             | 154              | 157            | 296            | 7,147           |  |
| せき髄損傷患者     | 375<br>(74)       | 455<br>(84)       | 327<br>(59)       | 9             | 63<br>(10)  | 431<br>(89)       | 169<br>(29)      | 90<br>(25)     | 68<br>(14)     | 104<br>(21)     |  |
| 外傷性の脳中枢損傷患者 | 792<br>(283)      | 578<br>(216)      | 524<br>(175)      | 17<br>(8)     | 69<br>(27)  | 760<br>(289)      | 203<br>(86)      | 148<br>(54)    | 195<br>(72)    | 214<br>(77)     |  |
| 頭頸部外傷症候群患者  | 507<br>(145)      | 428<br>(143)      | 427<br>(139)      | 4<br>(1)      | 14<br>(4)   | 490<br>(144)      | 139<br>(47)      | 89<br>(31)     | 106<br>(31)    | 156<br>(35)     |  |
| 頸肩腕症候群患者    | 153               | 72                | 77                |               |             | 148               | 22               | 11             | 12             | 103             |  |
| 腰痛患者        | 617               | 567               | 570               | 1             |             | 613               | 165              | 125            | 125            | 198             |  |
| 一酸化炭素中毒患者   | 5                 | 6                 | 5                 | 1             |             | 5                 | 2                |                |                | 3               |  |
| 振動障害患者      | 5,750             | 305               | 353               | 62            | 1           | 5,639             | 172              | 118            | 258            | 5,091           |  |
| その他の患者      | 21,082<br>(3,738) | 25,394<br>(4,717) | 24,293<br>(4,557) | 354<br>(7)    | 106<br>(5)  | 21,723<br>(3,886) | 8,151<br>(1,710) | 4,140<br>(731) | 4,135<br>(827) | 5,297<br>(618)  |  |
| 骨折          | 10,524<br>(2,675) | 15,229<br>(3,555) | 14,829<br>(3,428) | 19<br>(4)     | 25<br>(3)   | 10,880<br>(2,795) | 5,141<br>(1,329) | 2,214<br>(533) | 2,109<br>(587) | 1,416<br>(346)  |  |
| 切断          | 499<br>(12)       | 729<br>(20)       | 714<br>(14)       |               | 1           | 513<br>(18)       | 214<br>(5)       | 130<br>(5)     | 94<br>(4)      | 75<br>(4)       |  |
| 関節の障害       | 2,790<br>(392)    | 3,471<br>(493)    | 3,369<br>(479)    | 1             | 2<br>(1)    | 2,889<br>(405)    | 1,160<br>(175)   | 645<br>(84)    | 579<br>(78)    | 505<br>(68)     |  |
| 打撲傷         | 1,234<br>(245)    | 1,486<br>(305)    | 1,523<br>(325)    | 6<br>(1)      | 4<br>(1)    | 1,187<br>(223)    | 460<br>(92)      | 242<br>(42)    | 236<br>(49)    | 249<br>(40)     |  |
| 創傷          | 806<br>(98)       | 1,237<br>(105)    | 1,239<br>(110)    | 1<br>(1)      | 1           | 802<br>(92)       | 326<br>(35)      | 170<br>(17)    | 166<br>(30)    | 140<br>(10)     |  |
| その他         | 5,229<br>(316)    | 3,242<br>(239)    | 2,619<br>(201)    | 327<br>(1)    | 73          | 5,452<br>(353)    | 850<br>(74)      | 739<br>(50)    | 951<br>(79)    | 2,912<br>(150)  |  |
| 合計          | 37,461<br>(4,240) | 28,228<br>(5,160) | 26,652<br>(4,930) | 1,065<br>(16) | 409<br>(46) | 37,563<br>(4,408) | 9,177<br>(1,872) | 4,878<br>(841) | 5,195<br>(944) | 18,313<br>(751) |  |

注) ( )は通勤災害に係る件数で内数である。

厚生労働省労働基準局「労災保険事業年報」により、全国労働安全衛生センター連絡会議が作成。

表7-2 年度別・傷病別長期(1年以上)療養者数

| 年度   | じん肺患者 | せき髄損傷患者 | 外傷性の脳中枢損傷患者 | 頭頸部外傷症候群患者 | 頸肩腕症候群患者 | 腰痛患者 | 一酸化炭素中毒患者 | 振動障害患者 | その他の患者 |        |     |       |       |     |       | 合計     |
|------|-------|---------|-------------|------------|----------|------|-----------|--------|--------|--------|-----|-------|-------|-----|-------|--------|
|      |       |         |             |            |          |      |           |        |        | 骨折     | 切断  | 関節の障害 | 打撲傷   | 創傷  | その他   |        |
| 2004 | 9,262 | 376     | 702         | 580        | 121      | 611  | 4         | 8,452  | 16,264 | 9,228  | 550 | 1,557 | 1,091 | 782 | 3,056 | 36,372 |
| 2005 | 9,628 | 362     | 734         | 603        | 127      | 551  | 7         | 8,119  | 16,644 | 9,348  | 486 | 1,698 | 1,208 | 762 | 3,142 | 36,775 |
| 2006 | 9,917 | 445     | 780         | 631        | 126      | 656  | 9         | 7,689  | 17,517 | 9,495  | 471 | 1,822 | 1,309 | 794 | 3,626 | 37,770 |
| 2007 | 9,869 | 439     | 743         | 567        | 153      | 713  | 8         | 7,363  | 17,512 | 9,040  | 464 | 1,934 | 1,285 | 801 | 3,988 | 37,367 |
| 2008 | 9,764 | 405     | 743         | 512        | 160      | 654  | 5         | 7,043  | 17,111 | 8,700  | 456 | 1,936 | 1,221 | 712 | 4,086 | 36,397 |
| 2009 | 9,498 | 367     | 716         | 506        | 158      | 672  | 5         | 6,723  | 16,915 | 8,459  | 457 | 1,971 | 1,180 | 719 | 4,129 | 35,560 |
| 2010 | 9,152 | 359     | 649         | 492        | 150      | 685  | 9         | 6,451  | 16,881 | 8,272  | 453 | 2,011 | 1,097 | 725 | 4,323 | 34,828 |
| 2011 | 9,122 | 362     | 645         | 492        | 150      | 694  | 9         | 6,449  | 16,949 | 8,301  | 454 | 2,001 | 1,104 | 728 | 4,361 | 34,872 |
| 2012 | 8,556 | 411     | 785         | 531        | 157      | 650  | 4         | 5,960  | 19,895 | 9,915  | 508 | 2,565 | 1,189 | 803 | 4,915 | 36,949 |
| 2013 | 8,182 | 373     | 792         | 513        | 153      | 615  | 5         | 5,750  | 21,025 | 10,506 | 498 | 2,767 | 1,231 | 808 | 5,215 | 37,408 |
| 2014 | 7,754 | 431     | 760         | 490        | 148      | 613  | 5         | 5,639  | 21,723 | 10,880 | 513 | 2,889 | 1,187 | 802 | 5,452 | 37,563 |

## 労働安全衛生をめぐる状況

表8 都道府県別の死亡災害・死傷災害発生状況、労災保険適用状況及び給付種類別受給者数(2014年度)

| 都道府県 | 労災保険適用事業場数 | 労災保険適用労働者数 | 死亡災害発生状況 | 死傷災害発生状況(休業4日以上) | 労災保険新規受給者数 | 障害(補償)給付 |        |       | 傷病(補償)年金新規受給者数 | 障害・傷病新規受給者数合計 |
|------|------------|------------|----------|------------------|------------|----------|--------|-------|----------------|---------------|
|      |            |            |          |                  |            | 新規受給者数   | 一時金    | 年金    |                |               |
| 北海道  | 136,242    | 1,954,666  | 65       | 65               | 32,841     | 1,056    | 942    | 114   | 57             | 1,113         |
| 青森   | 29,751     | 422,941    | 11       | 14               | 4,883      | 131      | 116    | 15    | 4              | 135           |
| 岩手   | 28,015     | 441,763    | 21       | 26               | 6,951      | 167      | 148    | 19    | 3              | 170           |
| 宮城   | 48,542     | 848,557    | 22       | 22               | 12,040     | 344      | 300    | 44    | 10             | 354           |
| 秋田   | 23,882     | 347,625    | 19       | 8                | 4,239      | 124      | 114    | 10    | 2              | 126           |
| 山形   | 26,228     | 378,896    | 10       | 15               | 6,776      | 149      | 132    | 17    | 6              | 155           |
| 福島   | 44,650     | 756,688    | 23       | 31               | 9,977      | 270      | 230    | 40    | 6              | 276           |
| 茨城   | 51,995     | 978,802    | 33       | 40               | 11,036     | 438      | 389    | 49    | 9              | 447           |
| 栃木   | 37,598     | 741,671    | 16       | 22               | 7,712      | 282      | 255    | 27    | 10             | 292           |
| 群馬   | 41,192     | 764,792    | 11       | 27               | 11,555     | 436      | 404    | 32    | 9              | 445           |
| 埼玉   | 99,703     | 2,017,575  | 35       | 34               | 34,233     | 768      | 696    | 72    | 4              | 772           |
| 千葉   | 85,910     | 1,712,840  | 41       | 53               | 25,610     | 734      | 645    | 89    | 8              | 742           |
| 東京   | 387,812    | 13,588,531 | 67       | 74               | 83,512     | 1,747    | 1,556  | 191   | 24             | 1,771         |
| 神奈川  | 133,629    | 2,809,602  | 36       | 32               | 38,725     | 1,227    | 1,133  | 94    | 16             | 1,243         |
| 新潟   | 55,690     | 903,404    | 13       | 14               | 13,335     | 392      | 351    | 41    | 8              | 400           |
| 富山   | 26,571     | 445,747    | 12       | 10               | 5,246      | 216      | 202    | 14    | 16             | 232           |
| 石川   | 27,362     | 445,252    | 10       | 15               | 5,338      | 154      | 140    | 14    | 1              | 155           |
| 福井   | 21,646     | 327,984    | 10       | 13               | 3,539      | 132      | 111    | 21    | 2              | 134           |
| 山梨   | 17,799     | 275,963    | 12       | 13               | 3,878      | 111      | 98     | 13    | 1              | 112           |
| 長野   | 49,365     | 787,120    | 16       | 18               | 10,434     | 275      | 243    | 32    | 10             | 285           |
| 岐阜   | 45,266     | 739,595    | 25       | 14               | 10,180     | 389      | 341    | 48    | 6              | 395           |
| 静岡   | 84,508     | 1,458,982  | 34       | 33               | 20,956     | 604      | 552    | 52    | 10             | 614           |
| 愛知   | 142,403    | 3,513,750  | 48       | 61               | 36,306     | 1,344    | 1,216  | 128   | 18             | 1,362         |
| 三重   | 37,983     | 655,214    | 16       | 20               | 9,469      | 460      | 429    | 31    | 3              | 463           |
| 滋賀   | 27,007     | 481,443    | 8        | 10               | 7,413      | 405      | 382    | 23    | 4              | 409           |
| 京都   | 57,117     | 991,155    | 20       | 18               | 11,419     | 694      | 654    | 40    | 9              | 703           |
| 大阪   | 207,808    | 4,754,047  | 47       | 53               | 44,754     | 2,312    | 2,136  | 176   | 30             | 2,342         |
| 兵庫   | 99,916     | 1,842,907  | 51       | 43               | 22,714     | 1,270    | 1,172  | 98    | 26             | 1,296         |
| 奈良   | 24,492     | 313,153    | 8        | 15               | 5,317      | 300      | 281    | 19    | 14             | 314           |
| 和歌山  | 26,277     | 312,831    | 12       | 10               | 4,724      | 271      | 250    | 21    | 6              | 277           |
| 鳥取   | 13,508     | 186,421    | 3        | 3                | 2,448      | 71       | 60     | 11    | 4              | 75            |
| 島根   | 18,172     | 246,364    | 5        | 7                | 3,389      | 104      | 91     | 13    | 2              | 106           |
| 岡山   | 42,849     | 753,508    | 17       | 14               | 9,263      | 475      | 439    | 36    | 32             | 507           |
| 広島   | 63,993     | 1,207,316  | 24       | 24               | 14,475     | 639      | 592    | 47    | 8              | 647           |
| 山口   | 31,619     | 524,181    | 13       | 19               | 5,652      | 238      | 219    | 19    | 7              | 245           |
| 徳島   | 17,744     | 240,067    | 3        | 11               | 3,228      | 211      | 203    | 8     | 5              | 216           |
| 香川   | 22,494     | 379,755    | 10       | 10               | 4,891      | 241      | 220    | 21    | 4              | 245           |
| 愛媛   | 33,740     | 503,766    | 16       | 10               | 6,283      | 323      | 292    | 31    | 9              | 332           |
| 高知   | 18,449     | 243,485    | 5        | 11               | 4,138      | 206      | 178    | 28    | 6              | 212           |
| 福岡   | 110,126    | 2,048,315  | 36       | 42               | 22,186     | 1,128    | 1,049  | 79    | 14             | 1,142         |
| 佐賀   | 17,603     | 283,253    | 8        | 7                | 4,119      | 144      | 136    | 8     | 5              | 149           |
| 長崎   | 31,453     | 429,355    | 13       | 11               | 5,470      | 277      | 252    | 25    | 6              | 283           |
| 熊本   | 39,476     | 587,312    | 14       | 10               | 6,990      | 218      | 207    | 11    | 13             | 231           |
| 大分   | 26,531     | 400,010    | 12       | 10               | 4,570      | 283      | 258    | 25    | 6              | 289           |
| 宮崎   | 26,003     | 350,849    | 14       | 15               | 5,799      | 245      | 228    | 17    | 5              | 250           |
| 鹿児島  | 37,000     | 557,557    | 17       | 21               | 7,117      | 249      | 222    | 27    | 9              | 258           |
| 沖縄   | 30,583     | 453,163    | 10       | 9                | 4,469      | 127      | 117    | 10    | 4              | 131           |
| 合計   | 2,707,702  | 55,408,173 | 972      | 1,057            | 619,599    | 22,381   | 20,381 | 2,000 | 471            | 22,852        |

注) 表1注参照(死傷災害は労働者死傷病報告による)。厚生労働省資料により、全国労働安全衛生センター連絡会議が作成。

| 都道府県 | 葬祭料・<br>葬祭給付<br>受給者数 | 遺族(補償)給付   |     |       | 新規年金<br>受給者数<br>合計 | 合計      | 各年度末年金受給者数 |          |       |       |              |              |
|------|----------------------|------------|-----|-------|--------------------|---------|------------|----------|-------|-------|--------------|--------------|
|      |                      | 新規受給<br>者数 | 一時金 | 年金    |                    |         | 計          | 傷病(補償)年金 |       |       | 障害(補<br>償)年金 | 遺族(補<br>償)年金 |
|      |                      |            |     |       |                    |         |            | じん肺      | せき損   | その他   |              |              |
| 北海道  | 303                  | 316        | 95  | 221   | 392                | 14,985  | 608        | 483      | 55    | 70    | 5,462        | 8,915        |
| 青森   | 30                   | 42         | 6   | 36    | 55                 | 1,959   | 55         | 8        | 29    | 18    | 737          | 1,167        |
| 岩手   | 29                   | 60         | 21  | 39    | 61                 | 2,699   | 87         | 8        | 62    | 17    | 842          | 1,770        |
| 宮城   | 55                   | 93         | 23  | 70    | 124                | 4,234   | 168        | 17       | 111   | 40    | 1,152        | 2,914        |
| 秋田   | 17                   | 19         | 3   | 16    | 28                 | 2,057   | 54         | 13       | 24    | 17    | 791          | 1,212        |
| 山形   | 32                   | 38         | 9   | 29    | 52                 | 1,926   | 79         | 35       | 32    | 12    | 750          | 1,097        |
| 福島   | 73                   | 87         | 19  | 68    | 114                | 3,737   | 95         | 16       | 48    | 31    | 1,305        | 2,337        |
| 茨城   | 69                   | 85         | 21  | 64    | 122                | 4,154   | 89         | 30       | 25    | 34    | 1,826        | 2,239        |
| 栃木   | 50                   | 51         | 14  | 37    | 74                 | 3,281   | 142        | 60       | 44    | 38    | 1,250        | 1,889        |
| 群馬   | 42                   | 53         | 15  | 38    | 79                 | 3,459   | 163        | 74       | 52    | 37    | 1,522        | 1,774        |
| 埼玉   | 128                  | 135        | 35  | 100   | 176                | 6,681   | 105        | 15       | 41    | 49    | 3,437        | 3,139        |
| 千葉   | 105                  | 115        | 21  | 94    | 191                | 6,386   | 117        | 5        | 52    | 60    | 3,111        | 3,158        |
| 東京   | 303                  | 335        | 75  | 260   | 475                | 16,109  | 240        | 70       | 74    | 96    | 7,469        | 8,400        |
| 神奈川  | 155                  | 204        | 46  | 158   | 268                | 9,519   | 192        | 63       | 57    | 72    | 4,458        | 4,869        |
| 新潟   | 63                   | 60         | 14  | 46    | 95                 | 4,764   | 177        | 55       | 81    | 41    | 1,775        | 2,812        |
| 富山   | 38                   | 21         | 3   | 18    | 48                 | 2,583   | 77         | 35       | 26    | 16    | 963          | 1,543        |
| 石川   | 29                   | 26         | 4   | 22    | 37                 | 1,941   | 22         | 17       | 3     | 2     | 742          | 1,177        |
| 福井   | 29                   | 38         | 4   | 34    | 57                 | 1,771   | 44         | 11       | 18    | 15    | 651          | 1,076        |
| 山梨   | 19                   | 26         | 5   | 21    | 35                 | 1,391   | 45         | 14       | 19    | 12    | 514          | 832          |
| 長野   | 51                   | 63         | 14  | 49    | 91                 | 3,677   | 103        | 57       | 22    | 24    | 1,372        | 2,202        |
| 岐阜   | 70                   | 77         | 20  | 57    | 111                | 4,532   | 176        | 122      | 29    | 25    | 1,908        | 2,448        |
| 静岡   | 93                   | 106        | 16  | 90    | 152                | 7,116   | 111        | 62       | 29    | 20    | 3,668        | 3,337        |
| 愛知   | 181                  | 191        | 50  | 141   | 287                | 11,872  | 201        | 126      | 39    | 36    | 6,035        | 5,636        |
| 三重   | 51                   | 55         | 12  | 43    | 77                 | 4,097   | 273        | 242      | 12    | 19    | 1,709        | 2,115        |
| 滋賀   | 41                   | 43         | 9   | 34    | 61                 | 2,399   | 97         | 36       | 38    | 23    | 1,044        | 1,258        |
| 京都   | 62                   | 67         | 10  | 57    | 106                | 4,271   | 104        | 55       | 22    | 27    | 2,026        | 2,141        |
| 大阪   | 223                  | 275        | 62  | 213   | 419                | 17,016  | 361        | 185      | 62    | 114   | 8,617        | 8,038        |
| 兵庫   | 178                  | 201        | 48  | 153   | 277                | 10,300  | 200        | 83       | 44    | 73    | 4,237        | 5,863        |
| 奈良   | 35                   | 43         | 7   | 36    | 69                 | 2,022   | 52         | 21       | 21    | 10    | 855          | 1,115        |
| 和歌山  | 36                   | 44         | 4   | 40    | 67                 | 2,319   | 91         | 65       | 10    | 16    | 936          | 1,292        |
| 鳥取   | 14                   | 12         | 2   | 10    | 25                 | 1,111   | 27         | 3        | 11    | 13    | 473          | 611          |
| 鳥根   | 12                   | 19         | 1   | 18    | 33                 | 1,568   | 38         | 20       | 7     | 11    | 607          | 923          |
| 岡山   | 135                  | 140        | 43  | 97    | 165                | 4,936   | 292        | 230      | 35    | 27    | 1,625        | 3,019        |
| 広島   | 126                  | 141        | 36  | 105   | 160                | 6,707   | 170        | 43       | 52    | 75    | 2,944        | 3,593        |
| 山口   | 50                   | 69         | 15  | 54    | 80                 | 3,356   | 75         | 22       | 27    | 26    | 1,227        | 2,054        |
| 徳島   | 25                   | 30         | 7   | 23    | 36                 | 1,773   | 37         | 7        | 18    | 12    | 748          | 988          |
| 香川   | 36                   | 36         | 14  | 22    | 47                 | 2,315   | 81         | 9        | 45    | 27    | 955          | 1,279        |
| 愛媛   | 46                   | 49         | 14  | 35    | 75                 | 3,239   | 120        | 24       | 53    | 43    | 1,196        | 1,923        |
| 高知   | 23                   | 29         | 6   | 23    | 57                 | 2,007   | 70         | 12       | 31    | 27    | 834          | 1,103        |
| 福岡   | 129                  | 138        | 42  | 96    | 189                | 9,017   | 315        | 153      | 85    | 77    | 3,524        | 5,178        |
| 佐賀   | 15                   | 19         | 4   | 15    | 28                 | 1,569   | 103        | 34       | 53    | 16    | 525          | 941          |
| 長崎   | 82                   | 97         | 26  | 71    | 102                | 3,466   | 466        | 410      | 37    | 19    | 869          | 2,131        |
| 熊本   | 56                   | 62         | 28  | 34    | 58                 | 3,436   | 384        | 275      | 52    | 57    | 1,050        | 2,002        |
| 大分   | 27                   | 38         | 5   | 33    | 64                 | 2,665   | 130        | 67       | 42    | 21    | 896          | 1,639        |
| 宮崎   | 28                   | 35         | 9   | 26    | 48                 | 2,133   | 134        | 47       | 63    | 24    | 826          | 1,173        |
| 鹿児島  | 46                   | 56         | 15  | 41    | 77                 | 2,661   | 107        | 20       | 59    | 28    | 1,025        | 1,529        |
| 沖縄   | 22                   | 26         | 8   | 18    | 32                 | 1,010   | 65         | 14       | 32    | 19    | 438          | 507          |
| 合計   | 3,462                | 3,965      | 960 | 3,005 | 5,476              | 216,226 | 6,942      | 3,473    | 1,883 | 1,586 | 90,926       | 118,358      |

注) 表1注参照(死傷災害は労働者死傷病報告による)。厚生労働省資料により、全国労働安全衛生センター連絡会議が作成。

## 労働安全衛生をめぐる状況

表9 都道府県別の業務上疾病の新規支給決定件数(2014年度)

| 分類                             |       | 疾病分類項目   | 1    | 2   | 3  | 4   | 5  | 6  |
|--------------------------------|-------|--|------|-----|----|-----|----|----|
| 大                              | 小     |  | CODE | 北海道 | 青森 | 岩手  | 宮城 | 秋田 |
| 一 業務上の負傷に起因する疾病                |       |  | 300  | 32  | 60 | 107 | 21 | 62 |
|                                | 01    | 頭部又は顔面部の負傷による慢性硬膜下血腫、外傷性遅発性脳卒中、外傷性てんかん等の頭蓋内疾患                                      | 37   | 5   | 10 | 7   | 0  | 12 |
|                                | 02    | 脳、脊髄及び末梢神経等神経系の負傷による皮膚、筋肉、骨及び胸腹部臓器の疾患  | 3    | 1   | 2  | 0   | 0  | 0  |
|                                | 03    | 胸部又は腹部の負傷による胸膜炎、心膜炎、ヘルニア(横隔膜ヘルニア、腹膜癒痕ヘルニア等)等の胸腹部臓器の疾患                              | 14   | 4   | 2  | 3   | 0  | 0  |
|                                | 04    | 負傷(急激な力の作用による内部組織の負傷を含む)による腰痛  | 207  | 19  | 38 | 89  | 16 | 44 |
|                                | 05    | 脊柱又は四肢の負傷による破傷風等の細菌感染症(負傷による腰痛を除く)   | 11   | 1   | 0  | 1   | 1  | 0  |
|                                | 06    | 皮膚等の負傷による破傷風等の細菌感染症  | 10   | 2   | 2  | 1   | 0  | 0  |
|                                | 07    | 業務上の負傷又は異物の侵入、残留による眼疾患その他の臓器の疾患  | 14   | 0   | 3  | 5   | 1  | 6  |
|                                | 08    | 爆発その他事後的な事由による風圧、音響等に起因する業務性難聴等の耳の疾患   | 3    | 0   | 2  | 1   | 1  | 0  |
|                                | 99    | CODE01から08までに掲げるもの以外の業務上の負傷に起因する疾病   | 1    | 0   | 1  | 0   | 2  | 0  |
| 二 物理的因子による次に掲げる疾病              |       |  | 50   | 5   | 2  | 11  | 5  | 6  |
| (有害光線による疾病)                    |       |  |      |     |    |     |    |    |
| 1                              | 01    | 紫外線にさらされる業務による前眼部疾患又は皮膚疾患  | 1    | 0   | 0  | 0   | 0  | 0  |
| 2                              | 02    | 赤外線にさらされる業務による網膜火傷、白内障等の眼疾患又は皮膚疾患  | 0    | 0   | 0  | 0   | 0  | 0  |
| 3                              | 03    | レーザー光線にさらされる業務による網膜火傷等の眼疾患又は皮膚疾患   | 0    | 0   | 0  | 0   | 0  | 0  |
| 4                              | 04    | マイクロ波にさらされる業務による白内障等の眼疾患   | 0    | 0   | 0  | 1   | 0  | 0  |
| 5                              | 05    | 電離放射線にさらされる業務による急性放射線症、皮膚潰瘍等の放射線皮膚障害、白内障等の放射線眼疾患、放射線肺炎、再生不良性貧血等の造血器障害、骨壊死その他の放射線障害 | 0    | 0   | 0  | 0   | 0  | 0  |
|                                |       | (皮膚障害)   |      |     |    |     |    |    |
|                                |       | (白内障)  |      |     |    |     |    |    |
|                                |       | (急性放射線症)   |      |     |    |     |    |    |
|                                |       | (再生不良性貧血)  |      |     |    |     |    |    |
|                                |       | (造血器障害)  |      |     |    |     |    |    |
|                                |       | (異常気圧による疾病)  |      |     |    |     |    |    |
| 6                              | 06    | 高圧室内作業又は潜水作業に係る業務による潜函病又は潜水病   | 1    | 1   | 0  | 0   | 0  | 0  |
| 7                              | 07    | 気圧の低い場所における業務による高山病又は航空減圧症   | 0    | 0   | 0  | 0   | 0  | 0  |
|                                |       | (異常温度条件による疾病)  |      |     |    |     |    |    |
| 8                              | 08    | 暑熱な場所における業務による熱中症  | 6    | 1   | 1  | 7   | 2  | 2  |
| 9                              | 09    | 高熱物体を取り扱う業務による熱傷   | 0    | 0   | 0  | 1   | 0  | 2  |
| 10                             | 10    | 寒冷な場所における業務又は低温物体を取り扱う業務による凍傷  | 9    | 0   | 0  | 1   | 1  | 0  |
| 11                             | 11    | 著しい騒音を発する場所における業務による難聴等の耳の疾患   | 33   | 3   | 1  | 1   | 2  | 2  |
| 12                             | 12    | 超音波にさらされる業務による手指等の組織壊死   | 0    | 0   | 0  | 0   | 0  | 0  |
| 13                             | 99    | 1から12までに掲げるもののほか、これらの疾病に付随する疾病その他物理的因子にさらされる業務に起因することの明らかな疾病                       | 0    | 0   | 0  | 0   | 0  | 0  |
| 三 身体に過度の負担のかかる作業態様に起因する次に掲げる疾病 |       |  | 119  | 7   | 15 | 26  | 8  | 17 |
| 1                              | 01    | 重激な業務による筋肉、腱、骨若しくは関節の疾患又は内臓脱(腰痛を除く)  | 9    | 3   | 0  | 3   | 0  | 0  |
| 2                              | 02    | 重量物を取り扱う業務、腰部に過度の負担を与える不自然な作業姿勢により行う業務その他腰部に過度の負担のかかる業務による腰痛(負傷に起因する腰痛を除く)         | 1    | 0   | 0  | 0   | 0  | 0  |
| 3                              | 03    | さく岩機、銀打ち機、チェーンソー等の機械器具の使用により身体に振動を与える業務による手指、前腕等の抹梢循環障害、抹梢神経障害又は運動器障害              | 52   | 2   | 2  | 9   | 1  | 4  |
| 4                              | 04-09 | 電子計算機への入力を反復して行う業務その他上肢に過度の負担のかかる業務による後頭部、頸部、肩甲帯、上腕、前腕又は手指の運動器障害                   | 57   | 2   | 13 | 11  | 7  | 13 |
| 5                              | 99    | 1から4までに掲げるもののほか、これらの疾病に付随する疾病その他身体に過度の負担のかかる作業態様の業務に起因することの明らかな疾病                  | 0    | 0   | 0  | 3   | 0  | 0  |

| 7  | 8   | 9  | 10 | 11  | 12  | 13  | 14  | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23  | 24 |
|----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 福島 | 茨城  | 栃木 | 群馬 | 埼玉  | 千葉  | 東京  | 神奈川 | 新潟 | 富山 | 石川 | 福井 | 山梨 | 長野 | 岐阜 | 静岡 | 愛知  | 三重 |
| 82 | 100 | 34 | 67 | 361 | 161 | 273 | 230 | 54 | 22 | 37 | 6  | 34 | 89 | 62 | 64 | 168 | 92 |
| 20 | 8   | 8  | 14 | 31  | 19  | 33  | 22  | 6  | 5  | 3  | 1  | 1  | 11 | 13 | 13 | 26  | 11 |
| 0  | 1   | 0  | 2  | 5   | 0   | 5   | 5   | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 1  | 4  | 6   | 1  |
| 2  | 7   | 1  | 0  | 9   | 6   | 8   | 16  | 2  | 1  | 1  | 2  | 2  | 0  | 1  | 3  | 6   | 3  |
| 45 | 77  | 14 | 42 | 285 | 112 | 189 | 148 | 45 | 15 | 24 | 3  | 27 | 66 | 32 | 27 | 89  | 67 |
| 0  | 0   | 1  | 1  | 5   | 3   | 6   | 3   | 0  | 0  | 2  | 0  | 0  | 3  | 1  | 1  | 1   | 0  |
| 1  | 0   | 1  | 2  | 7   | 9   | 14  | 18  | 0  | 1  | 1  | 0  | 2  | 3  | 2  | 3  | 12  | 3  |
| 9  | 6   | 9  | 5  | 17  | 12  | 15  | 15  | 1  | 0  | 5  | 0  | 2  | 6  | 6  | 13 | 27  | 5  |
| 3  | 1   | 0  | 1  | 2   | 0   | 3   | 3   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 6  | 0  | 1   | 1  |
| 2  | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1  |
| 14 | 18  | 11 | 5  | 39  | 27  | 60  | 57  | 15 | 8  | 6  | 7  | 7  | 8  | 8  | 10 | 25  | 10 |
|    |     |    |    |     |     |     |     |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |
| 0  | 0   | 0  | 0  | 0   | 1   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0   | 0  |
| 0  | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 0  |
| 0  | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  |
| 0  | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  |
| 0  | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  |
|    |     |    |    |     |     |     |     |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |
|    |     |    |    |     |     |     |     |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |
|    |     |    |    |     |     |     |     |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |
|    |     |    |    |     |     |     |     |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |
| 0  | 0   | 0  | 0  | 1   | 0   | 2   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  |
| 1  | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 6   | 1   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  |
|    |     |    |    |     |     |     |     |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |
| 9  | 16  | 8  | 5  | 31  | 19  | 45  | 17  | 11 | 5  | 3  | 2  | 5  | 2  | 5  | 8  | 14  | 5  |
| 0  | 0   | 0  | 0  | 0   | 5   | 0   | 1   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  |
| 1  | 1   | 0  | 0  | 5   | 2   | 3   | 1   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 1  | 1   | 1  |
| 3  | 1   | 3  | 0  | 2   | 0   | 4   | 37  | 4  | 3  | 3  | 5  | 2  | 5  | 2  | 1  | 9   | 4  |
| 0  | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  |
| 0  | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  |
| 21 | 27  | 4  | 13 | 53  | 209 | 118 | 120 | 52 | 1  | 16 | 5  | 9  | 14 | 10 | 20 | 46  | 15 |
| 0  | 4   | 0  | 1  | 12  | 121 | 2   | 13  | 7  | 0  | 2  | 0  | 1  | 2  | 2  | 3  | 7   | 0  |
| 2  | 2   | 0  | 0  | 1   | 8   | 4   | 2   | 1  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 1  | 2   | 1  |
| 1  | 0   | 3  | 1  | 2   | 1   | 5   | 4   | 4  | 1  | 5  | 1  | 2  | 4  | 1  | 3  | 10  | 11 |
| 18 | 21  | 1  | 11 | 38  | 78  | 107 | 100 | 40 | 0  | 9  | 4  | 5  | 8  | 7  | 13 | 27  | 3  |
| 0  | 0   | 0  | 0  | 0   | 1   | 0   | 1   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  |

## 労働安全衛生をめぐる状況

| 分類                                    |       | 疾病分類項目   | 25        | 26         | 27         | 28         | 29        | 30        |
|---------------------------------------|-------|--|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|
| 大                                     | 小     |  | CODE      | 滋賀         | 京都         | 大阪         | 兵庫        | 奈良        |
| <b>一 業務上の負傷に起因する疾病</b>                |       |  | <b>63</b> | <b>120</b> | <b>455</b> | <b>148</b> | <b>41</b> | <b>36</b> |
|                                       | 01    | 頭部又は顔面部の負傷による慢性硬膜下血腫、外傷性遅発性脳卒中、外傷性てんかん等の頭蓋内疾患                                      | 13        | 13         | 39         | 21         | 9         | 2         |
|                                       | 02    | 脳、脊髄及び末梢神経等神経系の負傷による皮膚、筋肉、骨及び胸腹部臓器の疾患  | 1         | 1          | 4          | 2          | 0         | 0         |
|                                       | 03    | 胸部又は腹部の負傷による胸膜炎、心膜炎、ヘルニア(横隔膜ヘルニア、腹膜癒着ヘルニア等)等の胸腹部臓器の疾患                              | 4         | 7          | 21         | 2          | 1         | 1         |
|                                       | 04    | 負傷(急激な力の作用による内部組織の負傷を含む)による腰痛  | 37        | 86         | 338        | 99         | 25        | 28        |
|                                       | 05    | 脊柱又は四肢の負傷による破傷風等の細菌感染症(負傷による腰痛を除く)   | 0         | 2          | 9          | 8          | 1         | 0         |
|                                       | 06    | 皮膚等の負傷による破傷風等の細菌感染症  | 0         | 5          | 19         | 8          | 0         | 2         |
|                                       | 07    | 業務上の負傷又は異物の侵入、残留による眼疾患その他の臓器の疾患  | 7         | 5          | 24         | 7          | 4         | 2         |
|                                       | 08    | 爆発その他事放的な事由による風圧、音響等に起因する業務性難聴等の耳の疾患   | 1         | 1          | 1          | 1          | 0         | 0         |
|                                       | 99    | CODE01から08までに掲げるもの以外の業務上の負傷に起因する疾病   | 0         | 0          | 0          | 0          | 1         | 1         |
| <b>二 物理的因子による次に掲げる疾病</b>              |       |  | <b>6</b>  | <b>12</b>  | <b>28</b>  | <b>48</b>  | <b>3</b>  | <b>2</b>  |
| (有害光線による疾病)                           |       |  |           |            |            |            |           |           |
| 1                                     | 01    | 紫外線にさらされる業務による前眼部疾患又は皮膚疾患  | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0         |
| 2                                     | 02    | 赤外線にさらされる業務による網膜火傷、白内障等の眼疾患又は皮膚疾患  | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0         |
| 3                                     | 03    | レーザー光線にさらされる業務による網膜火傷等の眼疾患又は皮膚疾患   | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0         |
| 4                                     | 04    | マイクロ波にさらされる業務による白内障等の眼疾患   | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0         |
| 5                                     | 05    | 電離放射線にさらされる業務による急性放射線症、皮膚潰瘍等の放射線皮膚障害、白内障等の放射線眼疾患、放射線肺炎、再生不良性貧血等の造血器障害、骨壊死その他の放射線障害 | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0         |
|                                       |       | (皮膚障害)   |           |            |            |            |           |           |
|                                       |       | (白内障)  |           |            |            |            |           |           |
|                                       |       | (急性放射線症)   |           |            |            |            |           |           |
|                                       |       | (再生不良性貧血)  |           |            |            |            |           |           |
|                                       |       | (造血器障害)  |           |            |            |            |           |           |
|                                       |       | (異常気圧による疾病)  |           |            |            |            |           |           |
| 6                                     | 06    | 高圧室内作業又は潜水作業に係る業務による潜函病又は潜水病   | 0         | 0          | 0          | 2          | 0         | 0         |
| 7                                     | 07    | 気圧の低い場所における業務による高山病又は航空減圧症   | 0         | 0          | 0          | 2          | 0         | 0         |
|                                       |       | (異常温度条件による疾病)  |           |            |            |            |           |           |
| 8                                     | 08    | 暑熱な場所における業務による熱中症  | 3         | 6          | 18         | 15         | 2         | 2         |
| 9                                     | 09    | 高熱物体を取り扱う業務による熱傷   | 1         | 0          | 6          | 1          | 1         | 0         |
| 10                                    | 10    | 寒冷な場所における業務又は低温物体を取り扱う業務による凍傷  | 0         | 3          | 1          | 2          | 0         | 0         |
| 11                                    | 11    | 著しい騒音を発する場所における業務による難聴等の耳の疾患   | 2         | 3          | 3          | 26         | 0         | 0         |
| 12                                    | 12    | 超音波にさらされる業務による手指等の組織壊死   | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0         |
| 13                                    | 99    | 1から12までに掲げるもののほか、これらの疾病に付随する疾病その他物理的因子にさらされる業務に起因することの明らかな疾病                       | 0         | 0          | 0          | 0          | 0         | 0         |
| <b>三 身体に過度の負担のかかる作業態様に起因する次に掲げる疾病</b> |       |  | <b>34</b> | <b>31</b>  | <b>78</b>  | <b>34</b>  | <b>10</b> | <b>6</b>  |
| 1                                     | 01    | 重激な業務による筋肉、腱、骨若しくは関節の疾患又は内臓脱(腰痛を除く)  | 1         | 6          | 11         | 1          | 0         | 0         |
| 2                                     | 02    | 重量物を取り扱う業務、腰部に過度の負担を与える不自然な作業姿勢により行う業務その他腰部に過度の負担のかかる業務による腰痛(負傷に起因する腰痛を除く)         | 6         | 2          | 7          | 4          | 1         | 0         |
| 3                                     | 03    | さく岩機、鋸打ち機、チェーンソー等の機械器具の使用により身体に振動を与える業務による手指、前腕等の末梢循環障害、末梢神経障害又は運動器障害              | 0         | 7          | 5          | 1          | 2         | 4         |
| 4                                     | 04-09 | 電子計算機への入力を反復して行う業務その他上肢に過度の負担のかかる業務による後頭部、頸部、肩甲帯、上腕、前腕又は手指の運動器障害                   | 27        | 16         | 54         | 28         | 7         | 2         |
| 5                                     | 99    | 1から4までに掲げるもののほか、これらの疾病に付随する疾病その他身体に過度の負担のかかる作業態様の業務に起因することの明らかな疾病                  | 0         | 0          | 1          | 0          | 0         | 0         |

| 31<br>鳥取 | 32<br>島根 | 33<br>岡山 | 34<br>広島 | 35<br>山口 | 36<br>徳島 | 37<br>香川 | 38<br>愛媛 | 39<br>高知 | 40<br>福岡 | 41<br>佐賀 | 42<br>長崎 | 43<br>熊本 | 44<br>大分 | 45<br>宮崎 | 46<br>鹿児島 | 47<br>沖縄 | 合計    |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|-------|
| 19       | 30       | 51       | 95       | 27       | 59       | 44       | 65       | 56       | 273      | 31       | 59       | 61       | 51       | 64       | 85        | 60       | 4,511 |
| 2        | 3        | 4        | 5        | 3        | 2        | 4        | 4        | 2        | 19       | 4        | 10       | 5        | 9        | 5        | 9         | 5        | 508   |
| 0        | 0        | 0        | 1        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 4        | 1        | 0        | 1        | 2        | 2        | 1         | 1        | 58    |
| 0        | 3        | 4        | 0        | 0        | 1        | 1        | 2        | 2        | 10       | 1        | 2        | 0        | 1        | 2        | 1         | 1        | 160   |
| 13       | 19       | 36       | 82       | 18       | 52       | 36       | 50       | 42       | 213      | 21       | 36       | 35       | 36       | 40       | 67        | 41       | 3,170 |
| 1        | 0        | 1        | 0        | 0        | 2        | 0        | 1        | 1        | 4        | 0        | 0        | 8        | 0        | 0        | 0         | 2        | 81    |
| 0        | 0        | 1        | 0        | 1        | 0        | 1        | 3        | 4        | 4        | 0        | 5        | 2        | 1        | 3        | 1         | 6        | 160   |
| 2        | 3        | 4        | 5        | 4        | 2        | 2        | 4        | 5        | 19       | 4        | 6        | 10       | 2        | 10       | 5         | 3        | 321   |
| 0        | 0        | 1        | 2        | 0        | 0        | 0        | 1        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 1        | 0         | 0        | 37    |
| 1        | 2        | 0        | 0        | 1        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 1        | 1         | 1        | 16    |
| 1        | 4        | 8        | 21       | 6        | 6        | 9        | 21       | 4        | 18       | 2        | 20       | 11       | 10       | 28       | 20        | 6        | 708   |
| 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0         | 0        | 3     |
| 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0         | 0        | 1     |
| 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0         | 0        | 0     |
| 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0         | 0        | 1     |
| 0        | 0        | 1        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0         | 0        | 1     |
|          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |           |          |       |
|          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |           |          |       |
|          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |           |          |       |
|          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |           |          |       |
| 0        | 0        | 0        | 1        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 1        | 1        | 0        | 0         | 2        | 12    |
| 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0         | 1        | 11    |
| 0        | 2        | 5        | 8        | 2        | 1        | 3        | 2        | 2        | 14       | 1        | 1        | 1        | 4        | 3        | 6         | 2        | 332   |
| 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 1        | 0        | 0        | 0        | 1        | 0        | 2        | 0        | 0        | 0        | 0         | 0        | 22    |
| 0        | 0        | 0        | 3        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 1        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0         | 0        | 38    |
| 1        | 2        | 2        | 9        | 4        | 4        | 6        | 19       | 2        | 2        | 1        | 17       | 9        | 5        | 25       | 14        | 1        | 287   |
| 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0         | 0        | 0     |
| 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0         | 0        | 0     |
| 5        | 4        | 6        | 26       | 9        | 6        | 6        | 12       | 24       | 36       | 8        | 14       | 15       | 11       | 54       | 20        | 12       | 1,406 |
| 0        | 0        | 1        | 4        | 3        | 2        | 0        | 0        | 4        | 6        | 2        | 5        | 0        | 0        | 2        | 2         | 2        | 244   |
| 0        | 1        | 0        | 1        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 1        | 0        | 0         | 3        | 52    |
| 2        | 2        | 1        | 7        | 1        | 1        | 1        | 11       | 10       | 7        | 3        | 8        | 14       | 3        | 47       | 12        | 3        | 281   |
| 3        | 1        | 4        | 14       | 5        | 3        | 5        | 1        | 10       | 23       | 3        | 1        | 1        | 7        | 5        | 6         | 4        | 823   |
| 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0         | 0        | 6     |

## 労働安全衛生をめぐる状況

| 分類 |       | 疾病分類項目  | 1    | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   |
|----|-------|---|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 大  | 小     |   | CODE | 北海道 | 青森  | 岩手  | 宮城  | 秋田  |
| 四  |       | 化学物質等による次に掲げる疾病   | 19   | 1   | 1   | 9   | 0   | 3   |
| 1  | 01    | 労働大臣の指定する単体たる化学物質及び化合物（合金を含む）にさらされる業務による疾病であって、労働大臣が定めるもの                               | 2    | 1   | 0   | 1   | 0   | 1   |
| 2  | 02    | フッ素樹脂の熱分解生成物にさらされる業務による悪寒、発熱等の症状を伴う呼吸器疾患  | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
|    | 03    | 塩化ビニル樹脂、アクリル樹脂等の合成樹脂の熱分解生成物にさらされる業務による眼粘膜及び気道粘膜の炎症等の疾患                                  | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 3  | 04    | すず、鉱物油、うるし、タール、セメント、アミン系の樹脂硬化剤等にさらされる業務による皮膚疾患  | 1    | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   |
| 4  | 05    | 蛋白分解酵素にさらされる業務による皮膚炎、結膜炎又は鼻炎、気管支喘息等の呼吸器疾患   | 1    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 5  | 06    | 木材の粉じん、獣毛のじんあい等を飛散する場合における業務又は抗生物質等にさらされる業務によるアレルギー性の鼻炎、気管支喘息等の呼吸器疾患                    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 6  | 07    | 落綿等の粉じんを飛散する場所における業務による呼吸器疾患  | 1    | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   |
| 7  |       | 石綿にさらされる業務による良性石綿胸水又はびまん性胸膜肥厚   | 5    | 0   | 0   | 5   | 0   | 2   |
|    | 08    | （良性石綿胸水）  | （1）  |     |     | （2） |     | （1） |
|    | 09    | （びまん性胸膜肥厚）  | （4）  |     |     | （3） |     | （1） |
| 8  | 10    | 空気中の酸素濃度の低い場所における業務による酸素欠乏症   | 7    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 9  | 99    | 1から8までに掲げるもののほか、これらの疾病に付随する疾病その他化学物質等にさらされる業務に起因することの明らかな疾病                             | 2    | 0   | 0   | 2   | 0   | 0   |
| 五  | 56    | 粉じんを飛散する場合における業務によるじん肺症又はじん肺法（昭和35年法律第30号）に規定するじん肺と併したじん肺法施行規則（昭和35年労働省令第6号）第1条各号に掲げる疾病 | 51   | 2   | 1   | 10  | 2   | 8   |
|    | 01    | （管理4）   | （19） |     |     | （1） |     | （5） |
|    | 02    | （肺結核）   | （2）  |     |     |     |     |     |
|    | 03    | （結核性胸膜炎）  |      |     |     |     |     |     |
|    | 04    | （続発性気管支炎）   | （23） | （2） |     | （8） | （1） | （1） |
|    | 05    | （続発性気管支拡張症）   |      |     |     |     |     |     |
|    | 06    | （続発性気胸）   | （2）  |     | （1） |     |     |     |
|    | 07    | （原発性肺がん）  | （5）  |     |     | （1） | （1） | （2） |
| 六  |       | 細菌、ウイルス等の病原体による次に掲げる疾病  | 5    | 1   | 0   | 4   | 0   | 6   |
| 1  | 01-04 | 患者の診療若しくは看護の業務、介護の業務又は研究その他の目的で病原体を取り扱う業務による伝染性疾患                                       | 3    | 0   | 0   | 4   | 0   | 6   |
|    | 01    | （患者の診療の業務）  |      |     |     |     |     |     |
|    | 02    | （患者の看護の業務）  |      |     |     |     |     |     |
|    | 03    | （介護の業務）   |      |     |     |     |     |     |
|    | 04    | （研究その他の目的で病原体を取り扱う業務）   |      |     |     |     |     |     |
| 2  | 05    | 動物若しくはその死体、獣毛、革その他動物性の物又はほら等の古物を取り扱う業務によるブルセラ症、炭疽病等の伝染性疾患                               | 1    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 3  | 06    | 湿潤地における業務によるワイル病等のレプトスピラ症   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 4  | 07    | 屋外における業務による恙虫病  | 1    | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 5  | 99    | 1から4までに掲げるもののほか、これらの疾患に付随する疾患その他細菌、ウイルス等の病原体にさらされる業務に起因することの明らかな疾病                      | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 七  |       | がん原性物質若しくはがん原性因子又はがん原性工程における業務による次に掲げる疾病  | 54   | 3   | 3   | 13  | 1   | 10  |
| 1  | 01    | ベンジジンにさらされる業務による尿路系腫瘍   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 2  | 02    | ペーターナフチルアミンにさらされる業務による尿路系腫瘍   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 3  | 03    | 4-アミノジフェニルにさらされる業務による尿路系腫瘍  | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 4  | 04    | 4-ニトロジフェニルにさらされる業務による尿路系腫瘍  | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 5  | 05    | ビス（クロロメチル）エーテルにさらされる業務による肺がん  | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 6  | 06    | ベンゾトリクロライドにさらされる業務による肺がん  | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |

| 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 13   | 14   | 15  | 16  | 17  | 18  | 19 | 20  | 21  | 22  | 23   | 24  |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|------|-----|
| 福島  | 茨城  | 栃木  | 群馬  | 埼玉  | 千葉  | 東京   | 神奈川  | 新潟  | 富山  | 石川  | 福井  | 山梨 | 長野  | 岐阜  | 静岡  | 愛知   | 三重  |
| 2   | 2   | 0   | 3   | 7   | 4   | 19   | 12   | 5   | 8   | 2   | 2   | 1  | 2   | 1   | 6   | 8    | 3   |
| 1   | 2   | 0   | 1   | 1   | 1   | 5    | 2    | 3   | 4   | 1   | 1   | 1  | 1   | 0   | 5   | 2    | 2   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |
| 1   | 0   | 0   | 1   | 0   | 1   | 1    | 0    | 0   | 1   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 1    | 0   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1    | 0    | 1   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 1   | 0   | 0   | 0    | 0   |
| 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 1   | 4    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 3   | 1   | 8    | 7    | 1   | 2   | 0   | 1   | 0  | 0   | 1   | 1   | 3    | 0   |
|     |     |     |     | (1) | (1) | (1)  | (1)  |     |     |     | (1) |    |     |     | (1) | (2)  |     |
|     |     |     |     | (2) |     | (7)  | (6)  | (1) | (2) |     |     |    |     | (1) |     | (1)  |     |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 2    | 0   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0    | 3    | 0   | 1   | 1   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0    | 1   |
| 8   | 6   | 6   | 4   | 6   | 5   | 36   | 32   | 10  | 5   | 3   | 6   | 0  | 4   | 10  | 6   | 38   | 4   |
| (2) | (4) | (3) | (3) | (5) |     | (6)  | (5)  | (2) | (2) |     | (3) |    |     | (1) |     | (13) | (2) |
| (1) |     |     |     |     |     | (1)  |      |     |     |     |     |    |     |     |     | (1)  | (1) |
|     |     |     |     |     |     |      |      |     |     |     |     |    |     |     |     | (2)  |     |
| (4) | (1) | (2) | (1) |     | (2) | (28) | (23) | (2) | (1) | (3) | (3) |    | (4) | (7) | (4) | (6)  |     |
|     |     |     |     |     |     |      | (1)  |     |     |     |     |    |     |     |     |      |     |
| (1) |     |     |     |     | (2) |      |      |     |     |     |     |    |     |     |     |      | (7) |
|     | (1) | (1) |     | (1) | (1) | (1)  | (3)  | (6) | (2) |     |     |    |     | (2) | (2) | (9)  | (1) |
| 2   | 3   | 2   | 1   | 11  | 7   | 18   | 12   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 2   | 2   | 4   | 11   | 2   |
| 1   | 3   | 2   | 1   | 9   | 4   | 8    | 7    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 2   | 1   | 2   | 11   | 2   |
|     |     |     |     |     |     |      |      |     |     |     |     |    |     |     |     |      |     |
|     |     |     |     |     |     |      |      |     |     |     |     |    |     |     |     |      |     |
|     |     |     |     |     |     |      |      |     |     |     |     |    |     |     |     |      |     |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 1    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |
| 1   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 1    | 3    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 1   | 0   | 0    | 0   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 3   | 9    | 1    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 2   | 0    | 0   |
| 8   | 12  | 3   | 3   | 30  | 20  | 116  | 90   | 11  | 11  | 3   | 7   | 4  | 8   | 6   | 21  | 51   | 9   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |
| 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   |

## 労働安全衛生をめぐる状況

| 分類 |       | 疾病分類項目  | 25  | 26  | 27   | 28  | 29  | 30  |
|----|-------|---|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 大  | 小     |   | 滋賀  | 京都  | 大阪   | 兵庫  | 奈良  | 和歌山 |
| 四  |       | 化学物質等による次に掲げる疾病   | 3   | 3   | 10   | 23  | 0   | 1   |
| 1  | 01    | 労働大臣の指定する単体たる化学物質及び化合物（合金を含む）にさらされる業務による疾病であって、労働大臣が定めるもの                               | 2   | 1   | 3    | 13  | 0   | 0   |
| 2  | 02    | フッ素樹脂の熱分解生成物にさらされる業務による悪寒、発熱等の症状を伴う呼吸器疾患  | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
|    | 03    | 塩化ビニル樹脂、アクリル樹脂等の合成樹脂の熱分解生成物にさらされる業務による眼粘膜及び気道粘膜の炎症等の疾患                                  | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
| 3  | 04    | すす、鉱物油、うるし、タール、セメント、アミン系の樹脂硬化剤等にさらされる業務による皮膚疾患  | 0   | 0   | 1    | 1   | 0   | 0   |
| 4  | 05    | 蛋白分解酵素にさらされる業務による皮膚炎、結膜炎又は鼻炎、気管支喘息等の呼吸器疾患   | 0   | 0   | 0    | 1   | 0   | 0   |
| 5  | 06    | 木材の粉じん、獣毛のじんあい等を飛散する場合における業務又は抗生物質等にさらされる業務によるアレルギー性の鼻炎、気管支喘息等の呼吸器疾患                    | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
| 6  | 07    | 落綿等の粉じんを飛散する場所における業務による呼吸器疾患  | 0   | 2   | 2    | 0   | 0   | 0   |
| 7  |       | 石綿にさらされる業務による良性石綿胸水又はびまん性胸膜肥厚   | 1   | 0   | 1    | 7   | 0   | 1   |
|    | 08    | （良性石綿胸水）  | (1) |     |      | (3) |     |     |
|    | 09    | （びまん性胸膜肥厚）  |     |     | (1)  | (4) |     | (1) |
| 8  | 10    | 空気中の酸素濃度の低い場所における業務による酸素欠乏症   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
| 9  | 99    | 1から8までに掲げるもののほか、これらの疾病に付随する疾病その他化学物質等にさらされる業務に起因することの明らかな疾病                             | 0   | 0   | 3    | 1   | 0   | 0   |
| 五  | 56    | 粉じんを飛散する場合における業務によるじん肺症又はじん肺法（昭和35年法律第30号）に規定するじん肺と併したじん肺法施行規則（昭和35年労働省令第6号）第1条各号に掲げる疾病 | 0   | 3   | 25   | 17  | 3   | 5   |
|    | 01    | （管理4）   |     | (2) | (15) | (4) | (1) | (1) |
|    | 02    | （肺結核）   |     |     |      |     |     |     |
|    | 03    | （結核性胸膜炎）  |     |     |      |     |     |     |
|    | 04    | （続発性気管支炎）   |     |     | (4)  | (6) | (1) | (2) |
|    | 05    | （続発性気管支拡張症）   |     |     |      |     |     |     |
|    | 06    | （続発性気胸）   |     | (1) |      |     | (1) | (2) |
|    | 07    | （原発性肺がん）  |     |     | (6)  | (7) |     |     |
| 六  |       | 細菌、ウイルス等の病原体による次に掲げる疾病  | 1   | 2   | 15   | 4   | 2   | 4   |
| 1  | 01-04 | 患者の診療若しくは看護の業務、介護の業務又は研究その他の目的で病原体を取り扱う業務による伝染性疾患                                       | 0   | 2   | 12   | 3   | 2   | 2   |
|    | 01    | （患者の診療の業務）  |     |     |      |     |     |     |
|    | 02    | （患者の看護の業務）  |     |     |      |     |     |     |
|    | 03    | （介護の業務）   |     |     |      |     |     |     |
|    | 04    | （研究その他の目的で病原体を取り扱う業務）   |     |     |      |     |     |     |
| 2  | 05    | 動物若しくはその死体、獣毛、革その他動物性の物又はほら等の古物を取り扱う業務によるブルセラ症、炭疽病等の伝染性疾患                               | 1   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
| 3  | 06    | 湿潤地における業務によるワイル病等のレプトスピラ症   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
| 4  | 07    | 屋外における業務による恙虫病  | 0   | 0   | 2    | 1   | 0   | 2   |
| 5  | 99    | 1から4までに掲げるもののほか、これらの疾患に付随する疾患その他細菌、ウイルス等の病原体にさらされる業務に起因することの明らかな疾病                      | 0   | 0   | 1    | 0   | 0   | 0   |
| 七  |       | がん原性物質若しくはがん原性因子又はがん原性工程における業務による次に掲げる疾病  | 13  | 22  | 93   | 73  | 7   | 2   |
| 1  | 01    | ベンジジンにさらされる業務による尿路系腫瘍   | 0   | 0   | 1    | 0   | 0   | 0   |
| 2  | 02    | ペーターナフチルアミンにさらされる業務による尿路系腫瘍   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
| 3  | 03    | 4-アミノジフェニルにさらされる業務による尿路系腫瘍  | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
| 4  | 04    | 4-ニトロジフェニルにさらされる業務による尿路系腫瘍  | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
| 5  | 05    | ビス（クロロメチル）エーテルにさらされる業務による肺がん  | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |
| 6  | 06    | ベンゾトリクロライドにさらされる業務による肺がん  | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   |

| 31  | 32  | 33   | 34  | 35  | 36  | 37  | 38   | 39  | 40  | 41  | 42   | 43  | 44  | 45  | 46  | 47  | 合計    |
|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 鳥取  | 島根  | 岡山   | 広島  | 山口  | 徳島  | 香川  | 愛媛   | 高知  | 福岡  | 佐賀  | 長崎   | 熊本  | 大分  | 宮崎  | 鹿児島 | 沖縄  |       |
| 0   | 3   | 10   | 20  | 4   | 1   | 2   | 2    | 2   | 9   | 0   | 8    | 1   | 2   | 0   | 1   | 3   | 228   |
| 0   | 1   | 0    | 15  | 2   | 1   | 0   | 1    | 1   | 1   | 0   | 2    | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 82    |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 1   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 11    |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   | 5     |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 2     |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 1   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 13    |
| 0   | 0   | 9    | 5   | 2   | 0   | 2   | 1    | 0   | 6   | 0   | 5    | 0   | 1   | 0   | 0   | 1   | 82    |
|     |     | (4)  | (3) | (1) |     | (1) | (1)  |     | (4) |     | (1)  |     | (1) |     |     |     | (32)  |
|     |     | (5)  | (2) | (1) |     | (1) |      |     | (2) |     | (4)  |     |     |     |     | (1) | (50)  |
| 0   | 0   | 1    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 1    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 12    |
| 0   | 2   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 1   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 1   | 2   | 21    |
| 2   | 2   | 29   | 8   | 7   | 1   | 1   | 13   | 2   | 11  | 8   | 28   | 1   | 4   | 1   | 3   | 1   | 438   |
| (1) | (1) | (10) | (3) | (3) | (1) |     |      | (1) | (5) | (1) | (3)  |     | (3) |     |     | (1) | (132) |
|     |     |      |     |     |     |     | (1)  |     |     |     |      |     |     |     |     |     | (7)   |
|     |     |      |     |     |     |     |      |     |     |     | (1)  |     |     |     |     |     | (3)   |
| (1) |     | (16) | (2) | (4) |     | (1) | (12) | (1) | (3) | (5) | (18) | (1) | (1) | (1) | (3) |     | (208) |
|     |     |      | (1) |     |     |     |      |     |     |     |      |     |     |     |     |     | (2)   |
|     |     | (1)  | (2) |     |     |     |      |     |     |     | (1)  |     |     |     |     |     | (21)  |
|     | (1) | (2)  |     |     |     |     |      |     | (3) | (2) | (5)  |     |     |     |     |     | (65)  |
| 0   | 1   | 3    | 1   | 0   | 1   | 4   | 2    | 0   | 1   | 2   | 1    | 0   | 0   | 0   | 1   | 4   | 142   |
| 0   | 0   | 3    | 1   | 0   | 0   | 4   | 2    | 0   | 1   | 2   | 1    | 0   | 0   | 0   | 1   | 1   | 103   |
|     |     |      |     |     |     |     |      |     |     |     |      |     |     |     |     |     |       |
|     |     |      |     |     |     |     |      |     |     |     |      |     |     |     |     |     |       |
|     |     |      |     |     |     |     |      |     |     |     |      |     |     |     |     |     |       |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 3     |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 3   | 3     |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 1   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 15    |
| 0   | 1   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 18    |
| 2   | 3   | 35   | 54  | 21  | 0   | 19  | 10   | 1   | 23  | 2   | 28   | 5   | 8   | 3   | 7   | 5   | 933   |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 1    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 2     |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 1    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1     |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
| 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |

## 労働安全衛生をめぐる状況

| 分類 |                       | 疾病分類項目  | 1     | 2    | 3    | 4     | 5    | 6    |
|----|-----------------------|---|-------|------|------|-------|------|------|
| 大  | 小 CODE                |   | 北海道   | 青森   | 岩手   | 宮城    | 秋田   | 山形   |
| 8  |                       | 石綿にさらされる業務による肺がん又は中皮腫   | 54    | 3    | 3    | 13    | 1    | 10   |
|    | 07                    | (石綿に曝される業務による肺がん)   | (23)  | (1)  | (2)  | (5)   |      | (6)  |
|    | 08                    | (石綿に曝される業務による中皮腫)   | (31)  | (2)  | (1)  | (8)   | (1)  | (4)  |
| 9  | 09                    | ベンゼンにさらされる業務による白血病  | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
| 10 | 10-11                 | 塩化ビニルにさらされる業務による肝血管肉腫又は肝細胞がん  | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
| 13 |                       | 電離放射線にさらされる業務による白血病、肺がん、皮膚がん、骨肉腫、甲状腺がん、多発性骨髄腫又は非ホジキンリンパ腫  | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
|    | 12                    | (白血病)   |       |      |      |       |      |      |
|    | 13                    | (肺がん)   |       |      |      |       |      |      |
|    | 14                    | (皮膚がん)  |       |      |      |       |      |      |
|    | 15                    | (骨肉腫)   |       |      |      |       |      |      |
|    | 16                    | (甲状腺がん)   |       |      |      |       |      |      |
|    | 17                    | (多発性骨髄腫)  |       |      |      |       |      |      |
| 18 | (非ホジキンリンパ腫)           |   |       |      |      |       |      |      |
| 14 | 19                    | オーラミンを製造する工程における業務による尿路系腫瘍  | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
| 15 | 20                    | マゼンタを製造する工程における業務による尿路系腫瘍   | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
| 16 | 21                    | コークス又は発生炉ガスを製造する工程における業務による肺がん  | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
| 17 | 22                    | クロム酸塩又は重クロム酸塩を製造する工程における業務による肺がん又は上気道のがん  | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
| 18 | 23                    | ニッケルの製錬又は精錬を行う工程における業務による肺がん又は上気道のがん  | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
| 19 | 24                    | 砒素を含有する鉱石を原料として金属の製錬若しくは精錬を行う工程又は無機砒素化合物を製造する工程における業務による肺がん又は皮膚がん   | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
| 20 | 25                    | すす、鉱物油、タール、ピッチ、アスファルト又はパラフィンにさらされる業務による皮膚がん   | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
| 6  | 26                    | ベリリウムにさらされる業務による肺がん   | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
| 11 | 27                    | 1,2-ジクロロプロパンにさらされる業務による胆管がん   | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
| 12 | 28                    | ジクロロメタンにさらされる業務による胆管がん  | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
| 21 | 99                    | 1から17までに掲げるもののほか、これらの疾病に付随する疾病その他がん原性物質若しくはがん原性因子にさらされる業務又はがん原性工程における業務に起因することの明らかな疾病                       | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
| 八  | 01                    | 長期間にわたる長時間の業務その他血管病変等を著しく増悪させる業務による脳出血、くも膜下出血、脳梗塞、高血圧性脳症、心筋梗塞、狭心症、心停止(心臓性突然死を含む。)若しくは解離性大動脈瘤又はこれらの疾病に付随する疾病 | 18    | 1    | 5    | 4     | 1    | 1    |
|    |                       | (脳血管疾患)   | (9)   | (1)  | (1)  | (3)   | (1)  | (1)  |
|    |                       | (虚血性心疾患等)   | (9)   |      | (4)  | (1)   |      |      |
| 九  | 01                    | 人の生命に関わる事故への遭遇その他心理的に過度の負担を与える事象を伴う業務による精神及び行動の障害又はこれに付随する疾病  | 31    | 7    | 10   | 12    | 2    | 5    |
| 十  |                       | 前各号に掲げるもののほか、中央労働基準審議会の議を経て労働大臣の指定する疾病  | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
|    | 01                    | 超硬合金の粉じんを飛散する場所における業務による気管支肺疾患  |       |      |      |       |      |      |
|    | 02                    | 亜鉛黄又は黄鉛を製造する工程における業務による肺がん  |       |      |      |       |      |      |
|    | 03                    | ジアニジンにさらされる業務による尿路系腫瘍   |       |      |      |       |      |      |
| 十一 | 01                    | その他業務に起因することの明らかな疾病   | 0     | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    |
|    |                       | [じん肺症患者に発生した肺がん] 2003年度以降第五号へ移行   |       |      |      |       |      |      |
|    |                       | [非災害性脳血管疾患] 2010年度以降第八号へ移行  |       |      |      |       |      |      |
|    |                       | [非災害性虚血性心疾患等] 2010年度以降第八号へ移行  |       |      |      |       |      |      |
|    |                       | [精神障害等] 2010年度以降第九号へ移行  |       |      |      |       |      |      |
|    | 合計                    |   | 647   | 59   | 97   | 196   | 40   | 118  |
|    | A: 具体的列挙規定に係る業務上疾病の合計 |   | 645   | 59   | 97   | 191   | 40   | 118  |
|    | B: 包括的救済規定に係る業務上疾病の合計 |   | 2     | 0    | 0    | 5     | 0    | 0    |
|    | A/(A+B)               |   | 99.7% | 100% | 100% | 97.4% | 100% | 100% |

| 7    | 8    | 9    | 10   | 11    | 12    | 13    | 14    | 15   | 16    | 17    | 18   | 19   | 20   | 21   | 22    | 23   | 24    |
|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|-------|
| 福島   | 茨城   | 栃木   | 群馬   | 埼玉    | 千葉    | 東京    | 神奈川   | 新潟   | 富山    | 石川    | 福井   | 山梨   | 長野   | 岐阜   | 静岡    | 愛知   | 三重    |
| 8    | 12   | 3    | 3    | 30    | 20    | 114   | 90    | 11   | 11    | 3     | 7    | 4    | 8    | 6    | 20    | 49   | 9     |
| (1)  | (3)  | (3)  | (2)  | (11)  | (15)  | (60)  | (45)  | (5)  | (2)   |       | (2)  |      | (1)  | (1)  | (6)   | (18) | (4)   |
| (7)  | (9)  |      | (1)  | (19)  | (5)   | (54)  | (45)  | (6)  | (9)   | (3)   | (5)  | (4)  | (7)  | (5)  | (14)  | (31) | (5)   |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
|      |      |      |      |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |      |       |      |       |
|      |      |      |      |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |      |       |      |       |
|      |      |      |      |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |      |       |      |       |
|      |      |      |      |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |      |       |      |       |
|      |      |      |      |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |      |       |      |       |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 1     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 1     | 2    | 0     |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 1     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
| 2    | 4    | 3    | 3    | 15    | 9     | 40    | 20    | 3    | 2     | 5     | 2    | 1    | 3    | 0    | 5     | 19   | 2     |
| (1)  | (3)  | (2)  | (2)  | (7)   | (3)   | (26)  | (16)  | (1)  | (1)   | (3)   |      | (1)  | (3)  |      | (3)   | (10) | (2)   |
| (1)  | (1)  | (1)  | (1)  | (8)   | (6)   | (14)  | (4)   | (2)  | (1)   | (2)   | (2)  |      |      |      | (2)   | (9)  |       |
| 5    | 7    | 4    | 5    | 22    | 19    | 91    | 33    | 10   | 0     | 5     | 5    | 4    | 5    | 7    | 14    | 17   | 6     |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 1     | 0    | 0     |
|      |      |      |      |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |      | (1)   |      |       |
|      |      |      |      |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |      |       |      |       |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0     |
|      |      |      |      |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |      |       |      |       |
|      |      |      |      |       |       |       |       |      |       |       |      |      |      |      |       |      |       |
| 144  | 179  | 67   | 104  | 544   | 461   | 771   | 606   | 160  | 57    | 77    | 40   | 60   | 135  | 106  | 151   | 383  | 143   |
| 144  | 179  | 67   | 104  | 542   | 457   | 762   | 601   | 160  | 56    | 76    | 40   | 60   | 135  | 106  | 149   | 383  | 142   |
| 0    | 0    | 0    | 0    | 2     | 4     | 9     | 5     | 0    | 1     | 1     | 0    | 0    | 0    | 0    | 2     | 0    | 1     |
| 100% | 100% | 100% | 100% | 99.6% | 99.1% | 98.8% | 99.2% | 100% | 98.2% | 98.7% | 100% | 100% | 100% | 100% | 98.7% | 100% | 99.3% |

## 労働安全衛生をめぐる状況

| 分類                    |             | 疾病分類項目  | 25   | 26   | 27    | 28    | 29   | 30   |
|-----------------------|-------------|---|------|------|-------|-------|------|------|
| 大                     | 小           |   | CODE | 滋賀   | 京都    | 大阪    | 兵庫   | 奈良   |
| 8                     |             | 石綿にさらされる業務による肺がん又は中皮腫   | 13   | 21   | 91    | 73    | 7    | 2    |
|                       | 07          | (石綿に曝される業務による肺がん)   | (5)  | (9)  | (27)  | (27)  | (2)  | (1)  |
|                       | 08          | (石綿に曝される業務による中皮腫)   | (8)  | (12) | (64)  | (46)  | (5)  | (1)  |
| 9                     | 09          | ベンゼンにさらされる業務による白血病  | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
| 10                    | 10-11       | 塩化ビニルにさらされる業務による肝血管肉腫又は肝細胞がん  | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
| 13                    |             | 電離放射線にさらされる業務による白血病、肺がん、皮膚がん、骨肉腫、甲状腺がん、多発性骨髄腫又は非ホジキンリンパ腫  | 0    | 0    | 1     | 0     | 0    | 0    |
|                       | 12          | (白血病)   |      |      |       |       |      |      |
|                       | 13          | (肺がん)   |      |      |       |       |      |      |
|                       | 14          | (皮膚がん)  |      |      |       |       |      |      |
|                       | 15          | (骨肉腫)   |      |      |       |       |      |      |
|                       | 16          | (甲状腺がん)   |      |      |       |       |      |      |
|                       | 17          | (多発性骨髄腫)  |      |      |       |       |      |      |
| 18                    | (非ホジキンリンパ腫) |   |      |      |       |       |      |      |
| 14                    | 19          | オーラミンを製造する工程における業務による尿路系腫瘍  | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
| 15                    | 20          | マゼンタを製造する工程における業務による尿路系腫瘍   | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
| 16                    | 21          | コークス又は発生炉ガスを製造する工程における業務による肺がん  | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
| 17                    | 22          | クロム酸塩又は重クロム酸塩を製造する工程における業務による肺がん又は上気道のがん  | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
| 18                    | 23          | ニッケルの製錬又は精錬を行う工程における業務による肺がん又は上気道のがん  | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
| 19                    | 24          | 砒素を含有する鉱石を原料として金属の製錬若しくは精錬を行う工程又は無機砒素化合物を製造する工程における業務による肺がん又は皮膚がん   | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
| 20                    | 25          | すす、鉱物油、タール、ピッチ、アスファルト又はパラフィンにさらされる業務による皮膚がん   | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
| 6                     | 26          | ベリリウムにさらされる業務による肺がん   | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
| 11                    | 27          | 1,2-ジクロロプロパンにさらされる業務による胆管がん   | 0    | 1    | 0     | 0     | 0    | 0    |
| 12                    | 28          | ジクロロメタンにさらされる業務による胆管がん  | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
| 21                    | 99          | 1から17までに掲げるもののほか、これらの疾病に付随する疾病その他がん原性物質若しくはがん原性因子にさらされる業務又はがん原性工程における業務に起因することの明らかな疾病                       | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
| 八                     | 01          | 長期間にわたる長時間の業務その他血管病変等を著しく増悪させる業務による脳出血、くも膜下出血、脳梗塞、高血圧性脳症、心筋梗塞、狭心症、心停止(心臓性突然死を含む)。若しくは解離性大動脈瘤又はこれらの疾病に付随する疾病 | 5    | 14   | 24    | 9     | 1    | 4    |
|                       |             | (脳血管疾患)   | (2)  | (8)  | (15)  | (7)   | (1)  | (4)  |
|                       |             | (虚血性心疾患等)   | (3)  | (6)  | (9)   | (2)   |      |      |
| 九                     | 01          | 人の生命に関わる事故への遭遇その他心理的に過度の負担を与える事象を伴う業務による精神及び行動の障害又はこれに付随する疾病  | 5    | 15   | 40    | 31    | 1    | 4    |
| 十                     |             | 前各号に掲げるもののほか、中央労働基準審議会の議を経て労働大臣の指定する疾病  | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
|                       | 01          | 超硬合金の粉じんを飛散する場所における業務による気管支肺疾患  |      |      |       |       |      |      |
|                       | 02          | 亜鉛黄又は黄鉛を製造する工程における業務による肺がん  |      |      |       |       |      |      |
|                       | 03          | ジアニジンにさらされる業務による尿路系腫瘍   |      |      |       |       |      |      |
| 十一                    | 01          | その他業務に起因することの明らかな疾病   | 0    | 0    | 0     | 0     | 0    | 0    |
|                       |             | [じん肺症患者に発生した肺がん] 2003年度以降第五号へ移行   |      |      |       |       |      |      |
|                       |             | [非災害性脳血管疾患] 2010年度以降第八号へ移行  |      |      |       |       |      |      |
|                       |             | [非災害性虚血性心疾患等] 2010年度以降第八号へ移行  |      |      |       |       |      |      |
|                       |             | [精神障害等] 2010年度以降第九号へ移行  |      |      |       |       |      |      |
| 合計                    |             |   | 130  | 222  | 768   | 387   | 68   | 64   |
| A: 具体的列挙規定に係る業務上疾病の合計 |             |   | 130  | 222  | 763   | 386   | 68   | 64   |
| B: 包括的救済規定に係る業務上疾病の合計 |             |   | 0    | 0    | 5     | 1     | 0    | 0    |
| A/(A+B)               |             |   | 100% | 100% | 99.3% | 99.7% | 100% | 100% |

| 31   | 32    | 33   | 34   | 35   | 36   | 37   | 38   | 39    | 40   | 41   | 42   | 43   | 44   | 45   | 46    | 47    | 合計    |
|------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| 鳥取   | 島根    | 岡山   | 広島   | 山口   | 徳島   | 香川   | 愛媛   | 高知    | 福岡   | 佐賀   | 長崎   | 熊本   | 大分   | 宮崎   | 鹿児島   | 沖縄    |       |
| 2    | 2     | 35   | 54   | 21   | 0    | 19   | 8    | 1     | 22   | 2    | 28   | 5    | 7    | 3    | 7     | 5     | 920   |
| (2)  | (1)   | (22) | (22) | (13) |      | (10) | (3)  |       | (7)  |      | (13) | (3)  | (1)  | (2)  | (2)   | (3)   | (391) |
|      | (1)   | (13) | (32) | (8)  |      | (9)  | (5)  | (1)   | (15) | (2)  | (15) | (2)  | (6)  | (1)  | (5)   | (2)   | (529) |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 1     |
|      |       |      |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |       |       |       |
|      |       |      |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |       |       |       |
|      |       |      |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |       |       |       |
|      |       |      |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |       |       |       |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 1    | 0    | 0     | 0     | 1     |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     |
| 0    | 1     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 1     |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 1    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 6     |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 1     |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     |
| 2    | 1     | 3    | 18   | 2    | 2    | 1    | 1    | 1     | 8    | 0    | 1    | 2    | 2    | 1    | 4     | 3     | 277   |
| (1)  | (1)   | (1)  | (10) |      | (2)  |      |      |       | (5)  |      | (1)  | (1)  | (2)  |      | (3)   | (2)   | (166) |
| (1)  |       | (2)  | (8)  | (2)  |      | (1)  | (1)  | (1)   | (3)  |      |      | (1)  |      | (1)  | (1)   | (1)   | (111) |
| 0    | 1     | 6    | 12   | 5    | 1    | 4    | 2    | 3     | 13   | 1    | 7    | 4    | 5    | 2    | 5     | 4     | 497   |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 1     |
|      |       |      |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |       |       | (1)   |
|      |       |      |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |       |       | 0     |
| 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     | 0     | 0     |
|      |       |      |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |       |       |       |
|      |       |      |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |       |       |       |
|      |       |      |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |       |       |       |
| 31   | 49    | 151  | 255  | 81   | 77   | 90   | 128  | 93    | 392  | 54   | 166  | 100  | 93   | 153  | 146   | 98    | 9,141 |
| 31   | 46    | 151  | 255  | 81   | 77   | 90   | 128  | 92    | 392  | 54   | 166  | 100  | 93   | 153  | 145   | 96    | 9,096 |
| 0    | 3     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 1     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 1     | 2     | 45    |
| 100% | 93.9% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 98.9% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 99.3% | 98.0% | 99.5% |

# 労働安全衛生をめぐる状況

表10 都道府県別・傷病別長期(1年以上)療養者数(2014年度末)

|     | じん肺患者 | せき髄損傷患者 | 外傷性の脳中枢損傷患者 | 頭頸部外傷症候群患者 | 頸肩腕症候群患者 | 腰痛患者 | 一酸化炭素中毒患者 | 振動障害患者 | その他の患者 | 骨折     | 切断  | 関節の障害 | 打撲傷   | 創傷  | その他   | 合計     |
|-----|-------|---------|-------------|------------|----------|------|-----------|--------|--------|--------|-----|-------|-------|-----|-------|--------|
|     |       |         |             |            |          |      |           |        |        |        |     |       |       |     |       |        |
| 北海道 | 1,130 | 34      | 37          | 45         | 10       | 46   |           | 911    | 1,398  | 649    | 32  | 319   | 74    | 27  | 297   | 3,611  |
| 青森  | 47    | 8       | 6           | 1          |          |      |           | 34     | 207    | 127    | 7   | 21    | 11    | 7   | 34    | 303    |
| 岩手  | 58    | 9       | 12          | 5          |          | 12   |           | 19     | 266    | 140    | 4   | 34    | 11    | 13  | 64    | 381    |
| 宮城  | 212   | 10      | 12          | 9          |          | 15   |           | 43     | 454    | 228    | 6   | 66    | 29    | 28  | 97    | 755    |
| 秋田  | 51    | 3       | 7           | 1          |          |      |           | 13     | 143    | 70     | 3   | 10    | 2     | 2   | 56    | 218    |
| 山形  | 115   | 6       | 4           | 1          |          | 4    |           | 28     | 166    | 72     | 7   | 15    | 3     | 9   | 60    | 324    |
| 福島  | 196   | 6       | 8           | 2          |          | 3    |           | 29     | 252    | 150    | 5   | 21    | 6     | 7   | 63    | 496    |
| 茨城  | 150   | 10      | 18          | 25         | 2        | 13   |           | 8      | 288    | 139    | 6   | 15    | 13    | 1   | 114   | 514    |
| 栃木  | 49    | 10      | 15          | 7          |          | 1    |           | 14     | 249    | 133    | 1   | 25    | 15    | 14  | 61    | 345    |
| 群馬  | 80    | 4       | 4           | 3          | 2        | 2    |           | 28     | 348    | 200    | 4   | 40    | 32    | 23  | 49    | 471    |
| 埼玉  | 68    | 21      | 28          | 23         | 9        | 47   |           | 34     | 1,023  | 516    | 44  | 138   | 78    | 54  | 193   | 1,253  |
| 千葉  | 48    | 28      | 51          | 56         | 12       | 92   | 1         | 17     | 1,417  | 703    | 27  | 282   | 107   | 61  | 237   | 1,722  |
| 東京  | 281   | 37      | 106         | 77         | 38       | 56   |           | 70     | 2,185  | 1,028  | 46  | 252   | 79    | 80  | 700   | 2,850  |
| 神奈川 | 176   | 33      | 77          | 41         | 7        | 83   | 1         | 60     | 1,377  | 636    | 21  | 201   | 45    | 51  | 423   | 1,855  |
| 新潟  | 255   | 9       | 6           | 14         |          | 4    |           | 101    | 408    | 216    | 11  | 39    | 5     | 11  | 126   | 797    |
| 富山  | 114   | 4       | 4           |            |          | 2    |           | 39     | 178    | 101    | 3   | 9     | 5     | 5   | 55    | 341    |
| 石川  | 40    | 1       | 2           |            |          | 1    |           | 19     | 143    | 84     | 2   | 15    | 5     | 4   | 33    | 206    |
| 福井  | 97    | 5       | 7           | 1          | 1        | 2    |           | 87     | 113    | 58     | 3   | 16    | 1     | 4   | 31    | 313    |
| 山梨  | 38    | 3       | 4           | 4          |          | 4    |           | 23     | 103    | 57     | 5   | 18    | 4     | 2   | 17    | 179    |
| 長野  | 136   | 8       | 16          | 6          |          | 10   |           | 109    | 398    | 214    | 9   | 70    | 18    | 21  | 66    | 683    |
| 岐阜  | 232   | 5       | 9           | 1          |          | 2    |           | 70     | 280    | 151    | 6   | 17    | 11    | 9   | 86    | 599    |
| 静岡  | 148   | 26      | 40          | 11         | 1        | 11   |           | 76     | 689    | 361    | 16  | 93    | 35    | 40  | 144   | 1,002  |
| 愛知  | 154   | 11      | 17          | 1          | 2        |      | 1         | 49     | 1,049  | 593    | 24  | 93    | 99    | 36  | 204   | 1,284  |
| 三重  | 44    | 3       | 5           | 3          |          |      |           | 77     | 146    | 66     | 5   | 11    | 5     | 7   | 52    | 278    |
| 滋賀  | 50    | 7       | 11          | 13         | 25       | 38   |           | 48     | 294    | 146    | 3   | 30    | 35    | 7   | 73    | 486    |
| 京都  | 139   | 7       | 12          | 5          | 3        | 9    | 1         | 190    | 330    | 150    | 5   | 40    | 14    | 4   | 117   | 696    |
| 大阪  | 191   | 15      | 57          | 14         | 18       | 46   | 1         | 100    | 2,125  | 1,020  | 71  | 266   | 206   | 102 | 460   | 2,567  |
| 兵庫  | 354   | 20      | 31          | 36         | 10       | 48   |           | 138    | 1,010  | 463    | 25  | 137   | 29    | 26  | 330   | 1,647  |
| 奈良  | 80    | 2       | 4           | 2          | 1        |      |           | 44     | 183    | 102    | 9   | 19    | 9     | 4   | 40    | 316    |
| 和歌山 | 68    | 4       | 5           |            | 2        | 2    |           | 54     | 209    | 96     | 2   | 21    | 12    | 9   | 69    | 344    |
| 鳥取  | 28    |         | 1           | 2          |          | 1    |           | 12     | 38     | 20     | 1   | 4     |       | 1   | 12    | 82     |
| 島根  | 57    |         | 4           |            |          |      |           | 59     | 62     | 29     | 3   | 7     | 2     | 3   | 18    | 182    |
| 岡山  | 497   | 4       | 12          | 9          |          | 2    |           | 46     | 379    | 185    | 13  | 47    | 12    | 3   | 119   | 949    |
| 広島  | 311   | 13      | 38          | 26         |          | 16   |           | 167    | 802    | 376    | 8   | 129   | 57    | 25  | 207   | 1,373  |
| 山口  | 157   | 2       | 1           | 3          |          |      |           | 43     | 269    | 125    | 4   | 20    | 17    | 15  | 88    | 475    |
| 徳島  | 68    | 1       | 2           | 3          |          | 4    |           | 183    | 96     | 53     | 4   | 10    | 7     | 4   | 18    | 357    |
| 香川  | 68    |         | 9           | 2          | 1        | 3    |           | 51     | 169    | 90     | 3   | 12    | 4     | 3   | 57    | 303    |
| 愛媛  | 268   | 10      | 17          | 15         |          | 5    |           | 509    | 351    | 175    | 14  | 40    | 11    | 22  | 89    | 1,175  |
| 高知  | 130   | 6       | 1           | 1          |          | 7    |           | 615    | 185    | 104    | 2   | 37    | 5     | 7   | 30    | 945    |
| 福岡  | 278   | 15      | 18          |            |          |      |           | 52     | 643    | 344    | 13  | 102   | 16    | 11  | 157   | 1,006  |
| 佐賀  | 45    | 2       |             |            |          |      |           | 23     | 105    | 54     | 3   | 18    | 7     | 1   | 22    | 175    |
| 長崎  | 500   | 5       | 7           | 1          |          | 3    |           | 47     | 205    | 81     | 3   | 27    |       | 2   | 92    | 768    |
| 熊本  | 48    | 4       | 2           | 1          |          |      |           | 208    | 234    | 140    | 5   | 22    | 13    | 5   | 49    | 497    |
| 大分  | 286   | 9       | 15          | 3          | 4        | 7    |           | 385    | 270    | 152    | 8   | 29    | 14    | 16  | 51    | 979    |
| 宮崎  | 68    | 4       | 8           | 4          |          |      |           | 479    | 89     | 44     | 3   | 8     | 5     | 5   | 24    | 652    |
| 鹿児島 | 121   | 6       | 8           | 10         |          | 6    |           | 205    | 245    | 160    | 8   | 19    | 9     | 3   | 46    | 601    |
| 沖縄  | 23    | 1       | 2           | 3          |          | 6    |           | 23     | 150    | 79     | 6   | 25    | 10    | 8   | 22    | 208    |
| 合計  | 7,754 | 431     | 760         | 490        | 148      | 613  | 5         | 5,639  | 21,723 | 10,880 | 513 | 2,889 | 1,187 | 802 | 5,452 | 37,563 |

注) 厚生労働省資料により、全国労働安全衛生センター連絡会議が作成。

# 労働基準行政関係通達等

## 2015年度

2015. 4. 7 基発0407第18号「『労働基準局の内部組織に関する細則』の一部改正について」★
2015. 4. 8 労災保険業務課長補佐(運用担当)事務連絡「『労働者災害補償保険事業年報(平成25年度)』の一部差し替えについて」★
2015. 4. 10 基発0410第1号「平成27年度地方労働行政運営方針について」◎
2015. 4. 10 基発0410第2号「『今後の労働時間等設定改善関係業務の進め方について』の一部改正について」◎
2015. 4. 10 基政発0410第1号「『今後の労働時間等設定改善関係業務の運営に当たって留意すべき事項』の一部改正について」◎
2015. 4. 10 基発0410第3号「労働時間等設定改善対策の推進について」☆
2015. 4. 10 基発0410第7号「労働基準局の組織の変更等について」★
2015. 4. 10 補償課職業病認定対策室長事務連絡「石綿確定診断等事業の委託先について」★
2015. 4. 13 基発0413第1号「『受動喫煙防止対策助成金の支給の実施について』の一部改正について」◎※
2015. 4. 13 基安労発0413第1号「『受動喫煙防止対策助成金関係業務の運営等について』の一部改正について」★
2015. 4. 13 基安労発0413第2号「受動喫煙防止対策助成金の事務取扱についての質疑応答集(Q&A)について」★
2015. 4. 13 基安労発0413第3号「『受動喫煙防止対策助成金の事務取扱についての質疑応答集(Q&A)について』の一部改正について」◎
2015. 4. 13 基安労発0413第4号「『受動喫煙防止対策助成金の申請に係る必要書類の作成要領について』の一部改正について」◎※
2015. 4. 14 基監発0414第1号「外国人労働者向け相談ダイヤルの実施について」★
2015. 4. 15 基発0415第3・4号「平成27年度中央労働基準監察の実施について」★
2015. 4. 24 基発0424第6号「『夏の生活スタイル変革』の通称等について」★
2015. 4. 27 労災保険業務課長補佐(短期給付担当)事務連絡「労災レセプト電算処理システムに係るFAQの更新について」★
2015. 5. 1 基発0501第3号「労働安全衛生法の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令等の施行について(心理的な負担の程度を把握するための検査等関係)」◎※
2015. 5. 1 基発0501第4号「労働安全衛生規則第52条の10第1項第3号の規定に基づき厚生労働大臣が定める研修に係る具体的事項について」◎※
2015. 5. 1 基発0501第6号「ストレスチェック制度の関係団体等への周知徹底について」☆
2015. 5. 1 基発0501第7号「『心理的な負担の程度を把握するための検査及び面接指導の実施並びに面接指導結果に基づき事業者が講ずべき措置に関する指針』について」◎
2015. 5. 11 基発0511第2号「調査票情報の利用による成果について」★
2015. 5. 11 基発0511第3号「『トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会』の設置について」☆
2015. 5. 11 基監発0511第1号・基政発0511第3号「トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会の地方協議会運営について」☆
2015. 5. 12 基発0512第6号「義肢等補装具支給要綱の一部改正について」★
2015. 5. 14 基補発0514第2・3号「義肢等補装具支

## 2015年度 労働基準行政関係通達

- 給要綱の一部改正に伴う周知について」★
2015. 5. 12 労災保険業務課運用班伝送係事務連絡「業種区分の見直しに伴う労働保険番号変更処理について」★
2015. 5. 14 基安発0514第1・2号「平成27年の職場における熱中症予防対策の重点的な実施について」※☆
2015. 5. 15 基発0515第1号「労働安全衛生法の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令等の施行について（外国登録製造時等検査機関等、受動喫煙の防止及び特別安全衛生改善計画関係）」◎※
2015. 5. 15 基安発0515第1～3号「労働安全衛生法の一部を改正する法律に基づく職場の受動喫煙防止対策の実施について」◎
2015. 5. 18 基発0518第1号「違法な長時間労働を繰り返し行う企業の経営トップに対する都道府県労働局長による是正指導の実施及び企業名の公表について」★
2015. 5. 18 基監発0518第1号「違法な長時間労働を繰り返し行う企業の経営トップに対する都道府県労働局長による是正指導の実施及び企業名に当たり留意すべき事項について」★
2015. 5. 18 基発0518第2号「労災就学援護費の支給についての一部改正及び労災就労保育援護制度の新設等についての一部改正について」◎
2015. 5. 20 基安発0520第1・2号「足場からの墜落・転落災害防止総合対策推進要綱の改正について」◎※
2015. 5. 20 基安安発0520第1～3号「足場からの墜落・転落災害防止総合対策推進要綱の改正について」☆
2015. 5. 26 基監発0526第1号「平成27年度『外国人労働者問題啓発月間』の実施に当たって留意すべき事項について」★
2015. 5. 26 基安計発0526第1号「労働安全衛生法第78条に規定する特別安全衛生改善計画の運用に当たっての留意事項について」★
2015. 5. 28 基安発0528第1号「労働安全衛生法の一部を改正する法律に基づく職場の受動喫煙防止対策の運用に当たって留意すべき事項について」★
2015. 6. 1 基発0601第6号「事業所附属寄宿舎規程の一部改正について」☆
2015. 6. 2 基監発0602第1号「警察庁、法務省及び厚生労働省の三省庁による『不法就労等外国人対策に係る具体的施策について』の策定について」☆
2015. 6. 4 基発0604第3号「『職場のパワーハラスメント対策の推進について』の一部改正について」※☆
2015. 6. 4 補償課職業病認定対策室長事務連絡「過労死等防止対策推進法に係る調査研究の協力依頼への対応について」★
2015. 6. 9 基発0609第4号「労災保険給付を受けて休業する労働者に対する解雇制限に係る判決について」◆
2015. 6. 9 基安計発0609第1号「安全衛生業務における保有個人情報漏えい防止の徹底について」★
- kn2015.6.10 労災保険業務課長補佐（短期給付担当）事務連絡「労災指定病院等登録（変更）報告書に係る留意事項について」★
2015. 6. 11 基監発0611第1・2号「働き過ぎ防止のための取組に係る地方検察庁への説明について」★
2015. 6. 15 基安安発0615第1～5号「元請負人及び下請負人の中での労働災害防止対策の実施者及びその経費の負担者の明確化を図るパンフレットの作成について」★
2015. 6. 19 基安計発0619第1号「労働災害防止対策費補助金における不適切な経理処理の再発防止等の通知について」★
2015. 6. 23 基安計発0623第1号「安全衛生業務における保有個人情報漏えい防止の徹底について」★
2015. 6. 29 基安発0629第1・2号「平成27年度夏季の電力需給対策を受けた事務所・作業場の室内温度等の取扱いについて」☆
2015. 6. 29 基安安発0629第1・2号「『斜面崩壊による労働災害の防止対策に関するガイドライン』の策定について」◎※
2015. 6. 29 基安安発0629第3号「斜面崩壊による労働災害の防止対策について」☆
2015. 6. 29 基安安発0629第4～6号「『斜面の点検者に対する安全教育の実施要領』の策定について」◎※
2015. 6. 30 基安安発0630第1号「手すり先行工法の積極的採用に関するリーフレットの手交について」★
2015. 6. 30 基安発0630第1号「事務所における女

- 性用トイレの整備等の徹底について」★
2015. 7. 4 補償課長補佐(業務担当)事務連絡「平成26年度不法就労外国人であると思われる者に対する労災補償状況について」★
2015. 7. 7 基補発0707第1号「業務上疾病の労災補償状況調査について」★
2015. 7. 7 補償課職業病認定対策室長事務連絡「厚生労働大臣の指定する単体たる化学物質及び化合物による疾病並びに『その他に包括される疾病』に係る統計調査について」★
2015. 7. 8 基安発0708第1号「平成26年に発生した酸素欠乏症等の労働災害発生状況について」※☆
2015. 7. 13 基発0713第18号「平成27年度インターネット監視による労働条件に係る情報収集事業の実施について」★
2015. 7. 15 基補発0715第1号「『医療関係質疑応答集』の送付について」★
2015. 7. 16 基発0716第2号「硬質地盤油圧くい圧入機に係る労働安全衛生関係法令の適用について」◎※
2015. 7. 21 基安安発0721第1号「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策の推進について(協力要請)」★
2015. 7. 21 基安安発0721第2号「林材業死亡労働災害多発警報発令要綱の一部改正について」★
2015. 7. 22 補償課職業病認定対策室長事務連絡「平成26年度石綿ばく露作業による労災認定等事業場の公表に関する作業について」★
2015. 7. 22 補償課労災補償訴訟分析官事務連絡「訴訟関連業務に係る資料の送付について」★
2015. 7. 24 基発0724第1・3号「過労死等の防止のための対策に関する大綱の作成について」◎
2015. 7. 24 基発0724第2号「『過労死等の防止のための対策に関する大綱』に基づく対策の推進について」◎
2015. 7. 29 基安発0729第1号・基安化発0729第1号「業務上疾病に係る労働者死傷病報告の分類等について」★
2015. 7. 30 基安計発0730第1号「安全衛生業務における保有個人情報漏えい防止の徹底について」★
2015. 8. 3 基発0803第2号「労働安全衛生法施行令及び厚生労働省組織令の一部を改正する政令等の施行について(化学物質等の表示及び危険性又は有害性等の調査に係る規定等関係)」◎※
2015. 8. 4 基発0804第3号「クレーン等安全規則第224条の4第2項第4号等の規定に基づき厚生労働大臣が定める者の一部を改正する件について」◎※
2015. 8. 4 基発0804第4号「最大荷重が1トン以上のフォークリフト運転等の業務に就くことができる者として厚生労働省労働基準局長が定める者について」◎※
2015. 8. 4 基安発0804第1・2号「今夏の職場における熱中症予防対策の徹底について」※☆
2015. 8. 5 基発0805第1号「ロープ高所作業における危険の防止を図るための労働安全衛生規則の一部を改正する省令等の施行について」◎
2015. 8. 5 基安安発0805第2・3号「ロープ高所作業における危険防止を図るための労働安全衛生規則等の一部を改正する省令等について」☆
2015. 8. 6 基安発0806第1～10号「平成27年下半期の安全衛生対策の推進について」◎※
2015. 8. 6 基安安発0806第1・2号「建設業における交通労働災害防止対策の徹底について」☆
2015. 8. 7 基発0807第1号「労働契約の『無期転換ルール』の定着について」☆
2015. 8. 7 基監発0807第1号「労働契約の『無期転換ルール』の定着にあたって留意すべき事項について」☆
2015. 8. 7 労災保険業務課長補佐(短期給付担当)事務連絡「労災保険診療費等の振込口座の優先順位に係る留意事項について」★
2015. 8. 10 基発0810第1・2号「粉じん障害防止規則及びじん肺法施行規則の一部を改正する省令の施行について」◎※
2015. 8. 12 基発0812第1号「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準に係る関係通達の一部改正について」◎
2015. 8. 18 基安発0818第1～4号「『職場の健康診断実施強化月間』の実施について」☆
2015. 8. 18 基安化発0818第21号「東日本大震災がれき処理作業等における石綿気中濃度モニタリングの実施について」★
2015. 8. 18 基安化発0818第22号「一酸化炭素中毒

## 2015年度 労働基準行政関係通達

- による労働災害の発生状況等について」◎
2015. 8. 20 基安安発0820第2号「推進工法によるずい道建設工事における労働災害防止対策の徹底について」◎
2015. 8. 26 基発0826第1～4号「『東京電力福島第一原子力発電所における安全衛生管理対策のためのガイドライン』の策定について」◎
2015. 8. 27 基安安発0827第1～5号「第三次産業における平成27年下半年の安全衛生対策の推進について(周知依頼)」☆
2015. 8. 31 基発0831第2～4号「電気機械器具防爆構造規格第5条の規定に基づき、防爆構造規格に適合するものと同等以上の防爆性能を有することを確認するための基準等について」◎※
2015. 8. 31 基発0831第6～8号「危険又は有害な業務に現に就いている者に対する安全衛生教育に関する指針の一部を改正する指針について」◎
2015. 8. 31 基発0831第10～12号「原子力施設等における緊急作業従事者等の健康の保持増進のための指針について」◎※
2015. 8. 31 基発0831第13号「電離放射線障害防止規則の一部を改正する省令等の施行等について」◎※
2015. 8. 31 労災保険業務課長補佐(短期給付担当)事務連絡「労災レセプト電算処理システムに係るFAQの更新について」★
2015. 9. 1 基総発0901第1号「石綿関連文書の誤廃棄の防止について」◆
2015. 9. 1 労災保険業務課中央社会復帰指導官事務連絡「平成27年10月における年金たる保険給付及び石綿による健康被害の救済に関する法律に基づく特別遺族年金の受給権者の定期報告の抜き取りについて」★
2015. 9. 3 労災管理課長補佐(企画担当)事務連絡「長期家族介護者援護金の事務処理における取扱いについて」★
2015. 9. 4 基発0904第1号「被用者年金の一元化を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う労働者災害補償保険法の施行に関する業務に使用する文書の様式を定める件の一部を改正する件について」◎
2015. 9. 11 基補発0911第1号「健康保険の給付を受けていた労働者に対する労災保険給付の取扱いの徹底について」◎
2015. 9. 14 補償課職業病認定対策室長補佐事務連絡「石綿ばく露作業に係る労災認定者の死亡年統計に関する作業について」★
2015. 9. 15 基発0915第5号「情報通信機器を用いた労働安全衛生法第66条の8第1項及び第66条の10第3項の規定に基づく医師による面接指導の実施について」☆
2015. 9. 15 基安化発0915第1号「作業環境測定についての質疑応答集(Q&A)について」★
2015. 9. 16 基発0916第2号「平成27年度過重労働解消キャンペーンの実施について」★
2015. 9. 16 基発0916第3号「平成27年度過重労働解消キャンペーンにおける使用者団体等への過重労働解消に向けた取組の要請について」★
2015. 9. 16 基補発0916第1号・基保発0916第1号「被用者年金の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う労災年金等における事務処理の変更について」★
2015. 9. 17 基安安発0917第1・2号・基安労発0917第1・2号・基安化発0917第1・2号「台風18号の影響に伴う記録的豪雨による災害の復旧工事における労働災害防止対策の徹底について」★
2015. 9. 18 基発0918第3号「化学物質等による危険性又は有害性等の調査等に関する指針について」◎※
2015. 9. 18 基発0918第4号「化学物質等の表示及びリスクアセスメントに係る関係政省令、指針等の制定について」☆
2015. 9. 18 基安化発0918第1号「化学物質のリスクアセスメントの義務化に向けた取組みについて」★
2015. 9. 25 基発0925第5号「『労働基準局の内部組織に関する細則』の一部改正について」★
2015. 9. 29 基発0929第3号「『都道府県労働局等における専門官職の所掌事務等に関する準則』の一部改正について」★
2015. 9. 29 基発0929第9号「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令について」◎
2015. 9. 29 基発0929第10号「労働基準行政システ

- ム・労災行政情報管理システムに係る機械処理事務手引等の一部改訂について」★
2015. 9. 30 基発0930第5号「『派遣労働者に係る労働条件及び安全衛生の確保について』の一部改正について」◎※
2015. 9. 30 基発0930第9・10号「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び労働安全衛生規則等の一部を改正する省令の施行について」◎※
2015. 9. 30 基発0930第11・12号「プレス機械の安全装置管理指針の改正について」◎※
2015. 9. 30 基総発0930第1号「労働法制の普及等に関する取組に係る協力依頼について」★
2015. 9. 30 基安安発0930第1号「クレーン等安全規則第224条の4第2項第4号等の規定に基づき厚生労働大臣が定める者の一部を改正する件について(留意事項)」☆
2015. 9. 30 労災保険業務課長補佐(年金担当)事務連絡「労災保険業務機械処理事務手引(年金・一時金業務)の一部改正に伴う機械処理事務の留意点について」★
2015. 10. 1 基発1001第4号・職発1001第1号「長時間にわたる過重な労働による過労死等に係る労災請求が行われた事業場等及び若者の『使い捨て』が疑われる企業等に対する取組の強化について」★
2015. 10. 1 基監発1001第1号「平成27年度過重労働解消キャンペーンにおける全国一斉『過重労働解消相談ダイヤル』の実施について」★
2015. 10. 1 基監発1001第2号「長時間にわたる過重な労働による過労死等に係る労災請求が行われた事業場等及び若者の『使い捨て』が疑われる企業等に対する重点監督の実施等について」★
2015. 10. 1 基監発1001第3号「『労働関係法規等の講義への講師の積極的な派遣について』の一部改正について」★
2015. 10. 1 基発1001第8・9号「労働安全衛生法及びこれに基づく命令に係る登録及び指定に関する省令第25条の3の4第1項に基づく指定保存交付機関の指定の更新等について」☆
2015. 10. 1 労災保険業務課長補佐(開発担当)事務連絡「社会保障・税番号制度導入に係る労災保険給付業務の取扱いに係る参考資料の送付について」★
2015. 10. 1 補償課長補佐(業務担当)事務連絡「被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う休業(補償)給付と障害厚生年金との併給調整事案に係る自由区分コードの登録について」★
2015. 10. 2 基発1002第1号「非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善の推進について」☆
2015. 10. 5 基発1005第1号「『働き方改革』の一層の推進について」★
2015. 10. 5 基発1005第2号「都道府県における地方公共団体及び労使等の関係者から構成される会議の開催について」☆
2015. 10. 5 基発1005第3・4号「特定化学物質等障害予防規則の規定に基づく厚生労働大臣が定める性能等の一部を改正する告示の適用等について」◎※
2015. 10. 8 基監発1008第1・2号「社会保険労務士の懲戒処分について」★
2015. 10. 13 基安安発1013第2・3号「平成27年度リスク評価結果に基づく労働者の健康障害防止対策の徹底について」◎
2015. 10. 20 基安労発1020第1号「労働者災害補償保険法の適用を受けない者に係る健康管理手帳の健康診断費用及び受診旅費の請求先について」☆
2015. 10. 22 労災管理課長補佐(主計担当)事務連絡「労災補償行政に係る年間執行計画について」★
2015. 10. 23 基安安発1023第1号・基安化発1023第2号「日本工業規格 A8340-7 土木機械-安全-第7部:グレーダの要求事項 外41件の確認について(公示)」☆
2015. 10. 23 基安安発1023第2号・基安化発1023第1号「工業標準 化学防護服完成品の試験方法-第1部:ガス気密性の求め方(内部圧力試験) 外5件の制定及び日本工業規格 T8005 防護服の一般要求事項 外6件の改正について(公示)」☆
2015. 10. 23 基安安発1023第3号「日本工業規格 B9961 機械類の安全性-安全関連の電気・電子・プログラマブル電子制御システムの機能安全の改正について(公示)」☆
2015. 10. 30 基安発1030第4号「産業医の選任の改善について」◎※
2015. 10. 30 基補発1030第1号「精神障害の労災認定実務要領の一部改訂について」★
2015. 10. 30 基監発1030第1号「『労働基準関係情報メール窓口の本格的な実施に当たり留意す

## 2015年度 労働基準行政関係通達

- べき事項について』の一部改正について」★
2015. 10. 30 労災保険業務課長補佐（運用担当）事務連絡「平成28年度に向けた継続メリット制の適正な事務処理に係る留意事項について」★
2015. 11. 2 基安労発1102第1号「特定緊急作業従事者（国の援助対象者）に対する平成27年度がん検診等の実施について」★
2015. 11. 2 労災保険業務課長補佐（短期給付担当）事務連絡「短期給付機械処理FAQの更新について」★
2015. 11. 5 基安労発1105第1号「ノロウイルスによる感染性胃腸炎の感染制御対策等の周知等について」◎※
2015. 11. 6 基発1106第1号「車両系建設機械の定期自主検査指針（労働安全衛生規則第167条の自主検査に係るもの）の公表等について」◎※
2015. 11. 9 基安安発1109第1号「日本工業規格 B9658 精米麦械類の安全及び衛生に関する設計要求事項の改正について（公示）」☆
2015. 11. 16 基発1116第1号「『働き方・休み方改善に向けた労働時間等のルールの定着』事業の実施について」☆
2015. 11. 16 基監発1116第2号「『平成27年度労働条件相談ダイヤル事業の実施に係る留意事項について』の一部改正について」
2015. 11. 16 基監発1116第2号「『平成27年度インターネット監視による労働条件に係る情報集事業の実施に係る留意事項について』の一部改正について」★
2015. 11. 17 基安化発1117第1・2号「石綿含有成形板の除去作業における労働者の石綿ばく露防止措置について」◎※
2015. 11. 25 補償課長補佐（業務担当）・労災保険業務課長補佐（運用担当）事務連絡「労働者災害補償保険事業年報（平成22年～25年度）一部差し替えについて」☆
2015. 11. 26 基安労発1126第1号「平成27年度東京電力福島第一原子力発電所において緊急作業に従事した者に対する長期的健康管理の実施について（依頼）」★
2015. 11. 30 基発1130第1号「事業場における労働者の健康保持増進のための指針の一部を改正する指針等について」※☆
2015. 11. 30 基発1130第2号「雇用管理に関する個人情報のうち健康情報を取り扱うに当たっての留意事項の改正について」※☆
2015. 12. 1 基監発1201第1・2号「『労働基準監督機関における司法警察権限の行使に関する規範に基づく処理要領について』の一部改正等について」★
2015. 12. 3 基監発1203第1号「障害者差別解消法の施行に向けた社会保険労務士の業務を行う事業者向けガイドラインの決定について」★
2015. 12. 4 補償課職業病認定対策室長事務連絡「『脳・心臓疾患及び精神障害事案に係る処理経過簿』の输入の徹底について」★
2015. 12. 7 基発1207第3～5号「『チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン』の策定について」◎※
2015. 12. 7 基発1207第6～8号「変異原性が認められた化学物質の取扱いについて」※☆★
2015. 12. 7 基安化発1207第1・2号「変異原性が認められた化学物質に関する情報について」※
2015. 12. 8 基発1208第2号「個人番号の利用による添付書類の取扱いについて（通達）」★
2015. 12. 8 基補発1208第1号・基管発1208第1号・基保発1208第1号「個人番号の利用による添付書類の取扱いの留意事項について」★
2015. 12. 11 基発1211第20号「行政不服審査法及び行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う労働保険の保険料の徴収等に関する法律関係の通達の一部改正について」★
2015. 12. 11 基安安発1211第1号「日本工業規格 B8950 垂直コンベヤの改正について」☆
2015. 12. 15 基監発1215第1号「本年度における最低賃金の履行確保に係る監督指導の実施等について」★
2015. 12. 18 地発1218第4号・基総発1218第1号「石綿関連文書の保存について」◆
2015. 12. 18 基安発1218第1・2号「芳香族アミンによる健康障害の防止対策について」◎
2015. 12. 16 基安発1216第1号「石綿ばく露作業による労災認定事業場に就労した労働者等への健康管理手帳及び労災補償・特別遺族給付金制度の周知について」★
2015. 12. 21 基安労発1221第1号・基安化発1221第1号「芳香族アミンの取扱事業場に対する個別指導について」★
2015. 12. 22 基補発1222第1号「障害（補償）年金を受ける者が再発により傷病（補償）年金又

- は休業（補償）給付を給付する場合の事務処理上の留意点について」◎
2015. 12. 22 補償課労災補償訴訟分析官事務連絡「『平成27年度（上半期）主要判決』の送付について」★
2015. 12. 24 基発1224第7号「『不本意非正規対策・学卒正社員就職実現キャンペーン』の実施について」☆
2015. 12. 24 基発1224第8号「ボイラー及び压力容器安全規則第111条の規定に基づき普通ボイラー溶接士免許試験の試験科目の免除を受けることができる者について」◎※
2015. 12. 24 基発1224第9号「労災保険給付における個人番号の利用に係る事務処理について」★
2015. 12. 24 基管保発1224第1号・基保発1224第1号「『児童扶養手当法等の一部改正による児童扶養手当と労災保険の年金たる給付との調整規定の見直しについて』の改正について」☆
2015. 12. 24 基安発1224第1～3号「『チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン』の留意事項について」★
2015. 12. 25 基発1225第4号「労働安全衛生規則第95条の6の規定に基づき厚生労働大臣が定める物等の一部を改正する件の適用について」※☆
2015. 12. 25 基発1225第5号「大学生等に対するアルバイトに関する意識等調査結果について（依頼）」★
2015. 12. 25 基発1225第10号「変異原性試験棟結果検討委員候補者名簿及びがん原生試験指示検討委員候補者名簿の公表について」※☆
2015. 12. 25 基発1225第11号「『労働者災害補償保険法の施行に関する事務に使用する文書の様式を定める件の一部を改正する件』について」☆
2015. 12. 25 基発1225第12号「大学生等に対するアルバイトに関する意識等調査結果の周知について（依頼）」★
2015. 12. 25 基発1225第13号「労働基準行政情報システム・労災行政情報管理システムに係る機械処理事務手引の一部改正について（通達）」★
2015. 12. 25 基発1225第14号「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の施行に伴う労働保険事務組合事務処理規約例の一部改正について」★
2015. 12. 25 基発1225第17号「労災保険給付事務取扱手引の一部改正について」★
2015. 12. 25 基安発1225第1号「有害物ばく露作業報告対象物（平成28年度対象・平成29年度報告）について」☆
2015. 12. 25 基安発1225第2号「有害物ばく露作業報告制度の周知徹底について」※☆
2015. 12. 25 安全課建設安全対策室長事務連絡「労働安全衛生法に基づく規格を具備しないパイプサポートについて」★
2015. 12. 25 労災保険業務課長補佐（更改担当）事務連絡「労働基準行政情報システムに係る機械処理手引きの一部改正に伴う留意事項について」★
2015. 12. 25 労災保険業務課長補佐（開発担当・運用担当）事務連絡「社会保障・税番号制度導入に伴う労働基準行政情報システムにおけるユーザ情報の管理について」★
2015. 12. 28 基安安発1228第1号「外国人建設就労者の労働災害の防止について」★
2015. 12. 28 基安安発1228第2号「外国人造船就労者の労働災害の防止について」★
2015. 12. 28 基補発1228第1号「障害（補償）給付支給請求書に添付する診断書の取扱いについて」★
2015. 12. 28 補償課職業病認定対策室長補佐事務連絡「平成26年度『業務上疾病の労災補償状況調査結果（全国計）』について」★
2016. 1. 1 基発0101第1号「労働基準局報告例規の一部改正（安衛補501 重大災害報告の廃止）等について」★
2016. 1. 1 基監発0101第1号・基安発0101第1号・基安労発0101第1号・基安化発0101第1号「『災害調査等の実施に当たっての取扱いについて』の一部改正について」★
2016. 1. 1 基安安発0101第2号・基安労発0101第2号・基安化発0101第2号「『重大災害等情報の本省からの提供について』の廃止について」★
2016. 1. 1 基安安発0101第4号「『重大災害発生時の速報の報告方法について』の廃止について」★
2016. 1. 1 基発0101第2号「『監督業務運営要領の改善について』の一部改正について」★

## 2015年度 労働基準行政関係通達

2016. 1. 1 基安計発0101第号「『安全衛生業務における保有個人情報漏えい防止の徹底について』の一部改正について」★
2016. 1. 1 基安計発0101第2号「『閉庁時の災害調査の初動対応について』の一部改正について」★
2016. 1. 6 基監発0106第1号「平成28年4月から適用される社内預金の下限利率について」★
2016. 1. 9 労災保険業務課長補佐（短期給付担当）事務連絡「労災レセプト電算処理システムに係るFAQの更新について」★
2016. 1. 13 基政発0113第1号・基監発0113第1号「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会におけるパイロット事業の実施について」☆
2016. 1. 13 基安発0113第3・4号「転倒災害の防止に向けた取組について（協力要請）－『STOP! 転倒災害プロジェクト』による転倒災害の防止－」◎※
2016. 1. 13 基安発0113第5号「今後の転倒災害防止対策の推進について」★
2016. 1. 15 基安労発0115第1号「『じん肺健康診断及びじん肺管理区分の決定におけるDR（FPD）写真及びCR写真の取扱い等について』の一部改正について」◎※
2016. 1. 20 基発0120第3号「ツアーバスを運行する貸切バス事業場に対する緊急の集中監督の実施について」★
2016. 1. 20 基監発0120第1号「ツアーバスを運行する貸切バス事業場に対する緊急の集中監督の実施に当たって留意すべき事項について」★
2016. 1. 22 基発0122第2号「労働者災害補償保険法施行令の一部を改正する政令の施行について」◎
2016. 1. 25 基発0125第2号「平成27年度中央労働保険適用徴収業務監察実施結果について」★
2016. 1. 25 基発0125第3号「平成27年度中央労災補償業務監察実施結果について」★
2016. 1. 25 基安労発0125第1号「芳香族アミンによる健康障害に係る相談への対応について」☆
2016. 1. 26 基発0126第3号「労災レセプト電算処理システムの機械処理手引の一部改正について」★
2016. 2. 2 基補発0202第4号「非器質性精神障害の障害等級について」★
2016. 2. 8 基安安発0208第1号「派遣労働者に対する安全衛生教育の実施等安全衛生の確保について」☆
2016. 2. 9 基徴収発0209第2号「平成28年度における労働保険適用徴収業務の運営に当たっての留意事項等について」
2016. 2. 10 主任中央労災補償監察官事務連絡「平成27年度中央労災補償業務監察結果に基づくチェックリストについて」★
2016. 2. 12 労災発0212第1号「労災補償業務の運営に当たって留意すべき事項について」◎
2016. 2. 15 基監発0215第1・2号「社会保険労務士の懲戒処分について」★
2016. 2. 15 基安労発0215第1・2号「特例緊急作業に係る特別教育の実施について」★
2016. 2. 16 基発0126第1号「監督指導業務の運営に当たって留意すべき事項について」★
2016. 2. 16 基監発0216第1号「『事例集1』の活用について」★
2016. 2. 17 補償課労災保険審理室長事務連絡「『審査請求文書受付・送付簿』の改正について」★
2016. 2. 18 基安発0218第1号「安全衛生業務の推進について」★
2016. 2. 19 基監発0219第1号「『事例集1』の送付について」★
2016. 2. 19 基安安発0219第2号「陸上貨物運送事業の荷役作業における安全確保対策の実施状況の把握について」☆
2016. 2. 22 基安発0222第1号「特定緊急作業従事者等に対するがん検診等に係る医療機関の指定について」★
2016. 2. 22 基安化発0222第1号「『有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律第2条第2項の物質を定める政令の一部を改正する政令』及び『有機物質を含有する家庭用品の規制に関する法律施行規則の一部を改正する省令』の施行に伴う製造等禁止物質等の取扱いについて」☆
2016. 2. 23 基安安発0223第1・2号「『あんぜんプロジェクト』の期限の廃止（参加規約の改正）について」☆
2016. 2. 25 基発0225第1～3号「鉄鋼業における自主的な安全管理活動の促進について」◎
2016. 2. 25 基安安発0225第3号「鉄鋼業における自主的な安全管理活動の促進についての実

- 施に当たって留意すべき事項について」☆
2016. 2. 25 基発0225第9号「行政不服審査法及び行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令の公布について」☆
2016. 2. 25 基安発0225第5号「行政不服審査法、行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律及び行政不服審査法及び行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令の施行について(じん肺法関連)」◎
2016. 2. 26 基安計発0226第1号「厚生労働省文書管理規則に基づく監査結果に関する報告について」★
2016. 2. 26 基安計発0226第2号「女性の職業生活における活躍の促進に関する法律の施行について」★
2016. 2. 26 基安安発0226第1～3号「派遣労働者に対する安全衛生教育の実施等安全衛生の確保について」☆
2016. 2. 29 基発0229第2号「労働保険の保険料の徴収等に関する法律施行規則第16条第1項の規定に基づく労災保険率表の細目の一部を改正する件の公布について」◎
2016. 2. 29 基発0229第6号「学生アルバイトの労働条件の確保及び適切な労務管理に向けた取組について」★
2016. 2. 29 基政発0229第1号「学生アルバイトの労働条件の確保及び適切な労務管理に向けた取組に当たって留意すべき事項について」★
2016. 2. 29 基総発0229第1号「厚生労働省文書管理規程に基づく監査結果に関する報告について」★
2016. 2. 29 基安発0229第1・2号「平成28年の職場における熱中症予防対策の重点的な実施について」☆
2016. 2. 29 基安化発0229第1号「日本工業規格の廃止について(公示)」☆
2016. 3. 7 基安安発0307第2号「ドラッグ・ショベルに開閉式フック付きアタッチメントを装着して土のうをつり上げて運搬する機械の取扱いについて」◎
2016. 3. 7 労災保険業務課長補佐(運用担当)事務連絡「労働者災害補償保険事業年報(平成11年度～25年度)の一部差し替えについて」★
2016. 3. 10 補償課長補佐(業務担当)・労災保険業務課長補佐(年金担当)・労災保険業務課長補佐(短期給付担当)事務連絡「行政不服審査法等の改正に伴う平成27年度末における通知書(保険給付等関係)の発送に係る事務処理について」★
2016. 3. 11 基発0311第2号「平成28年度中央労災補償業務監察及び平成28年度中央労働保険適用徴収業務監察の実施について」★
2016. 3. 11 基監発0311第1号「社会保険労務士の業務について」★
2016. 3. 14 基発0314第3号「『健康管理手帳及び船員健康管理手帳交付等関係事務取扱要領』の策定について』の一部改正について」☆
2016. 3. 14 基発0314第4号「『じん肺管理区分の決定等に関する事務取扱要領』及び『審査請求に関する事務取扱要領』の制定について」◎
2016. 3. 15 基安安発0315第1号「製造業外国従業員の労働災害の防止について」★
2016. 3. 15 補償課長補佐(業務担当)事務連絡「石綿関連疾患に係る労災認定事業場に対する退職労働者等への周知依頼等について」★
2016. 3. 16 基発0316第2号「『労働基準行政情報システム・労災行政情報管理システム及び労災レセプト電算処理システム管理規程』の改定について」★
2016. 3. 16 基発0316第4号「『労働基準行政情報システム・労災行政情報管理システム及び労災レセプト電算処理システム運用管理要領』の改定について」★
2016. 3. 18 基発0318第3号「『労災保険審査請求事務取扱手引』の改正について」★
2016. 3. 18 基安計発0318第1号「安全衛生業務における保有個人情報漏えい防止対策の徹底について(注意喚起)」★
2016. 3. 18 基安安発0318第2・3号「第一種圧力容器及び第二種圧力容器の胴又は鏡板に設けるマンホール、掃除穴及び検査穴について」◎
2016. 3. 22 基安安発0322第1号「日本工業規格 T8106 安全靴・作業靴の耐滑試験方法の制定について(公示)」☆

## 2015年度 労働基準行政関係通達

2016. 3. 23 基発0323第3号「企業における適切な労務管理を促すための啓発指導等について」◎
2016. 3. 24 基発0324第2号「『労働基準局の内部組織に関する細則』の一部改正について」★
2016. 3. 25 基発0325第1号「労働者災害補償保険法施行規則及び炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に関する特別措置法施行規則の一部を改正する省令の公布について」☆
2016. 3. 25 基発0325第2号「徴収関係事務取扱手引II(滞納処分)の一部改訂について」★
2016. 3. 25 基発0325第41号「義肢等補装具支給要綱の一部改正について」★
2016. 3. 25 労働保険徴収課課長補佐(業務担当)事務連絡「通達・事務連絡データベース及び徴収関係義照会データベースの掲載について」★
2016. 3. 28 基発0328第2号「検査業務等担当者養成研修実施要綱の改正について」★
2016. 3. 28 基発0328第3・4号「労働安全衛生法における登録性能検査機関等の登録基準に係る運用の一部改正について」☆
2016. 3. 28 基発0328第5号「労災就学援護費の支給についての一部改正について」◎
2016. 3. 28 基補発0328第2号「義肢等補装具費支給要綱の一部改正に伴う申請書等及び支出計算書の証拠書類の取扱いについて」★
2016. 3. 28 補償課長補佐(業務担当)事務連絡「船員保険の休業手当金の申請勧奨に伴う協力依頼について」★
2016. 3. 29 基発0329第4・5号「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行について」◎
2016. 3. 29 基発0329第9号「平成28年度『労働条件相談ほっとライン』の設置・運営事業の実施について」★
2016. 3. 29 基監発0329第1号「平成28年度『労働条件相談ほっとライン』の設置・運営事業の実施に係る留意事項について」★
2016. 3. 29 基発0329第10号「平成28年度インターネット監視による労働条件に係る情報収集事業の実施について」★
2016. 3. 29 基監発0329第1号「平成28年度インターネット監視による労働条件に係る情報収集事業の実施に係る留意事項について」★
2016. 3. 29 基発0329第11号「『じん肺管理区分の決定等に関する事務取扱要領』の改正に伴う関係通達の改正について」☆
2016. 3. 29 基安発0329第1号「『じん肺管理区分の決定等に関する事務取扱要領』の改正に伴う関係通達の改正について」☆
2016. 3. 29 基安発0329第2号「じん肺法に基づくじん肺管理区分の決定に関する肺機能検査の判定に係る事務取扱上の留意事項について」☆
2016. 3. 29 基安発0329第3号「労働安全衛生規則第62条に基づく別表第4第1種衛生管理者免許の項下欄第3号に該当する学科等について」☆
2016. 3. 29 補償課職業病認定対策室長補佐事務連絡「平成27年度における石綿関連疾患に係る処理経過簿の入力及び『石綿による疾病に関する労災保険給付などの請求・決定状況』に係る統計情報の精査作業について」★
2016. 3. 30 基発0330第5号「行政不服審査法等の改正に伴う労働基準法等関係通達の整備について」★
2016. 3. 30 基発0330第6号「『働き方・休み方改善コンサルタントの設置について』の一部改正について」☆
2016. 3. 30 基発0330第7号「『未払賃金の立替払事業の運営について』の一部改正について」★
2016. 3. 30 基発0330第9号「『監督業務運営要領の改善について』の一部改正について」★
2016. 3. 30 基発0330第10号・年管発0330第5号「社会保険労務士の不適切な情報発信の防止について」★
2016. 3. 30 基監発0330第1号「『建設業における総合的労働災害防止対策の具体的な実施に当たって留意すべき事項について』の一部改正について」★
2016. 3. 30 基安発0330第1号「建設業における総合的労働災害防止対策の具体的な実施に当たって留意すべき事項について」の一部改正について」★
2016. 3. 30 基安発0330第36・37号「平成27年度リスク評価結果等に基づく労働者の健康障害防止対策の徹底について」◎
2016. 3. 30 基安化発0330第1号「オルトトレイジンの経皮ばく露の防止対策の徹底について」★
2016. 3. 30 基安化発0330第2号「『建設業における

- 総合的労働災害防止対策の具体的間実施に当たって留意すべき事項について』の一部改正について」★
2016. 3. 30 補償課長補佐(業務担当)事務連絡「行政不服審査法等の改正に係る請求人への周知について」★
2016. 3. 30 労災保険業務課長補佐(短期給付担当)事務連絡「休業(補償)給付と障害厚生年金が併給される場合の調整率の変更について」★
2016. 3. 31 基発0331第1号「独立行政法人に係る改革を推進するための厚生労働省関係法律の整備等に関する法律(中小企業退職金共済法の一部改正関係)の施行について」◎
2016. 3. 31 基発0331第5号「『資料の提出について』の一部改正について」☆
2016. 3. 31 基発0331第8号「『持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険等の一部を改正する法律』の施行について(労働基準法及び労働基準法施行規則の一部改正)」◎
2016. 3. 31 基発0331第10~12号「労災診療費算定基準の一部改定について」☆★
2016. 3. 31 基発0331第13~15号「労災保険における看護料算定基準の一部改正について」★
2016. 3. 31 基発0331第24号「『労働安全衛生法第28条第3項の規定に基づき厚生労働大臣が定める化学物質による健康障害を防止するための指針の一部を改正する指針』の周知について」◎
2016. 3. 31 基発0331第26号「『労働安全衛生法第28条第3項の規定に基づき厚生労働大臣が定める化学物質による健康障害を防止するための指針』について」◎
2016. 3. 31 基補発0331第1号「労災診療費算定基準の一部改定に伴う運用上の留意事項について」☆
2016. 3. 31 基補発0331第5号「外国人労働者に対する労災補償状況の把握について」★
2016. 3. 31 基発0331第21号「『都道府県労働局等における専門官職の所掌事務等に関する準則』の一部改正について」★
2016. 3. 31 基発0331第22号「労災療養援護金支給要綱の一部改正について」★
2016. 3. 31 基発0331第23号「労働基準行政情報システム・労災行政情報管理システムに係る機械処理事務手引当の一部改訂について」★
2016. 3. 31 基発0331第24・25号「『労働安全衛生法第28条第3項の規定に基づき厚生労働大臣が定める化学物質による健康障害を防止するための指針の一部を改正する指針』の周知について」☆
2016. 3. 31 基発0331第26・27号「『労働安全衛生法第28条第3項の規定に基づき厚生労働大臣が定める化学物質による健康障害を防止するための指針』について」☆
2016. 3. 31 基発0331第28号「本省及び都道府県労働局の組織改正に伴う関係通達の開映について」★
2016. 3. 31 基発0331第33号「労働衛生対策における監督指導等に当たって留意すべき事項について(一部改正)」★
2016. 3. 31 基政発0331第1号「専門的知識等を有する有期雇用労働者等に関する特別措置法の施行に係る業務取扱要領の一部改正について」★
2016. 3. 31 基安発0331第1号「珪石を取り扱う事業者に対する個別指導について」☆
2016. 3. 31 基安発0330第1号「行政不服審査法等の改正に伴う労働安全衛生法等関係通達の整備について」☆
2016. 3. 31 基安化発0331第1号「化学物質等のリスクアセスメント等に関する指導上の留意事項について」★
2016. 3. 31 労災管理課労災保険財政数理室長事務連絡「『労災保険率適用基準』の補足事項について」★
2016. 3. 31 補償課長補佐(業務担当)事務連絡「外国人労働者に対する労災補償状況の把握に係る自由区分コードの登録について」★
2016. 3. 31 労災保険業務課長補佐(年金担当)事務連絡「平成28年度における各支払期の年金給付等及び一時金給付に係る機械処理事務に当たっての留意事項について」★
2016. 3. 31 労災保険業務課長補佐(短期給付担当)事務連絡「健康管理手帳の有効期限(うるう年)の不正編集について」★
- ★ 開示請求により入手したもの  
 ☆ 「行政サービス」として提供を受け入手したもの  
 ※◎厚生労働省ホームページ等で入手可能  
 ◆その他独自に入手したもの

# 全国安全センターの 活動報告と方針案

## 1. 政策プロセスへの当事者参加

石綿健康被害救済法の施行から10年を迎え、前回2011年の同法改正法附則の5年以内見直し検討条項を踏まえて、環境省は中央環境審議会に石綿健康被害救済小委員会を設置して2016年4月20日から作業がはじまりました。

指定疾病に係る「医学的判断に関する考え方」を検討した最初の石綿健康被害救済小委員会（2006年2月24日第1回～同年3月1日第2回、同年12月6日廃止）には被害者を代表する委員が含まれていませんでしたが、法施行から5年の見直し検討を行った二回目の石綿健康被害救済小委員会（2009年11月27日第1回～2013年4月12日第12回、同年6月28日廃止）には、はじめて被害者を代表するかたちで全国安全センターの古谷事務局長が委員に加わりました。

そして今回、三回目の石綿健康被害救済小委員会には、被害者を代表する委員を複数にすることはできなかったものの、中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会の古川和子会長が委員に加わっています。日本の長い公害の歴史のなかで、当事者である公害患者・家族の代表が環境省の審議会の委員に名を連ねるのは初めてということです。

また、傍聴を希望していてもそれが困難な患者・家族らのために会議の映像での中継を認めるように求め、次善の対案のようなかたちで「迅速な情報提供を図る観点から」、会議終了後可及的速やかにかつ正式な議事録が公表されるまでの間、発言者の承諾を得て音声データをホームページ上に掲

載することが小委員会の「運営方針」として確認され、実施されています。これも初めてのことです。

第1回から第3回の小委員会では、患者と家族の会が提案・推薦した当事者・専門家のヒアリングが実現するとともに、毎回の会議には患者と家族の会の代表らが定員いっぱい（約50名）傍聴して、会議後に独自の報告会を開催しています。

労働行政においては、国際的に確立した政労使三者構成の原則があるとはいえ、日本の審議会等では、「政府代表」が「公益代表」にすりかえられている等の問題点に加え、現実問題として労災職業病被害者・家族の声を直接反映させる仕組みが確立しているとは言い難い状況があります。

2014年に成立した過労死等防止対策推進法は、過労死等防止対策大綱の作成・変更に当たって厚生労働大臣が過労死等防止対策推進協議会の意見を聴くものと定め、同協議会は、当事者（被害者・家族－全国過労死を考える家族の会）代表委員、労働者代表委員、使用者代表委員各4名ずつと8名の専門家委員で構成されています。専門家委員には、被害者・家族らとともに同法制定のために尽力されてきた学者・弁護士も含まれています。同協議会は2014年12月17日から2015年12月21日までに6回開催され、2015年7月24日には過労死等防止対策大綱が閣議決定されています。

過労死等防止対策推進法は、「国及び地方公共団体は、民間の団体が行う過労死等の防止に関する活動を支援するために必要な施策を講ずるものとする」とも定め、過労死等防止対策大綱では、「過労死等の防止のための対策が最大限その効果を発揮するためには、上記のような様々な主体

が協力及び連携し、国民的な運動として取り組むことが必要である」という「支援の基本的考え方」を示し、国による支援として、過労死等防止対策推進シンポジウムの開催、民間団体が過労死等防止のための研究会・イベント等の事前周知・後援等、民間団体の名称や活動内容等についてパンフレット等による周知等を示しています。

以上はすべて、政策決定プロセスへの当事者参加を促進する努力が実を結んだ新たな地平だと言えます。今後、形式的にだけでなく、実質的にも当事者の声を現実の政策のなかで実現させていくためのさらなる努力だけでなく、新たに獲得した成果・経験の共有と拡張、新たな地平を切り拓いたことによってぶつかるであろう新たな課題への挑戦に多くの人々の英知を寄せ詰めて立ち向かっていくことがますます重要になっていると考えています。

中皮腫・アスベスト疾患・患者や家族の会や全国過労死を考える家族の会の取り組みに加えて、胆管がん事件では、SANYO-CYP胆管がん被害者の会が、直接交渉を通じて2014年9月25日にSANYO-CYP社と和解に合意。膀胱がん事件を契機にして、2016年6月11日に職業がんをなくす患者と家族の会が設立。2014年6月から古谷事務局長が全国脊髄損傷者連合会の外部理事を依頼され、いくつかの地域安全センターは全国じん肺患者同盟の支部の活動を支えています。2015年10月には建設アスベスト訴訟に関して「アスベスト・公害・労災被害者団体共同アピール」が出されるなどの連携の取り組みもなされているところです。

## 2. 心理社会的リスクと職業がん

機会あるごとに安全センター情報でも最新情報をお伝えしているように、国際的には「心理社会的リスク」と「職業がん」が共通のホットピックスになりつつあると言えそうです。前項で紹介したような、わが国におけるアスベスト、過労死、職業がん等の患者・家族の活躍は国際的動向とシンクロしているものと考えられるかもしれません。

国際的には、「心理社会的リスク」による被害といった場合、脳・心臓疾患や精神障害だけでなく、

暴力・ハラスメント、筋骨格系傷害(MSDs)等も含まれます。だいた「心理社会的リスク」という用語に収れんしているように思われますが、まだ「労働関連ストレス」の範疇で議論されることもあります。わが国で「心理社会的リスク」という言い方はまだなじみがないかもしれませんが、上記のような国際的理解は過労死等防止対策推進法の活用等を考えていくうえでも、示唆的であるかもしれません。

「職業がん」といった場合、とくにいわゆる先進工業国ではアスベストがんが突出していることは共通していますが、アスベスト以外の職業がんやがん以外の化学物質による健康障害全般も「埋もれている」「過少報告」であるということも共通の理解になっています。2005年のクボタ・ショックによってようやくアスベストがんが知られるようになり、その後も2012年の胆管がん、2015年の膀胱がん事件と「想定されていなかった」職業がん事件を相次いで体験している私たちにとって喫緊の課題です。

2014年の労働安全衛生法改正のふたつの柱となった「ストレス・チェック」と「有害化学物質のリスクアセスメント」も、ターゲットに着目すれば国際的なホットピックスに符牒を合わせたものになりました。

## 3. 労働安全衛生対策の原則の確立

そして、はからずもわが国のアプローチの根本的な弱点を浮き彫りにすることになったと言えます。

危険有害要因を把握、そのもたらすリスクを評価(アセスメント)し、その結果に基づいて合理的に実行可能な限り最善の対策を講じる—対策の優先順位は、①発生源対策、②工学的・技術的・集团的対策、③管理対策、④個人保護対策、あるいは、①一次予防、②二次予防、③三次予防であるというのは、リスクの種類を問わずに、いまや国際的に確立した労働安全衛生対策の基本原則です。

危険有害要因—「ストレス(ストレス要因)」や「心理社会的リスク要因」の把握・評価・予防ではなく、それらの要因に対する個々人の反応—ストレス(心理的な負担の程度)を医師等がチェック(検査)することを一次予防であるといくら強弁してみても、国際的にはまったく通用しません。早急に根本

的に見直す必要があります。

他方、有害化学物質対策では、リスクアセスメントとその結果に基づいた措置を講じることを義務付けるとともに、法令ではなくリスクアセスメント指針というかたちであるにしろ、対策の優先順位に関する原則的考え方を示しているという点で、国際的動向に沿ったものです。また、①ラベル表示、②安全データシートの交付、③リスクアセスメントとその結果に基づいた措置を三点セットとして揃えて義務付ける義務付けることにしたことも同様です。

しかし、以上の義務付けを、危険有害性が確認されており、かつ、日本やアメリカの学会等による管理濃度等が示されている物質（現時点では630物質）に限定してしまっていることは、致命的な弱点であり、国際的動向に逆行するものです。

すなわち、すべての化学物質について、入手しうるあらゆる情報等に基づいた、実行可能な限り最善の対策を確保するものになっていないのです。仮にすべての化学物質を対象に義務付けがなされたとしても、胆管がん事件のような「未知」の有害性による被害を防止する保証にはならないことも銘記すべきです。それ以前に、発がん性が確認されていて、かつ、国による曝露評価・リスク評価が実施されていながら、事業者による自主的なリスク管理任せで放置して、膀胱がんの多発を予防できなかった国による対策の抜本的見直しが必要です。

そもそも全国安全センターが、危険有害要因の種類を問わないリスク対策の原則（優先順位）の確立を提起した当初は、厚生労働省の担当者となかなか話がかみ合いませんでした。例えば、私たちが2004年に、①発生源対策、②伝播経路対策、③個人保護対策という言い方をしたときに、安全課の担当者は、「それは衛生面の話だと思うので安全の分野ではマッチしない。機械安全では、①本質安全設計、②作業マニュアルの整備、③労働者教育、というかたちになる」という答え方をしました。あえて安全と衛生でリスク対策のアプローチが異なるかのごとくとらえていることに驚かされましたが、結果的には、機械安全はリスクという考え方にに基づくアプローチを最初に採択した分野になっています。

一方、労働衛生のほうは、①作業環境管理、②

作業管理、③衛生管理の「三管理」というドグマからなかなか脱却できず、それはいまも続いていると言わざるを得ません。結果的に2006年にリスクアセスメントとその結果に基づいた措置が日本の労働安全衛生法に導入されたときには、労働安全衛生対策の原則としてではなく、既存の枠組みに上乘せした努力義務としてであって、それが今回、640の有害化学物質対策についてのみ「努力」をとった義務づけになったという経過です。

今回「ストレス・チェック」のような制度が導入されてしまった原因も、また、全国安全センターが10年来ハラスメント対策を強化することを訴えても、厚生労働省内でどの部署が対処すべきか定まらない、あるいは安全衛生対策の一環になかなか位置づけることができない理由も、根っこは一緒でしょう。

安全と健康に関わる労働のあらゆる側面に対処するのが労働安全衛生の課題であることが当たり前になり、対策の基本原則が確立されれば、そのようなお粗末な対応は少なくとも減少はするはずです。リスクアセスメントの取り扱いの変遷のように時間はかかっているものの、日本の労働安全衛生対策も変わってきているし、変えることができると考えます。現場と政策両方のレベルにおける私たちの役割の重要性を自覚した取り組みが必要です。

全国安全センターが進めている世界の草の根団体との交流は、国際的視点から日本をみることで、日本での経験を国際的連携に返していくことの双方を可能にしています。

#### 4. 定期的・日常的活動の強化

全国安全センターは定期的には、「安全センター情報」の発行の他、毎年厚生労働省交渉を実施、また、課題別—情報公開推進局、メンハラ局、被ばく労働問題学習会等を設置・開催しています。日常的な情報・経験・意見の交換や方針・行動の調整等には、事務局会議の他、全国安全センター及び課題別—アスベスト（石綿対策全国連絡会議）、いじめ・メンタルヘルス、原発被ばく労働等—のメーリングリストが運営されています。多くの方に参加していただき、活動を強化していきたいと考えます。

# 2015年度収支決算案

2015年4月1日から2016年3月31日まで

## 1) 収入の部

| 勘定科目  | 決算額        | 前年度決算額     | 増減        | 予算額        | 増減          |
|-------|------------|------------|-----------|------------|-------------|
| 地域C会費 | 1,434,000  | 1,369,000  | 65,000    | 1,800,000  | ▲ 366,000   |
| 賛助会費  | 3,700,000  | 3,864,000  | ▲ 164,000 | 5,700,000  | ▲ 2,000,000 |
| 購読会費  | 402,200    | 477,200    | ▲ 75,000  | 500,000    | ▲ 97,800    |
| 寄付金収入 | 6,500,000  | 5,520,000  | 980,000   | 5,600,000  | 900,000     |
| 資料頒布費 | 0          | 1,600      | ▲ 1,600   | 100,000    | ▲ 100,000   |
| 雑収入   | 1,304,176  | 480,290    | 823,886   | 500,000    | 804,176     |
| 前期繰越金 | 4,818,412  | 4,558,788  | 259,624   | 4,818,412  | 0           |
| 合計    | 18,158,788 | 16,270,878 | 1,887,910 | 19,018,412 | ▲ 859,624   |

## 2) 支出の部

| 勘定科目  | 決算額        | 前年度決算額     | 増減        | 予算額        | 増減          |
|-------|------------|------------|-----------|------------|-------------|
| 人件費   | 9,179,265  | 7,488,902  | 1,690,363 | 9,400,000  | ▲ 220,735   |
| 活動費   | 1,409,495  | 1,917,461  | ▲ 507,966 | 2,000,000  | ▲ 590,505   |
| 印刷費   | 2,027,832  | 2,291,708  | ▲ 263,876 | 2,300,000  | ▲ 272,168   |
| 通信運搬費 | 546,845    | 588,786    | ▲ 41,941  | 600,000    | ▲ 53,155    |
| 什器備品費 | 645,279    | 70,590     | 574,689   | 80,000     | 565,279     |
| 図書資料費 | 62,854     | 22,134     | 40,720    | 30,000     | 32,854      |
| 消耗品費  | 92,168     | 65,218     | 26,950    | 80,000     | 12,168      |
| 会議費   | 1,159,407  | 217,000    | 942,407   | 200,000    | 959,407     |
| 頒布資料費 | 0          | 0          | 0         | 0          | 0           |
| 雑費    | 28,942     | 57,860     | ▲ 28,918  | 60,000     | ▲ 31,058    |
| 予備費   | 0          | 0          | 0         | 4,268,412  | ▲ 4,268,412 |
| 小計    | 15,152,087 | 12,719,659 | 2,432,428 | 19,018,412 | ▲ 3,866,325 |
| 次期繰越金 | 3,006,701  | 3,551,219  | ▲ 544,518 |            |             |
| 合計    | 18,158,788 | 16,270,878 | 1,887,910 |            |             |

貸借対照表(2016年3月31日)

1) 資産の部

| 勘定科目         | 金額        |           | 前年度末現在金額  |           |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 現金           | 90,264    |           | 1,038     |           |
| 預金           |           |           |           |           |
| 普通預金(中央労働金庫) | 2,105,654 |           | 3,091,960 |           |
| 普通預金(みずほ銀行)  | 148,303   |           | 129,078   |           |
| 普通預金(三井住友銀行) | 622,510   |           | 303,956   |           |
| 郵便振替         | 39,970    |           | 1,292,380 |           |
| 資産合計         |           | 3,006,701 |           | 4,818,412 |

2) 負債及び正味財産の部

| 勘定科目       | 金額        |           | 前年度末現在金額  |           |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 借入金        | 0         |           | 0         |           |
| 未払金        | 0         |           | 0         |           |
| 負債合計       |           | 0         |           | 0         |
| 次期繰越金      | 3,006,701 |           | 4,818,412 |           |
| 正味財産合計     |           | 3,006,701 |           | 4,818,412 |
| 負債及び正味財産合計 |           | 3,006,701 |           | 4,818,412 |

# 2016年度収支予算案

2016年4月1日から2017年3月31日まで

## 1) 収入の部

| 勘定科目  | 予算額        | 前年度決算額     | 増減         | 前年度予算額     | 増減         |
|-------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 地域C会費 | 1,700,000  | 1,434,000  | 266,000    | 1,800,000  | ▲100,000   |
| 賛助会費  | 5,500,000  | 3,700,000  | 1,800,000  | 5,700,000  | ▲200,000   |
| 購読会費  | 500,000    | 402,200    | 97,800     | 500,000    | 0          |
| 寄付金収入 | 6,500,000  | 6,500,000  | 0          | 5,600,000  | 900,000    |
| 資料頒布費 | 100,000    | 0          | 100,000    | 100,000    | 0          |
| 雑収入   | 1,500,000  | 1,304,176  | 195,824    | 500,000    | 1,000,000  |
| 前期繰越金 | 3,006,701  | 4,818,412  | ▲1,811,711 | 4,818,412  | ▲1,811,711 |
| 合計    | 18,806,701 | 18,158,788 | 647,913    | 19,018,412 | ▲211,711   |

## 2) 支出の部

| 勘定科目  | 予算額        | 前年度決算額     | 増減        | 前年度予算額     | 増減        |
|-------|------------|------------|-----------|------------|-----------|
| 人件費   | 9,300,000  | 9,179,265  | 120,735   | 9,400,000  | ▲100,000  |
| 活動費   | 1,600,000  | 1,409,495  | 190,505   | 2,000,000  | ▲400,000  |
| 印刷費   | 2,300,000  | 2,027,832  | 272,168   | 2,300,000  | 0         |
| 通信運搬費 | 600,000    | 546,845    | 53,155    | 600,000    | 0         |
| 什器備品費 | 100,000    | 645,279    | ▲545,279  | 80,000     | 20,000    |
| 図書資料費 | 100,000    | 62,854     | 37,146    | 30,000     | 70,000    |
| 消耗品費  | 100,000    | 92,168     | 7,832     | 80,000     | 20,000    |
| 会議費   | 1,200,000  | 1,159,407  | 40,593    | 200,000    | 1,000,000 |
| 頒布資料費 | 0          | 0          | 0         | 0          | 0         |
| 雑費    | 60,000     | 28,942     | 31,058    | 60,000     | 0         |
| 予備費   | 3,446,701  | 0          | 3,446,701 | 4,268,412  | ▲821,711  |
| 合計    | 18,806,701 | 15,152,087 | 3,654,614 | 19,018,412 | ▲211,711  |

# 2016年度役員体制案

|       |        |                             |
|-------|--------|-----------------------------|
| 議長    | 平野 敏夫  | (NPO法人東京労働安全衛生センター代表、医師)    |
| 副議長   | 浜田 嘉彦  | (財団法人高知県労働安全衛生センター専務理事)     |
|       | 西 畠 正  | (三多摩労働安全衛生センター議長、弁護士)       |
|       | 中地 重晴  | (熊本学園大学教授、関西労働者安全センター事務局次長) |
| 運営委員  | 川本 浩之  | (社団法人神奈川労災職業病センター専務理事)      |
|       | 白石 昭夫  | (NPO法人愛媛労働安全衛生センター事務局長)     |
|       | 飯田 浩   | (尼崎労働者安全衛生センター事務局長)         |
|       | 西山 和宏  | (ひょうご労働安全衛生センター事務局長)        |
| 事務局長  | 古谷 杉郎  | (専従)                        |
| 事務局次長 | 澤田 慎一郎 | (専従)                        |
|       | 西野 方庸  | (関西労働者安全センター事務局長)           |
|       | 飯田 勝泰  | (NPO法人東京労働安全衛生センター事務局長)     |
| 会計監査  | 榊原 悟志  | (情報公開推進局)                   |
|       | 片岡 明彦  | (関西労働者安全センター事務局次長)          |
| 顧問    | 五島 正規  | (元衆議院議員)                    |
|       | 天明 佳臣  | (社団法人神奈川労災職業病センター所長、医師)     |

**全国安全センターウェブサイト**

<http://joshrc.info/>

**全国安全センター・ブログ**

<http://ameblo.jp/joshrc/>

# 安全センター情報目次

## 2014年度

### 特集目次

#### ■1990年度特集目次

- 6・7月号 全国安全センター結成総会/脳・心臓疾患
- 8月号 精神障害・自殺の労災認定/振動病
- 9月号 夜勤・交代制労働
- 10月号 アスベストによる健康被害
- 11月号 出稼ぎ過労死は業務上災害
- 12月号 改正労災保険法施行通達
- 1月号 なくせじん肺全国キャラバン/アスベスト規制法/外国人労働者をめぐる諸問題
- 2月号 対談：将来を見据えた労災保険・労働行政のあり方を提起しよう
- 増刊号 じん肺合併肺がん問題資料集
- 3月号 外国人労働者の労災白書
- 増刊号 脳・心臓疾患の労災認定問題資料集

#### ■1991年度特集目次

- 4月号 労働相談活動の中の労災問題
- 5月号 労働時間をめぐる問題
- 6月号 アスベスト規制法制定をめざす
- 7・8月号 全国安全センター第2回総会/改正労災保険法第3次分施行
- 9月号 参加型安全衛生活動の考え方・進め方
- 10月号 過労死労災闘争の相次ぐ勝利
- 11月号 派遣労働をめぐるトラブル
- 12月号 じん肺裁判判決
- 1月号 ILOマニュアルの活用
- 2月号 アジアの職業病・公害病を考える
- 3月号 腰痛予防ベルト/虚偽報告・労災隠し

#### ■1992年度特集目次

- 4月号 労災補償制度の改革
- 5月号 外国人労働者の労災白書 92年版
- 6月号 労災補償制度の改革 2
- 7月号 アスベスト110番・規制法

- 8月号 追悼・佐野辰雄先生
- 9月号 快適職場形成促進事業
- 10月号 職場の化学物質対策
- 11・12月号 総特集：職場改善トレーニング
- 1月号 建設業の労災防止対策
- 2月号 「産業被害と人権」国際民衆法廷
- 3月号 エイズを知る

#### ■1993年度特集目次

- 4月号 産業医のあり方を考える
- 5月号 労働安全衛生法と労働者の権利
- 6月号 外国人労働者の労働災害93
- 増刊号 化学物質危険有害性表示制度
- 7月号 第13回世界労働安全衛生会議
- 付録 全国安全センター第4回総会議案
- 8月号 外国人労働者の雇用・労働条件指針
- 9月号 原発労災/騒音障害防止ガイドライン
- 10月号 行政監察結果に基づく勧告
- 11・12月号 職場改善の国際経験/企業のアルコール・ドラッグ対策
- 1月号 第1回日韓共同セミナー
- 2月号 レーヨン工場の二硫化炭素中毒
- 3月号 農業労働災害/アスベスト

#### ■1994年度特集目次

- 4月号 感染症の労災認定
- 5月号 週40時間労働制の実施へ
- 6月号 長崎じん肺最高裁判決
- 7月号 参加型講座モデル・プログラム
- 7月増刊号 全国安全センター第5回総会議案
- 8月号 ヘルス・プロモーション
- 9月号 慢性期振動病の実像に迫る
- 10月号 職場が変わるか①PL法
- 11月号 職場が変わるか②ISO9000
- 12月号 職場が変わるか③環境管理・監査システム
- 増刊号 職場における腰痛予防対策指針
- 1・2月号 災害補償の官民格差
- 3月号 阪神大震災

## 安全センター情報目次

### ■1995年度特集目次

- 4月号 脳・心臓疾患認定基準
- 5月号 鍼灸治療制限撤廃へ
- 6月号 アスベストをめぐる国際状況
- 7月号 産業保健のあり方
- 7増刊号 全国安全センター第6回総会議案
- 8増刊号 韓国の過労死
- 8・9月号 総特集:第2回日韓共同セミナー
- 10月号 行政手続法と労働基準行政
- 11月号 改正労災保険法
- 12月号 頸肩腕症候群予防対策
- 1・2月号 アジアの産業災害
- 3月号 小規模事業場の産業保健

### ■1996年度特集目次

- 4月号 国際規格化と労働安全衛生
- 5月号 介護補償給付の創設
- 6月号 行政機関との交渉報告
- 7月号 指曲がり症の不服審査
- 8月号 「労働者」の判断基準
- 9月号 全国安全センター第7回総会議案
- 10月号 外国人労災損害賠償裁判判決
- 11月号 改正労働安全衛生法
- 12月号 国際規格化と労働安全衛生 2
- 1・2月号 VDT労働ホットライン/電磁波
- 増刊号 改正労働安全衛生法ハンドブック
- 3月号 時効問題/上肢障害認定基準の改正

### ■1997年度特集目次

- 4月号 改正健康保持増進指針
- 5月号 じん肺をめぐる課題
- 6月号 化学物質管理の新たな動向
- 7月号 石綿じん肺訴訟/過労死審査会裁決
- 8月号 ダイオキシンとホルモン様物質
- 9月号 労基法施行50周年と労働行政
- 10月号 労働安全衛生をめぐる状況 1996→1997
- 11月号 人間工学からみた交通事故対策
- 12月号 職場のストレス対策
- 1・2月号 アジア・ヨーロッパ情報
- 3月号 第9次労働災害防止計画

### ■1998年度特集目次

- 4月号 全国安全センターの労働省交渉
- 5月号 過労自殺の労災認定
- 6月号 POSITIVEセミナー
- 7月号 労働安全衛生をめぐる状況 1997→1998
- 8月号 船舶解撤作業の安全・健康対策
- 9月号 第7回田尻賞表彰式
- 10月号 働く女性の健康が危ない
- 11月号 21世紀をめざす参加型安全衛生活動

- 12月号 アスベスト禁止に向かうヨーロッパ
- 1・2月号 粉じんの発がん性—木材・シリカ
- 3月号 中央労働基準審議会の建議

### ■1999年度特集目次

- 4月号 全国安全センターの労働省交渉
- 5月号 焼却場労働者のダイオキシン曝露
- 6月号 働く女性の健康と権利
- 7月号 労働安全衛生をめぐる状況 1998→1999
- 8月号 労働安全衛生マネジメントシステム
- 9月号 2000年問題と職場の安全・健康
- 10月号 被災者のための医療機関—アジア
- 増刊号 働く女性の健康と権利緊急討論集会報告
- 11月号 精神障害・自殺の労災(公災)認定基準
- 12月号 ヨーロッパ労災職業病会議
- 1・2月号 筋骨格系疾患と人間工学基準
- 3月号 労災保険審議会の建議

### ■2000年度特集目次

- 4月号 介護労働と健康/アジア・ネットワーク
- 5月号 全国安全センターの労働省交渉
- 6月号 労災補償制度改革への提言
- 7月号 職場のストレス対策
- 8月号 労働安全衛生をめぐる状況 1999→2000
- 9月号 労働安全衛生の国際潮流
- 10月号 第9回田尻賞表彰式/じん肺がん問題の新たな展開
- 11月号 腰痛公務災害認定で最高裁判決
- 12月号 世界アスベスト会議
- 1・2月号 労災時効裁判横浜地裁判決/欧米の筋骨格系障害対策
- 3月号 21世紀の労働衛生研究戦略

### ■2001年度特集目次

- 4月号 なくせ「労災隠し」
- 5月号 労働基準行政と情報公開
- 6月号 厚生労働省交渉/改正労災保険法
- 7月号 「指曲がり症」判決と労災認定
- 8月号 機械の包括的な安全基準
- 9月号 労働安全衛生をめぐる状況 2000→2001
- 10月号 じん肺と肺がんに関するシンポジウム
- 11月号 安全衛生委員会活性化の提言
- 12月号 ILOのOSH-MSガイドライン
- 1・2月号 職業病の労災補償
- 3月号 情報公開法の活用

### ■2002年度特集目次

- 4月号 脳・心認定基準専門検討会資料を読む
- 5月号 情報公開法の活用(続)/VDT作業ガイドライン
- 6月号 「労災隠し」と労災職業病の記録・届出

- 7月号 アスベスト被害の将来予測
- 8月号 アジア・ネットワーク
- 9月号 労働安全衛生をめぐる状況 2001→2002
- 10月号 全国安全センターの厚生労働省交渉
- 11月号 参加型安全衛生活動の到達点と課題
- 12月号 労災職業病ホットライン/第11回田尻賞
- 1・2月号 アメリカの労働安全衛生運動
- 3月号 アスベスト禁止への軌跡 2002年

■2003年度特集目次

- 4月号 改正じん肺法施行規則等の施行
- 5月号 指曲がり症認定闘争の成果と展望
- 6月号 第10次労働災害防止計画とILO報告
- 7月号 ストレス対策の最新動向
- 8月号 労働安全衛生をめぐる状況 2002→2003
- 9月号 全国安全センターの厚生労働省交渉
- 10月号 PRTR情報とその活用
- 11月号 労災保険の民営化論議
- 12月号 「原則禁止」導入後のアスベスト問題
- 1・2月号 三池炭じん爆発40周年/はつり労働者の健康問題
- 3月号 EAP/MAPのエッセンス

■2004年度特集目次

- 4月号 労働安全衛生法の見直しに向けて
- 5月号 多発性骨髄腫初の労災認定
- 6月号 GAC2004プレイベント
- 7月号 労働安全衛生をめぐる状況 2003→2004
- 8・9月号 全国安全センターの厚生労働省交渉
- 10月号 労災職業病相談マニュアル草稿
- 11月号 職場のメンタルヘルス対策
- 12月号 台湾過労死会議/新局面迎えた石綿対策
- 1・2月号 時短・安衛・労災法改正の建議
- 3月号 GAC2004:世界アスベスト会議

■2005年度特集目次

- 4月号 労災保険率
- 5月号 労働安全衛生の枠組み
- 6月号 ワーカーズ・メモリアルデー
- 7月号 ストレス対策の新アプローチ
- 8月号 労働安全衛生をめぐる状況 2004→2005
- 9・10月号 弾けた時限爆弾:アスベスト
- 11月号 アスベスト対策基本法
- 12月号 韓国の炭鉱地帯・中国の労働NGO
- 1・2月号 メンタルヘルス/アスベスト新法批判
- 3月号 石綿健康被害救済新法成立

■2006年度特集目次

- 4月号 石綿健康被害補償・救済の手引き
- 5月号 改正労働安全衛生法読本
- 6月号 尼崎クボタ・アスベスト公害の新局面

- 7月号 労働契約・労働時間法制の見直し
- 8月号 労働安全衛生をめぐる状況 2005→2006
- 9・10月号 全国安全センターの厚生労働省交渉
- 11月号 労働時間規制の撤廃反対!
- 12月号 日本版エグゼンプション反対
- 1・2月号 日本版エグゼンプション/日本の教訓をアジア・世界に発信
- 3月号 日本版エグゼンプション法案見送り

■2007年度特集目次

- 4月号 労働関連筋骨格系障害の「流行」
- 5月号 石綿健康被害救済法一周年
- 6月号 ワーカーズ・メモリアルデー
- 7月号 脳心・精神障害労災認定/“労働ビッグバン”
- 8月号 労働安全衛生をめぐる状況 2006→2007
- 9月号 クボタ・ショック2周年尼崎集会
- 10月号 リスクマネジメントの原則
- 11月号 全国安全センターの厚生労働省交渉
- 12月号 AMRC30周年・ANROAV会議
- 1・2月号 アスベスト被害と情報公開
- 3月号 横浜・国際アスベスト会議

■2008年度特集目次

- 4月号 第11次労働災害防止計画
- 5月号 労災不服審査制度/石綿救済法2周年
- 6月号 労働時間等見直しガイドライン/労災隠し/石綿健康被害救済法
- 7月号 職場の暴力・ハラスメント
- 8月号 労働安全衛生をめぐる状況 2007→2008
- 9月号 石綿健康被害救済法改正
- 10月号 全国安全センターの厚生労働省交渉
- 11月号 BANKO発足とAAC2009
- 12月号 「名ばかり管理職」通達迷走
- 1・2月号 過労死・過労自殺が問いかけられるもの
- 3月号 ナノ物質安全管理の現状と問題点

■2009年度特集目次

- 4月号 欧州におけるストレス対策/派遣労働者
- 5月号 心理的負荷による精神障害等
- 6月号 石綿健康被害救済法3周年行動
- 7月号 AAC2009とA-BANの発足
- 8月号 労働安全衛生をめぐる状況 2008→2009
- 9月号 被害者補償・救済制度の比較
- 10月号 総選挙後の課題/欧州における職業病
- 11月号 ANROAV・A-BANカンボジア会議
- 12月号 全国安全センターの厚生労働省交渉
- 1・2月号 石綿健康被害補償・救済状況の検証と課題
- 3月号 厚生労働省との再交渉

■2010年度特集目次

- 4月号 韓国で石綿被害救済法が成立

## 安全センター情報目次

- 5月号 中国・寧波の畳じん肺
- 6月号 環境・職業がんの疾病負荷
- 7月号 泉南アスベスト国賠訴訟大阪地裁判決
- 8月号 労働安全衛生をめぐる状況 2009→2010
- 9月号 石綿救済法指定疾病の追加等
- 10月号 ILO職業病リストの改訂
- 11月号 石綿健康被害補償・救済状況の検証
- 12月号 職場におけるメンタルヘルス対策
- 1・2月号 アスベスト国際連帯2010
- 3月号 アジアのアスベスト禁止最新情報

### ■2011年度特集目次

- 4月号 全国安全センターの厚生労働省交渉
- 5月号 東日本大震災/追悼・井上浩先生
- 6月号 アスベスト禁止に向かうアジア
- 7月号 福島原発事故放射線被ばく労働
- 8月号 職場のいじめ・メンタルヘルスを考える
- 9月号 労働安全衛生をめぐる状況 2010→2011
- 10月号 石綿健康被害救済法の見直し
- 11月号 泉南アスベスト国賠訴訟大阪高裁判決
- 12月号 福島原発事故放射線被ばく労働 2
- 1・2月号 心理的負荷による精神障害認定基準
- 3月号 アジア・世界のアスベスト禁止

### ■2012年度特集目次

- 4月号 労働における暴力
- 5月号 石綿疾病労災認定基準の見直し
- 6月号 職場のパワーハラスメント
- 7月号 全国安全センターの厚生労働省交渉
- 8月号 欧州ハラスメント・暴力協定の実行
- 9月号 労働安全衛生をめぐる状況 2011→2012
- 10月号 印刷会社の胆管がん多発事件
- 11月号 いじめ・パワハラ対策
- 12月号 既存石綿対策の現状と課題
- 1・2月号 石綿健康被害補償・救済状況の検証
- 3月号 3.11から2年の被ばく労働問題

### ■2013年度特集目次

- 4月号 胆管がん事件はどうして起こったか
- 5月号 第12次労働災害防止計画
- 6月号 全国安全センターの厚生労働省交渉
- 7月号 職業がんのリスト掲載と補償
- 8月号 腰痛予防対策指針の改訂
- 9月号 労働安全衛生をめぐる状況 2012→2013
- 10月号 脳・心臓疾患、精神障害の労災補償
- 11月号 惨事ストレス対策
- 12月号 韓国の労働安全衛生運動25年と日韓交流
- 1・2月号 職業性胆管がん事件
- 3月号 アジアにおけるアスベスト禁止 2013

### ■2014年度特集目次

- 4月号 労働安全衛生法令の改正提案
- 5月号 原発被ばく労働問題をめぐる状況
- 6月号 学校アスベスト
- 7月号 全国安全センターの厚生労働省交渉
- 8月号 脳心・精神障害の労災補償/過労死防止法
- 9月号 労働安全衛生をめぐる状況 2013→2014
- 10月号 せき髄損傷の労災補償
- 11月号 石綿疾患患者と家族の会10周年
- 12月号 職業性胆管がん事件/泉南アスベスト国賠訴訟最高裁判決
- 1・2月号 過労死等防止対策推進法施行
- 3月号 アジアにおけるアスベスト禁止 2014

### ■2015年度特集目次

- 4月号 ストレスチェックの義務化
- 5月号 心理社会的リスクへの対応
- 6月号 泉南国賠訴訟最高裁判決その後
- 7月号 原発被ばく労働/受動喫煙防止措置
- 8月号 ストレスチェック指針・実施マニュアル
- 9月号 労働安全衛生をめぐる状況 2014→2015
- 10月号 クボタ・ショックから10年
- 11月号 アジアで相次ぐ産業災害
- 12月号 未曾有の原発事故から四年半
- 1・2月号 石綿救済法から10年の救済状況検証
- 3月号 染料・顔料中間体製造工場で膀胱がん

## 2015年 4月号 (通巻425号)

2015年3月15日発行 64頁 800円

### ■特集/ストレスチェック義務化

ストレスチェック義務化に対抗して

働きやすい職場をつくる

現場での取り組み強化のために

神奈川労災職業病センター・川本浩之…2

欧州リスク観測所:労働関連ストレスと

心理社会的リスクの費用の計算 ……14

労働時間規制改正提案は

長時間労働・健康悪化を増長

「高度プロフェッショナル制度」の導入ほか ……30

今後の労働時間法制等の在り方について(建議) ……29

### 【アスベスト禁止をめぐる世界の動き】

ネパダ東部の若者・女性に環境アスベスト被害 ……52

イギリス:政府が中皮腫給付制度の隙間埋める ……53

ベルギー:基金から補償を受けた事業者わずか ……54

スペイン:石綿関連職業がんの過少報告大 ……54

【ルポ「1カ月」～ニュースにならなかった日々～⑩】袖岡明彦

原発災害⑦ 土との絆、断ち切られた ……55

【各地の便り/世界から】

- 上司のハラスメントによるうつ病  
大阪●認定後損害賠償請求で和解解決 ……61
- 日系ペルー人のプレス機労災  
神奈川●直接交渉で労災上積み補償 ……61
- 腰痛を再審査で公務上認定  
大阪●60kg割る4だからたった15kgの負担? ……62
- 労災防止に作業中止権要求  
韓国●現代重工では労使交渉で合意 ……63
- 約半数で違法な残業を摘発  
厚生労働省●過重労働解消重点監督結果 ……64

2015年 5月号 (通巻426号)

2015年4月15日発行 64頁 800円

■特集/心理社会的リスクへの対応

- 対処すべき危害と講ずべき措置  
事業者の義務規定の見直し等  
心理社会的リスクへの対応から考える  
全国安全センター・古谷杉郎…2
- 100mSV以上、潜伏5年以上等  
業務上推認の被ばく線量示せず-膀胱・喉頭  
・肺がんと放射線被ばくに関する医学的知見  
関西労働者安全センター・西野方庸…9
- 石綿検診実施見すえた試行調査  
国の責任放棄の動き一定巻き返し ……15
- 環境省:石綿ばく露者の健康管理に  
係る試行調査計画書 ……16
- 欧州における心理社会的リスク  
-普及状況と予防戦略- ……21

【アスベスト禁止をめぐる世界の動き】

- WHOのクリソタイル評価の技術的概要 ……40
- 【ルポ「1カ月」～ニュースにならなかった日々～⑩】 袖岡明彦  
原発災害⑧ 牛との絆、断ち切られた ……55

【各地の便り/世界から】

- 介護(補償)給付で引き上げ  
厚生労働省●最高限度額・最低保障額 ……59
- クラブ指導中に脳梗塞発症  
大阪●中学校教諭を基金が公務上認定 ……59
- 石綿肺がん訴訟国側「不戦敗」  
岡山●一転自庁取り消しにより認定 ……60
- 旧興亜石油労働者に石綿胸水  
広島●労災認定の翌月に逝去 ……62
- 芦屋市・西宮市が新たに参加  
兵庫●健康リスク調査に代わる試行調査 ……62
- 中皮腫患者の会会長の訃報  
韓国●昨年来日したチョン・ヒョンシクさん ……63

2015年 6月号 (通巻427号)

2015年5月15日発行 66頁 800円

■特集/泉南国賠訴訟最高裁判決その後

- 和解から「泉南石綿の碑」建立  
泉南・紡織以外でも提訴続く  
国側は「石綿粉じん曝露状況」の立証要求 …2
- 阪神・淡路大震災から20年  
中皮腫・5人の発症-震災アスベスト研究会  
「アスベストリスク 阪神・淡路大震災から20年」から  
神戸新聞社・中部剛…12

【アスベスト禁止をめぐる世界の動き】

- イギリス教育省:学校におけるアスベスト管理 ……45
- アメリカ:全国の学校アスベストに注意を喚起 ……50
- 【ルポ「1カ月」～ニュースにならなかった日々～⑪】 袖岡明彦  
原発災害⑨ 関連死 ……51
- 追悼:伊藤光保先生(名古屋労職研前代表) ……55

【各地の便り/世界から】

- 10年に及ぶ裁判闘争に勝訴  
台湾●RCA社元労働者らの健康障害 ……58
- 「救済給付」ではなく労災認定  
大阪●旧ソ連船専門商社員の中皮腫 ……59
- 船員用資材取り扱いで肺がん  
神奈川●石綿曝露作業を時間刻みで立証 ……61
- 公務災害認定闘争支える会  
兵庫●震災作業による中皮腫の故鳥谷さん ……63
- 旧国鉄におけるアスベスト問題  
国労●機構・JR・厚労省間で手続が混乱 ……65

2015年 7月号 (通巻428号)

2015年6月15日発行 60頁 800円

■特集①/原発被ばく労働問題

- 今春期の被ばく労働問題の取り組みと  
緊急時被ばく線量引き上げ問題  
緊急作業従事者の特別教育も不十分  
東京労働安全センター・飯田勝泰…2
- 検証が必要な除染作業の労災保険特別加入 ……9

■特集②/受動喫煙防止措置努力義務化

- 労働安全衛生法改正-受動喫煙  
防止措置の努力義務、6月1日施行  
受動喫煙防止対策助成金制度も一部改正  
関西労働者安全センター・西野方庸…9
- 改正労働安全衛生法施行通達 ……12
- 改正受動喫煙防止対策助成金質疑応答集 ……34

【アスベスト禁止をめぐる世界の動き】

## 安全センター情報目次

|                                       |
|---------------------------------------|
| 欧州で3人に1人が労働環境で石綿に曝露 ……47              |
| WHO分析:アスベスト・パラドックス ……49               |
| 【ルポ「1カ月」～ニュースにならなかった日々～⑱】 <b>袖岡明彦</b> |
| 原発災害⑩ 残る人の残る理由 ……51                   |
| 【各地の便り/世界から】                          |
| 過労死防止学会設立記念シンポジウム                     |
| 東京●来年の総会は関西で開催予定 ……54                 |
| 大阪過労死防止センター設立                         |
| 大阪●幅広い地域のネットワーク ……55                  |
| 上司からの暴行で視力低下                          |
| 滋賀●外国人実習生受け入れ停止処分 ……56                |
| 産業用ロボットに挟まれ重傷                         |
| 大阪●外国人技能実習生の労働災害 ……57                 |
| セウォル号惨事から一周年                          |
| 韓国●政府が安全革新マスタープラン発表 ……58              |

**2015年 8月号** (通巻429号)  
2015年7月15日発行 64頁 800円

### ■特集/ストレスチェック指針・実施マニュアル

|   |
|---|
| ストレスチェック義務化を<br>活用して働きやすい職場を<br>検討会議事録から見えてくる論点と課題<br>神奈川労災職業病センター・川本浩之…2 |
| 事業者が講ずべき措置に関する指針 ……16   |
| ストレスチェック制度実施マニュアル ……16  |
| 精神障害は過去最高を更新<br>脳・心臓疾患は連続して減少<br>過労死等防止法を受けたデータ充実に期待 …41                  |
| 【アスベスト禁止をめぐる世界の動き】<br>コレギム・ラマツイエニの新たな石綿声明 ……56                            |
| 【各地の便り/世界から】  |
| 保育士の精神障害公務災害<br>兵庫●保護者からの暴言・脅威等を受け ……60                                   |
| パワハラ対策導入マニュアル<br>厚生労働省●全国で支援セミナーを開催 ……61                                  |
| 初めて夜間時間帯の相談実施<br>兵庫●いじめ・パワハラ相談ホットライン ……62                                 |
| 過労死防止で地域交流集会<br>大阪●産業衛生学会で専門家と交流 ……62                                     |
| 「感情労働による精神障害」労災<br>韓国●労災申請件数・認定率とも増加 ……63                                 |

**2015年 9月号** (通巻430号)  
2015年8月15日発行 76頁 800円

### ■特集/日本の労働安全衛生

|                          |
|--------------------------|
| 労働安全衛生をめぐる状況 2014年→2015年 |
| 1. 労働災害・職業病の統計データ ……2    |
| 2. 労働災害・職業病の発生状況 ……6     |
| 3. 労働安全衛生対策 ……11         |
| 4. 化学物質・アスベスト対策 ……15     |
| 5. 原子力災害関係 ……16          |
| 6. 労災補償対策 ……17           |
| 統計資料 ……18                |
| 2014年度労働基準行政関係通達 ……51    |
| ■全国安全センター第26回総会議案        |
| 第1号議案:活動報告と方針案 ……60      |
| 第2号議案:2014年度収支決算案 ……64   |
| 第3号議案:2015年度収支予算案 ……66   |
| 第4号議案:2015年度役員体制案 ……67   |
| 安全センター情報2014年度目次 ……68    |
| 全国安全センター規約・規定 ……75       |

**2015年 10月号** (通巻431号)  
2015年9月15日発行 66頁 800円

### ■特集/クボタ・ショックから10年

|   |
|---|
| クボタ・ショックから10年と<br>救済・根絶をめざす尼崎集会<br>イタリア・ベルギー・韓国代表も参加<br>全国安全センター・古谷杉郎…2           |
| メディア・ジャーナリストと社会運動<br>との関わりについてのメモ、ほか<br>クボタ・ショックから10年にあたって<br>関西労働者安全センター・片岡明彦…13 |
| クボタ・尼崎のアスベスト被害の状況 ……24  |
| 法文にない語句も盛り込む<br>具体的対策強化はなお課題<br>過労死等防止対策に関する大綱策定 ……36                             |
| 過労死等防止対策に関する大綱 ……39   |
| 「大綱」に基づく対策の推進について ……51  |
| 【アスベスト禁止をめぐる世界の動き】<br>欧州経済社会委員会が静かな流行に警鐘 ……56                                     |
| [委員会の意見]アスベストのないEUを実現 ……57  |
| 【各地の便り/世界から】  |
| マタニティハラスメント防止を<br>厚生労働省●最高裁判決踏まえた取り組み ……59  |
| 支部発足と同時に相談が殺到<br>神奈川●患者と家族の会金川支部 ……61   |
| 地域の特色に合わせた対応必要<br>島根●全国17番目に山陰支部設立 ……62   |
| 1年越しの取り組みで労災認定<br>山梨●昨年5月以降ほぼ毎月相談会 ……63   |

ニチアスの犠牲となった英語教師  
奈良●中皮腫発病から7年余 ……63  
港湾労働による非災害性腰痛  
神奈川●会社は「因果関係証明できない」 ……65

**2015年 11月号** (通巻432号)  
2015年10月15日発行 64頁 800円

■特集/アジアで相次ぐ産業災害  
アジアで相次ぐ産業災害  
一層の情報共有と連帯促進  
ANROAV2015に被害者・支援者が結集  
全国安全センター・古谷杉郎…2  
640物質に表示・SDSに加え  
リスクアセスメント義務付け  
改正労働安全衛生法来年6月1日施行 ……16  
改正労働安全衛生法政省令改正通達 ……16  
改正化学物質リスクアセスメント指針 ……24  
欧州の職場における暴力とハラスメント:  
広がり、影響及び方針  
欧州生活労働条件改善財団…40  
【ルポ「1カ月」～ニュースにならなかった日々～⑩】袖岡明彦  
原発災害⑪ 人々のつぶやき ……48  
【各地の便り/世界から】  
＜投稿＞労働者はどのようにして  
アスベストを吸い込んだのか  
日本板硝子共闘労組・末吉幸雄…55  
うつ病労災事件の和解報告  
神奈川●元請け企業も連帯保証 ……58  
健康管理手帳取得の報告会  
長野●国労総合車両支部の取り組み ……61  
高校教師逆転で公務上認定  
神奈川●バレーボール部指導中の負傷 ……63  
学校における業務改善  
文部科学省●マニュアルを公表 ……64

**2015年 12月号** (通巻433号)  
2015年11月15日発行 66頁 800円

■特集/未曾有の原発事故から四年半  
未曾有の原発事故から  
4年7か月 福島のみま  
原発事故は終わっていない  
双葉地方原発反対同盟会長・石丸小四郎…2  
労働関係に「申し出」はそぐわない  
電離則に特例緊急被ばく限度  
関西労働者安全センター・西野方庸…9

緊急時被ばく限度引き上げに反対する見解 ……16  
特例緊急被ばく限度設定改正電離則と通達 ……19  
欧州の職場における暴力とハラスメント:  
広がり、影響及び方針  
欧州生活労働条件改善財団…29  
【アスベスト禁止をめぐる世界の動き】  
なぜイギリスは石綿根絶法を必要としているのか…47  
2014年版ヘルシンキ報告に対するコメント ……51  
【ルポ「1カ月」～ニュースにならなかった日々～21】袖岡明彦  
原発災害⑫ クビの嵐 ……54  
【各地の便り/世界から】  
ニチアス羽島損賠訴訟全面勝訴  
岐阜●控訴せず判決が確定 ……58  
三菱化学相手に石綿裁判  
福岡●中皮腫患者の楠本浩さん ……61  
支部設立10周年の集い開催  
兵庫●自ら励まされたように支え合いを ……62  
港湾労働で「非災害性腰痛」  
神奈川●15年間の重量物運搬業務等で…63  
まさかの急性期のみ労災扱い  
滋賀●重量物取扱い外国人労働者の腰痛 ……64  
長時間労働で脳梗塞に労災  
神奈川●残業代未払い分も獲得 ……65  
問題のある労災保険制度  
韓国●労働時間記録義務欠如も問題 ……66

**2016年 1・2月号** (通巻434号)  
2016年1月15日発行 92頁 1,600円

■特集/石綿救済法10年の救済状況検証  
石綿救済法施行から10年  
「隙間ない救済」の実現未だ  
中皮腫減少傾向、肺がん低位横這い…2  
イタイイタイ病、新潟水俣病、  
薬害スモンの新規3報告  
公害薬害職業病被害補償第3回シンポジウム …30  
公害薬害等被害者への補償はどうあるべきか  
不法行為と被害者救済制度  
立命館大学名誉教授・古淡路剛久…39  
職業病の報告:欧州5か国における  
問題点とグッドプラクティス  
Eurogip…46  
欧州の職場における暴力とハラスメント:  
広がり、影響及び方針  
欧州生活労働条件改善財団…60  
【アスベスト禁止をめぐる世界の動き】  
欧州及び世界的な職業がんの根絶 ……74

## 安全センター情報目次

【ルポ「1カ月」～ニュースにならなかった日々～22】袖岡明彦  
 原発災害⑬ クビの嵐 ……………82

【各地の便り/世界から】  
 2年目の過労死等啓発月間  
 全国等●29会場でシンポ、ソウルで講演会も……………86  
 設備工事会社の仕事で中皮腫  
 愛知●遺族が会社との直接交渉で和解……………87  
 「働くガン患者の就労支援」  
 兵庫●労働安全衛生セミナーを開催……………88  
 仕事中の事故によるうつ病  
 東京●以前の職場での事故で労災認定……………89  
 患者と家族の会支部10周年  
 広島・山口●広島で記念講演会を開催……………90  
 ストレスチェック実施プログラム  
 厚労省●改正法施行に向け配布を開始……………90  
 病院労働者の筋骨格系障害  
 韓国●郵政労働者は長時間労働で労災多発 ……91

**2016年 3月号** (通巻435号)  
 2016年2月15日発行 64頁 800円

■特集/染料・顔料中間体製造工場で膀胱がん  
 染料・顔料中間体製造工場で  
 5名の労働者に膀胱がん  
 職業がん対策再度見直しが必要……………2  
 泉南訴訟の成果を引き継ぎ  
 5地裁に16件の国賠提訴

1月までに5件(被害者数26人)和解  
 関西労働者安全センター・片岡明彦…13  
 韓国の感情労働-労働環境健康研究所を訪問  
 「過度な親切は止めましょう」「ただし私が  
 買うときは正当な情報を伝えてください」  
 IMC・千葉茂…32  
 欧州の職場における暴力とハラスメント:  
 広がり、影響及び方針  
 欧州生活労働条件改善財団…52

【各地の便り/世界から】  
 技能実習生の巻き込まれ事故  
 福岡●ドリル作業に対する危険の認識希薄……………58  
 死亡から1年ようやく労災認定  
 兵庫●トリクロロエチレンによる全国2例目……………57  
 韓国ではすい臓がん2例の認定  
 広島●外国人実習生で成り立つ牡蠣養殖……………59  
 過労疾患被災者の交流会へ  
 神奈川●過労死等防止対策の取り組みから……………60  
 企業対象の啓発シンポジウム  
 大阪●当事者遺族などの強い要望により……………61  
 ラジオドラマ作成の高校生も  
 兵庫●過労死等予防シンポジウム……………62  
 団体交渉で損害賠償獲得  
 島根●日本製紙の石綿肺がん被災者……………63  
 雇用不安といじめの悪循環  
 韓国●ソウル市間接雇用労働者の調査……………64

# 全国安全センター規約・規定

## 規 約

### 第1章 総 則

第1条 このセンターは、全国労働安全衛生センター連絡会議(略称・全国安全センター)という。

第2条 このセンターは、事務所を東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル5Fに置く。

第3条 このセンターは、地域安全(労災職業病)センター相互の交流・連携・共同の取り組みを通じて、労働災害・職業病の絶滅、労働安全衛生対策の充実及び被災労働者に対する十分な補償の実現をはかり、もって働く者の安全と健康、福祉の向上に寄与することを目的とする。

第4条 このセンターは、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 労災補償、安全衛生等に関する制度の改善を許さず、働く者の立場に立った制度・政策の確立のための取り組み
- (2) 労働安全衛生活動の交流、相談
- (3) 地域安全(労災職業病)センター活動の拡大のための取り組み
- (4) 資料の収集と提供、機関紙等の発行
- (5) 労働安全衛生等に関する教育、研究
- (6) 内外の関係諸団体、医師、専門家等との協力、提携
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

### 第2章 会 員

第5条 このセンターの会員は、次の3種とする。

- (1) 地域センター会員 このセンターの目的に賛同して入会した地域安全(労災職業病)センター又はこれに準じた団体

- (2) 賛助会員 このセンターの目的に賛同し、事業の推進を援助するために入会した者

- (3) 名誉会員 このセンターに功労があった者又は学識経験者で、総会において推薦された者

第6条 地域センター会員及び賛助会員になろうとする者は、入会申込書を議長に提出し、運営委員会の承認を得なければならない。

第7条 地域センター会員及び賛助会員は、総会において別に定めるところにより会費を納入しなければならない。

第8条 会員は、次の一に該当したときその資格を失う。

- (1) 会員自ら退会を申し出たとき。
- (2) 会員が死亡し、又は解散したときは、退会したものとみなす。
- (3) 地域センター会員及び賛助会員で、理由なく会費を1年以上納入しないとき。
- (4) その他総会の議決で会員として適当でないこととしたとき。

第9条 既に納入した会費その他の拠出金品は、返還しない。

### 第3章 役 員

第10条 このセンターに次の役員を置く。

- |           |     |
|-----------|-----|
| (1) 議長    | 1名  |
| (2) 副議長   | 若干名 |
| (3) 事務局長  | 1名  |
| (4) 事務局次長 | 若干名 |
| (5) 運営委員  | 若干名 |
| (6) 監事    | 2名  |

第11条 議長は、このセンターを代表し、会務を統括する。

副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、これを代行する。

事務局長は、常時会務を処置する。

## 全国安全センター規約・規定

運営委員は、運営委員会を構成し、会務の執行を決定する。

監事は、このセンターの経理を監査する。

第12条 役員は、総会において会員のうちから選任する。役員の任期は1年とする。ただし、再選は妨げない。

第13条 議長は、運営委員会の議を経て、顧問を委嘱することができる。顧問は、会務に関し、運営委員会の諮問に応じ、意見を述べることができる。

第14条 このセンターの事務を処理するために、事務局局長及び事務局次長その他の事務局員からなる事務局を置く。その他事務局員は、運営委員会の議を経て、議長が任免する。

第15条 議長は、運営委員会の議を経て、専門委員会や特別調査会等の機関を設けることができる。

### 第4章 総会及び運営委員会

第16条 総会は、会員をもって構成する。

総会は、通常総会及び臨時総会とし、議長が召集する。

通常総会は、毎年1回開催し、活動方針及び予算の決定、役員を選出、活動報告及び決算の承認その他このセンターの運営に関し重要な事項を議決する。

臨時総会は、議長が必要と認めるとき又は総会員の3分の1以上若しくは監事から会議の目的たる事項を示して請求があったときに開催する。

第17条 総会は、会員の過半数の出席をもって成立する。総会の議事は、出席会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

総会に出席することのできない会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の会員を代理人として表決を委任することができる。この場合において、総会の成立及び議決については、出席者とみなす。

第18条 運営委員会は、議長、副議長、事務局局長、事務局次長及び運営委員をもって構成する。

運営委員会は、総会の議決した事項の執行に関すること、総会に付議すべき事項、その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項について議決する。

運営委員会は、議長が召集し、その運営は総会に準ずる。

### 第5章 会 計

第19条 このセンターの経費は、会費、寄付金、事業収

入、及びその他の収入によってまかなう。

第20条 このセンターの会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第21条 このセンターの決算は、総会の承認を得なければならない。

### 附 則

第22条 この規約の改廃は、総会の議を経なければならない。

第23条 この規約は1990年5月12日より実施する。

## 会費規定

全国労働安全衛生センター連絡会議は、規約第7条の規定のに基づき、会員の会費に関する規定を次のとおり定める。

第1条 地域センター会員の会費は、年額1口1万円以上とする。

第2条 賛助会員の会費は、年額1口1万円以上とする。

第3条 地域センター会員会費及び賛助会員会費には、機関紙の購読料が含まれるものとする。

附 則 この会費規定は1990年5月12日より実施する。1991年6月2日一部改正。

## 購読会費規定

第1条 全国労働安全衛生センター連絡会議の機関紙「安全センター情報」の購読会費を次のとおりとする。

|       |               |    |           |
|-------|---------------|----|-----------|
| 1部    | 年額10,000円     | 6部 | 年額45,000円 |
| 2部    | 年額19,000円     | 7部 | 年額49,000円 |
| 3部    | 年額27,000円     | 8部 | 年額52,000円 |
| 4部    | 年額34,000円     | 9部 | 年額54,000円 |
| 5部    | 年額40,000円     |    |           |
| 10部以上 | 1部につき年額6,000円 |    |           |

第2条 購読会員は、規約第5条の会員には含まれない。

附 則 この会費規定は1991年6月2日より実施する。

# 全国労働安全衛生センター連絡会議

〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル5階

TEL (03)3636-3882 FAX (03)3636-3881 E-mail: joshrc@jca.apc.org

URL: <http://joshrc.info/> <http://www.joshrc.org/~open/> <http://ameblo.jp/joshrc/>

- 北海道 ● NPO法人 北海道勤労者安全衛生センター  
〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目ほくろウビル4階 E-mail safety@rengo-hokkaido.gr.jp  
TEL (011)272-8855/FAX (011)272-8880
- 東京 ● NPO法人 東京労働安全衛生センター  
〒136-0071 江東区亀戸7-10-1 Zビル5階 E-mail center@toshc.org  
TEL (03)3683-9765/FAX (03)3683-9766
- 東京 ● 三多摩労働安全衛生センター  
〒185-0021 国分寺市南町2-6-7 丸山会館2-5 TEL (042)324-1024/FAX (042)324-1024
- 東京 ● 三多摩労災職業病研究会  
〒185-0012 国分寺市本町4-12-14 三多摩医療生協会館内 TEL (042)324-1922/FAX (042)325-2663
- 神奈川 ● NPO法人 神奈川労災職業病センター  
〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町20-9 サンコーポ豊岡505 E-mail k-oshc@jca.apc.org  
TEL (045)573-4289/FAX (045)575-1948
- 群馬 ● ぐんま労働安全衛生センター  
〒370-0045 高崎市東町58-3 グランドキャニオン1F E-mail qm3c-sry@asahi-net.or.jp  
TEL (027)322-4545/FAX (027)322-4540
- 長野 ● NPO法人 ユニオンサポートセンター  
〒390-0811 松本市中央4-7-22 松本市勤労会館内1階 E-mail ape03602@go.tvm.ne.jp  
TEL (0263)39-0021/FAX (0263)33-6000
- 新潟 ● 一般財団法人 ささえあいコープ新潟  
〒950-2026 新潟市西区小針南台3-16 E-mail KFR00474@nifty.com  
TEL (025)265-5446/FAX (025)230-6680
- 愛知 ● 名古屋労災職業病研究会  
〒466-0815 名古屋市昭和区山手通5-33-1 E-mail roushokuken@be.to  
TEL (052)837-7420/FAX (052)837-7420
- 三重 ● みえ労災職業病センター  
〒514-0003 津市桜橋3丁目44番地 日新ビル E-mail QYY02435@nifty.ne.jp  
TEL (059)228-7977/FAX (059)225-4402
- 京都 ● 京都労働安全衛生連絡会議  
〒601-8015 京都市南区東九条御霊町64-1 アンビシャス梅垣ビル1F E-mail kyotama@inbox.kyoto-inet.or.jp  
TEL (075)691-6191/FAX (075)691-6145
- 大阪 ● 関西労働者安全センター  
〒540-0026 大阪市中央区内本町1-2-11 ウタカビル201 E-mail koshc2000@yahoo.co.jp  
TEL (06)6943-1527/FAX (06)6942-0278
- 兵庫 ● 尼崎労働者安全衛生センター  
〒660-0802 尼崎市長洲中通1-7-6 E-mail a4p8bv@bma.biglobe.ne.jp  
TEL (06)4950-6653/FAX (06)4950-6653
- 兵庫 ● 関西労災職業病研究会  
〒660-0803 尼崎市長洲本通1-16-17 阪神医療生協気付 TEL (06)6488-9952/FAX (06)6488-2762
- 兵庫 ● ひょうご労働安全衛生センター  
〒650-0026 神戸市中央区古湊通1-2-5 DAIEIビル3階 E-mail npo-hoshc@amail.plala.or.jp  
TEL (078)382-2118/FAX (078)382-2124
- 岡山 ● おかやま労働安全衛生センター  
〒700-0905 岡山市北区春日町5-6 岡山市勤労者福祉センター内 E-mail oka2012ro-an@mx41.tiki.ne.jp  
TEL (086)232-3741/FAX (086)232-3714
- 広島 ● 広島労働安全衛生センター  
〒732-0825 広島市南区金屋町8-20 カナヤビル201号 E-mail hirosshima-raec@leaf.ocn.ne.jp  
TEL (082)264-4110/FAX (082)264-4123
- 鳥取 ● 鳥取県労働安全衛生センター  
〒680-0814 鳥取市南町505 自治労会館内 TEL (0857)22-6110/FAX (0857)37-0090  
〒682-0803 倉吉市見田町317 種部ビル2階 労安センターとっとり /FAX (0858)23-0155
- 徳島 ● NPO法人 徳島労働安全衛生センター  
〒770-0942 徳島市昭和町3-35-1 徳島県労働福祉会館内 E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp  
TEL (088)623-6362/FAX (088)655-4113
- 愛媛 ● NPO法人 愛媛労働安全衛生センター  
〒793-0051 西条市安知生138-5 E-mail npo\_eoshc@yahoo.co.jp  
TEL (0897)47-0307/FAX (0897)47-0307
- 高知 ● NPO法人 高知県労働安全衛生センター  
〒780-0011 高知市薊野北町3-2-28 TEL (088)845-3953/FAX (088)845-3953
- 熊本 ● 熊本県労働安全衛生センター  
〒861-2105 熊本市秋津町秋田3441-20 秋津レクタクワンクリニック TEL (096)360-1991/FAX (096)368-6177
- 大分 ● NPO法人 大分県勤労者安全衛生センター  
〒870-1133 大分市宮崎953-1(大分協和病院3階) E-mail OITAOSHC@elf.coara.or.jp  
TEL (097)567-5177/FAX (097)568-2317
- 鹿児島 ● 鹿児島労働安全衛生センター準備会  
〒899-5215 始良郡加治木町本町403有明ビル2F E-mail aunion@po.synapse.ne.jp  
TEL (0995)63-1700/FAX (0995)63-1701
- 沖縄 ● 沖縄労働安全衛生センター  
〒902-0061 那覇市古島1-14-6 TEL (098)882-3990/FAX (098)882-3990
- 自治体 ● 自治労安全衛生対策室  
〒102-0085 千代田区六番町1 自治労会館3階 E-mail sh-net@ubcnet.or.jp  
TEL (03)3239-9470/FAX (03)3264-1432

SHRC JOSHRC



安全センター情報2016年9月号(通巻第441号)2016年8月15日発行(毎月1回15日発行)  
1979年12月28日第三種郵便物認可 800円  
〒136-0071東京都江東区亀戸7-10-1Zビル5階 全国労働安全衛生センター連絡会議  
TEL(03)3636-3882 FAX(03)3636-3881  
JOSHRC: Japan Occupational Safety and Health Resource Center  
Z Bldg., 5F, 7-10-1 Kameido, Koto-ku, Tokyo, Japan  
Phone +81-3-3636-3882 Fax +81-3-3636-3881  
E-mail: joshrc@jca.apc.org URL: http://www.jca.apc.org/ joshrc/